

EzOrtho

ユーザーマニュアル

バージョン : 1.3

- ・ 日本語

ユーザーマニュアル情報

本ユーザーマニュアルは、EzOrtho の使用説明の目的のみで使用されます。EzOrtho のインストールや機能を把握するために、まず本マニュアルをしっかりと読みいただくことをユーザーに推奨いたします。

製品と一緒に配布されたマニュアルには、製品の最新バージョンの内容が含まれていない場合がございます。製品及び本マニュアルに関するご質問は、下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先

- ホームページ: <http://www.ewoosoft.com/>
- カスタマーサービスセンター: +82-1588-9510

文書情報

- 文書名: EzOrtho ユーザーマニュアル
- 出版日: 2022 年 1 月
- マニュアルバージョン: 1.3
- 関連 EzOrtho バージョン: 1.3

カスタマー注意事項

- (株)Ewoosoft は、ユーザーに通知せずに製品の機能と性能を改善する場合がございます。
- 製品の一部機能は特定の国や言語、通貨に対応していない場合がございます。
- (株)Ewoosoft の同意なしで製品を複製及び配布することは違法です。
- ユーザーは本製品をご使用になる前に、本マニュアルを十分に熟知していただきますようお願いいたします。
- EzOrtho の機能を最大限に活用するため、本マニュアルに記載された動作環境を遵守してください。
- 患者の画像や情報など資料の送信時には、当該国家の医療情報保護に関連する規定を必ず遵守してください。

UDI 情報



(01)08800019700319

サイバーセキュリティ

EzOrtho の設定前に、サイバーセキュリティの保護のため以下の事項を必ず遵守してください。

ここでは、コンピュータウイルスやマルウェアのようなサイバーセキュリティの脅威からプログラムを守るための指針を提供しています。

- EzOrtho のインストール及び使用前に、コンピュータシステムを信頼できるウイルス対策ソフトやアンチスパイウェアプログラムを使ってセキュリティの点検を行ってください。
- 適切なウイルス対策ソフトをインストールし、アクティブ化させてください。
- ウィルス対策ソフトは、常に最新バージョンをご使用ください。
- OS のセキュリティプログラムが最新バージョンにアップデートされているかをご確認ください。
- PC のファイアウォールをインストールしてください。
- Windows 10 のバージョンでは、Windows ファイアウォールが基本インストール/設定されています。

サイバーセキュリティに関するお問い合わせは、下記の連絡先までご連絡ください。

- カスタマーサービスセンター: +82-1588-9510
- メール: gcs@vatech.co.kr
- ホームページ: www.ewoosoft.com

目次

ユーザーマニュアル情報.....	3
目次.....	5
Chapter 1. EzOrthoの基本	13
1. EzOrthoとは?	15
2. 動作環境	16
3. EzOrtho使用前の準備事項	17
3.1 EzOrthoのインストール	17
3.2 EzServerの設定	18
3.3 EzOrthoライセンスのアクティブ化.....	19
4. EzOrthoスタート/終了	20
5. EzOrthoメインメニュー	21
5.1 患者のエクスポート.....	21
5.2 患者のインポート.....	21
5.3 画像のエクスポート.....	21
5.4 ファイル情報	21
5.5 分析エディタ.....	21
5.6 設定.....	22
5.7 製品情報	22
5.8 ヘルプ.....	22
5.9 ログアウト.....	22
Chapter 2. EzOrthoの設定	23
1. 簡単設定	25
2. 設定開始	26
3. 設定の初期化.....	27
4. 環境	28
4.1 全般.....	28
4.2 サーバー	30
4.3 患者.....	31
4.4 電子メール.....	32
5. ビュー	33
5.1 全般.....	33
5.2 モダリティ	34
6. ツール	35

6.1	全般.....	35
6.2	ビュー.....	36
6.3	測定.....	37
6.4	注釈.....	38
6.5	メモ.....	39
7.	分析.....	40
7.1	追跡.....	40
7.2	追跡 2.....	41
7.3	分析カルテ.....	42
8.	シミュレーション.....	43
8.1	VTO/STO.....	43
8.2	重ね合わせ.....	44
8.3	Profilogram.....	45
9.	診療所.....	46
9.1	クリニックの情報.....	46
9.2	スケジュール.....	47
9.3	チェア.....	48
10.	その他.....	49
10.1	プライバシーポリシー.....	49
Chapter 3. 患者		51
1.	患者タブのウィンドウ構成.....	53
1.1	ワークスペース.....	53
2.	患者の検索.....	54
2.1	患者の検索.....	54
2.2	詳細検索.....	54
2.3	クイックサーチ.....	55
2.4	医師別担当患者検索.....	55
3.	患者の管理.....	56
3.1	患者情報の確認.....	56
3.2	患者情報の編集.....	57
3.3	患者の追加.....	58
3.4	患者の削除.....	58
3.5	患者のエクスポート.....	59
3.6	患者のインポート.....	60
3.7	患者情報のエクスポート.....	62
4.	レコードセットの管理.....	63
4.1	レコードセット/タイムライン表示選択.....	63

4.2	レコードセットの編集	64
4.3	レコードセットの追加	64
4.4	レコードセットの削除	65
5.	画像管理	66
5.1	レコードセットの管理	66
5.2	サーバー画像のインポート	67
5.3	ローカル画像のインポート	69
5.4	画像の編集	72
5.5	画像の削除	75
5.6	画像のエクスポート	76
5.7	電子メール送信	77
6.	患者カルテの管理	78
6.1	既存の患者カルテを開く	78
6.2	新規患者のカルテを作成	79
6.3	患者カルテの作成/修正	79
6.4	患者カルテをレコードセットに保存	85
6.5	患者カルテの印刷	86
6.6	患者カルテのエクスポート	86
7.	ツールの説明	87
7.1	主要ツール	87
7.2	拡張ツール	87
Chapter 4.	ビューアー	89
1.	ビューアータブのウィンドウ構成	91
1.1	ワークスペース	91
1.2	ツールバー	91
1.3	コントロールパネル	92
1.4	ビューフレーム	93
1.5	ビューフレーム画像の変更	93
1.6	ビューフレームに基準線を追加する	95
2.	レイアウトグループ	96
2.1	レイアウトの選択	96
2.2	レイアウトの変更	97
2.3	レイアウトの管理	97
3.	画像調節	100
3.1	画像の明るさ調節	100
3.2	画像のコントラスト調節	100
3.3	画像のシャープ調節	101

3.4	画像のシャープ強化.....	101
3.5	画像の領域反転効果適用.....	102
3.6	画像フィルム効果適用.....	102
4.	3D画像の作成.....	103
4.1	ランドマークの表示.....	103
4.2	3D画像の確認.....	104
5.	画像管理.....	105
5.1	画像の編集.....	105
5.2	画像のエクスポート.....	105
5.3	電子メール送信.....	107
5.4	プレゼンテーションモード.....	108
5.5	画像情報の追加.....	109
6.	ツールの説明.....	110
6.1	主要ツール.....	110
6.2	拡張ツール.....	110
Chapter 5.	分析	113
1.	分析タブウィンドウの構成.....	115
1.1	ワークスペース.....	115
1.2	ツールバー.....	115
1.3	コントロールパネル.....	116
1.4	ビューエリア.....	117
2.	レコードセットグループ.....	118
2.1	レコードセット画像の選択.....	118
3.	追跡グループ.....	119
3.1	手動追跡 (2D X線).....	119
3.2	手動追跡 (モデル画像).....	125
3.3	DAVISによる追跡.....	127
4.	画像調節.....	129
4.1	分析/画像/X線ボタン.....	129
4.2	不透明度.....	130
4.3	明るさ/コントラスト/シャープ/シャープ強化/領域反転/フィルム効果.....	130
4.4	初期化.....	130
5.	分析カルテ.....	131
5.1	画像分析カルテ.....	131
5.2	モデル分析カルテ.....	132
5.3	分析カルテの印刷.....	134
5.4	分析カルテのエクスポート.....	134

6.	ツールの説明	135
6.1	主要ツール.....	135
6.2	拡張ツール.....	135
Chapter 6.	シミュレーション	137
1.	シミュレーションタブウィンドウの構成.....	139
1.1	ワークスペース	139
2.	VTO/STO.....	140
2.1	ランドマークの移動/回転 I.....	140
2.2	ランドマークの移動/回転 II.....	141
2.3	分析結果の確認	143
2.4	病歴リストの管理.....	144
2.5	VTO/STOシミュレーション	145
2.6	VTO/STOの設定.....	149
3.	重ね合わせ	150
3.1	ガイドラインの重ね合わせ.....	150
3.2	分析データの重ね合わせ	151
3.3	重ね合わせウィンドウの操作	152
3.4	重ね合わせシミュレーション.....	152
3.5	重ね合わせ設定	153
4.	Profilogram.....	154
5.	画像調節	155
5.1	分析/画像/X線ボタン.....	155
5.2	不透明度	155
5.3	画像原本の表示	155
6.	ツールの説明	156
6.1	VTO/STOツール.....	156
6.2	重ね合わせツール	156
6.3	Profilogramツール.....	157
Chapter 7.	コンサルト	159
1.	コンサルトタブウィンドウの構成.....	161
1.1	ワークスペース	161
2.	レコードセット画像の確認.....	162
2.1	レコードセット画像のロード	162
2.2	コンサルトコンテンツに追加	163
3.	コンサルトコンテンツのロード.....	164
3.1	お気に入り.....	164

3.2	最近のリスト.....	165
3.3	カテゴリ.....	166
3.4	カート.....	167
4.	コンサルトコンテンツの管理.....	168
4.1	お気に入りに追加.....	168
4.2	お気に入りから削除.....	168
4.3	カートリストの編集.....	169
4.4	カートの管理.....	170
5.	プレゼンテーションモード.....	176
6.	レイアウトの変更.....	177
7.	ツールの説明.....	178
7.1	主要ツール.....	178
Chapter 8. 診療所		179
1.	診療所タブウィンドウの構成.....	181
1.1	ワークスペース.....	181
2.	スケジュールの確認.....	182
2.1	週間スケジュール.....	182
2.2	日間スケジュール.....	182
2.3	月間スケジュール.....	183
3.	スケジュールの追加.....	184
3.1	診療予約の追加.....	184
3.2	クリニックスケジュールの追加.....	185
4.	スケジュールの編集.....	186
5.	スケジュールの削除.....	187
6.	ツールの説明.....	188
6.1	主要ツール.....	188
Chapter 9. 分析エディタ		189
1.	分析エディタウィンドウの構成.....	191
1.1	ワークスペース.....	191
2.	分析エディタの実行.....	192
3.	分析方法の管理.....	193
3.1	分析方法の追加.....	193
3.2	分析方法をコピーして追加.....	194
3.3	分析方法名の変更.....	194
3.4	分析方法の変更.....	195

3.5	分析方法の削除	196
3.6	分析データのインポート	196
3.7	分析データのエクスポート	197
4.	ランドマークの管理	198
4.1	ランドマークの追加	198
4.2	ランドマークをコピーして追加	199
4.3	ランドマークの変更	199
4.4	ランドマークの削除	199
5.	ガイドラインの管理	200
5.1	ガイドラインの追加	200
5.2	ガイドラインをコピーして追加	201
5.3	ガイドラインの変更	201
5.4	ガイドラインの削除	201
6.	測定タイプの管理	202
6.1	測定タイプの追加	202
6.2	測定タイプをコピーして追加	203
6.3	測定タイプの変更	203
6.4	測定タイプの削除	204

Chapter 1. EzOrtho の基本

1. EzOrtho とは?	15
2. 動作環境	16
3. EzOrtho 使用前の準備事項	17
4. EzOrtho スタート/終了	20
5. EzOrtho メインメニュー	21

1. EzOrthoとは?

- EzOrtho は、(株)Ewoosoft が開発した 2D 歯科矯正分析・シミュレーションプログラムです。

EzOrtho プログラムでは、患者情報と画像を管理します。また、歯科矯正治療のための正確な画像の分析、Profilogram, 重ね合わせ、VTO/STO シミュレーション機能などを提供しています。分析結果がカルテ形式で保存されるため、患者個別の治療過程を記録し追跡することができます。

- 患者の管理/画像の登録

EzOrtho では、患者の予約及び管理に関する便利な機能を提供しています。また、EzOrtho では、EasyDent、EzDent-i、Explorer またはスキャナーから、画像をインポートすることができ、インポートした画像のサイズ調節や画像を組み合わせることができます。

- 画像の分析/追跡

ランドマーク入力のインターフェイスの向上により、更に簡単に精巧な追跡をサポートしています。

- 治療計画の設計

モーフィング機能を使って、設計した治療計画が患者の顔の輪郭に与える影響について予測できるようサポートしています。また、比較機能を使ってシミュレーション前/後の画像を比較し、簡単に治療計画を設計できるようサポートしています。

- 患者コンサルトのサポート

EzOrtho では、医師が患者の理解を深めることができるようにサポートする機能を提供しています。例えば、重ね合わせ機能では、治療による変化を視覚的に提示することができ、スライドショーを使って様々な画像を提供することもできます。

2. 動作環境

▪ Server

区分	必須動作環境	推奨動作環境
CPU	デュアルコア@3.5GHz	クアッドコア@3.4GHz以上
RAM	2GB	4GB以上
HDD	500GB 空き容量	1TB 空き容量以上
OS	Windows 10	Windows 10
ディスプレイ	1280 × 1024	1920 × 1080以上
ネットワーク	100MイーサネットLAN (CAT 5 cable) またはワイヤレスネットワーク802.11n	1GイーサネットLAN (CAT 5E cable)以上 またはワイヤレスネットワーク802.11ac以上

▪ Client

区分	必須動作環境	推奨動作環境
CPU	デュアルコア@2.53GHz	デュアルコア@3.2GHz以上
GPU	OpenGL 3.2バージョンの InternalまたはExternal GPU	OpenGL 4.0バージョン以上の InternalまたはExternal GPU
RAM	2GB	4GB以上
HDD	11 GB 空き容量	15 GB 空き容量以上
OS	Windows 10	Windows 10以上
ディスプレイ	1366 × 768	1920 × 1080以上
ネットワーク	100MイーサネットLAN (CAT 5 cable) またはワイヤレスネットワーク802.11n	1GイーサネットLAN (CAT 5E cable)以上 またはワイヤレスネットワーク802.11ac以上



CPU のモデル名が「F」で終わる(例. Intel i5-9400F)場合、グラフィックカード機能が内蔵されていません。当該 CPU で EzOrtho を使用する場合は別途のグラフィックカードが必要です。

3. EzOrtho使用前の準備事項



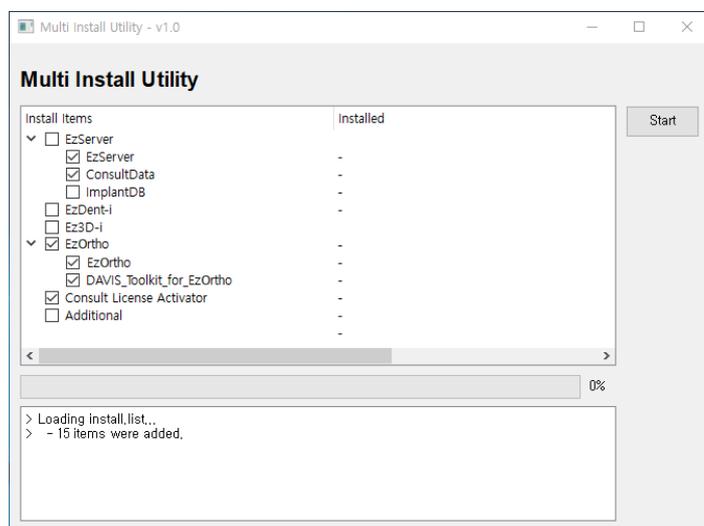
- 製品のインストール及び EzServer の設定に関する詳しい内容は一緒に提供されている「統合インストールとサーバーのマニュアル」をご参照ください。

3.1 EzOrtho のインストール

1. MultiInstallUtility.exe を実行します。



2. インストールオプションを設定することができる Multi Install Utility ウィンドウが表示されます。



EzOrtho v1.3のすべての機能を円滑に使用するには、下記の項目をすべてインストールする必要があります。

- サーバーコンピュータ
 - EzServer v5.1.0.1以上
 - Consult Data
- クライアントコンピュータ
 - EzOrtho
 - DAVIS Toolkit for Ortho



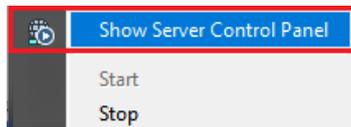
Ewoosoftの統合ログインを使用するには、Ewoosoftで提供するカスタムブラウザであるEzWeb Agentを含むEzCommonToolsをユーザーのコンピュータにインストールする必要があります。統合ログインを使用する製品を初めてインストールする場合、製品インストール時にEzCommonToolsのインストールが自動で行われます。

3. インストールしようとする全ての項目を選択し、【Start】ボタンをクリックすると選択した製品を順番にインストールします。

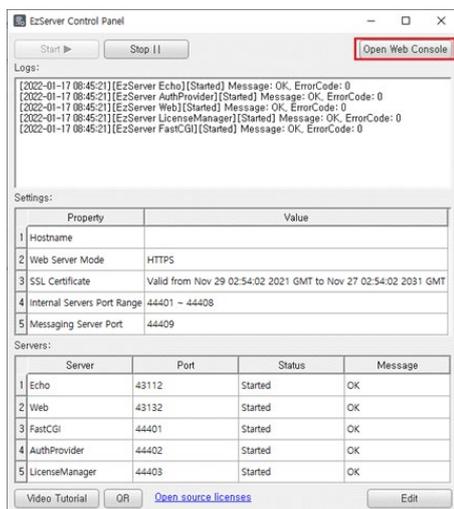
3.2 EzServer の設定

Master Admin アカウントを利用してEzServer Web Consoleにログインし、サーバー設定とユーザーアカウントを管理できます。

1. トレイアイコンで Server Control Panel を右クリックすると表示されるコンテキストメニューから『Show Server Control Panel』を選択します。



2. 『Open Web Console』ボタンをクリックすると EzServer Web Console ウィンドウが 表示されます



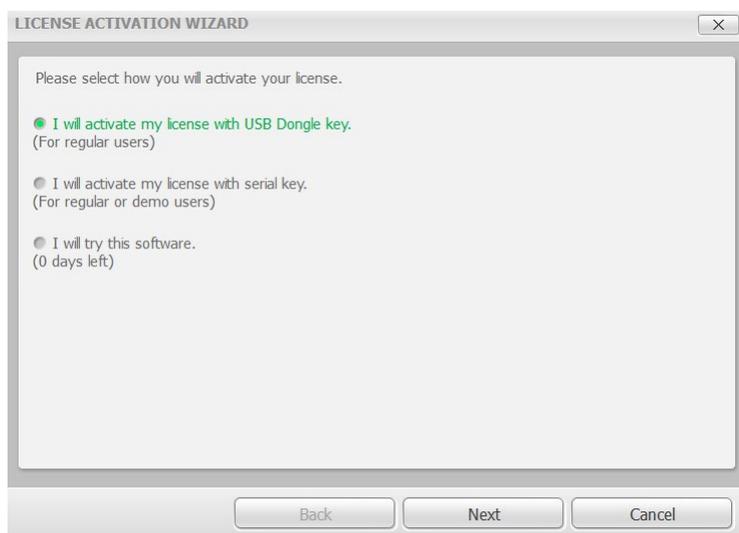
NOTE

- または、デスクトップ画面で EzLauncher を実行した後、EzServer Web Console を選択して EzServer の設定を進めることもできます。



3.3 EzOrtho ライセンスのアクティブ化

EzOrthoを使用するには、提供されたライセンスキーとユーザー情報を入力して製品をアクティブ化しなければなりません。ライセンスがアクティブ化されていない場合、製品を実行するとライセンスをアクティブ化するためのウィンドウが表示されます。



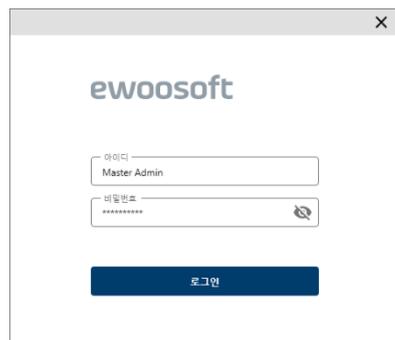
ライセンスのアクティブ化及び非アクティブ化に関する詳しい内容は「統合インストールとサーバーのマニュアル」をご参照ください。

4. EzOrthoスタート/終了

1. デスクトップウィンドウにある EzOrtho のアイコンをダブルクリックします。



サーバーでログイン機能をアクティブ化した場合、ログインウィンドウが表示されます。ID とパスワードを入力した後、『ログイン』ボタンをクリックすると EzOrtho を使用できます。

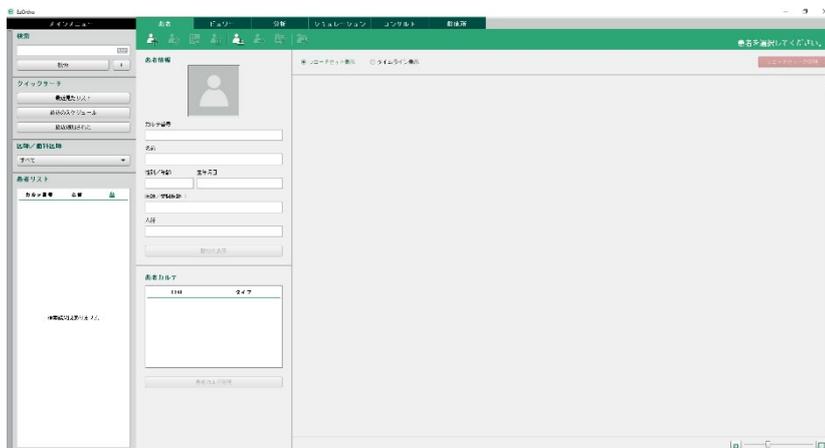


EzServer Web Console を利用してユーザーアカウントを作成・管理できます。詳しい内容は「Chapter 2. EzOrtho の設定 → 4. 環境 → 4.1. 全般」の EzServer Web Console の項目をご参照ください。

2. ロードウィンドウが消えるまで待ちます。



3. EzOrtho が実行され、下図のとおり初期画面が表示されます。



4. EzOrtho 右上にある終了『X』ボタンをクリックすると EzOrtho が終了します。

5. EzOrthoメインメニュー



5.1 患者のエクスポート

メインメニューから『患者のエクスポート』を選択するとエクスポートウィンドウが表示されます。詳しい内容は、『Chapter 4.患者→ 3.5 患者のエクスポート』をご参照ください。

5.2 患者のインポート

メインメニューから『患者のインポート』を選択するとインポートウィンドウが表示されます。詳しい内容は、『Chapter 4.患者→3.6 患者のインポート』をご参照ください。

5.3 画像のエクスポート

選択した画像をエクスポートするための、エクスポートウィンドウが表示されます。『特定の画像のサムネイル』または『ビューフレーム』が選択されている場合のみ、エクスポートメニューがアクティブ化されます。詳しい内容は、『Chapter 4.ビューア→5.2 画像のエクスポート』をご参照ください。

5.4 ファイル情報

選択した画像の情報を表示するファイル情報ウィンドウが表示されます。ファイル情報メニューは、『特定の画像のサムネイル』または『ビューフレーム』が選択されている場合のみ、アクティブ化されます。



5.5 分析エディタ

分析エディタを実行し、EzOrtho で使用する分析方法、ランドマーク、測定、ガイドライン、標準データなどを編集することができます。詳しい内容は、『Chapter 9.分析エディタ』をご参照ください。

5.6 設定

EzOrtho プログラムに関する設定を変更することができます。設定ウィンドウに関する詳しい内容は、『Chapter 2.EzOrtho の設定』をご参照ください。

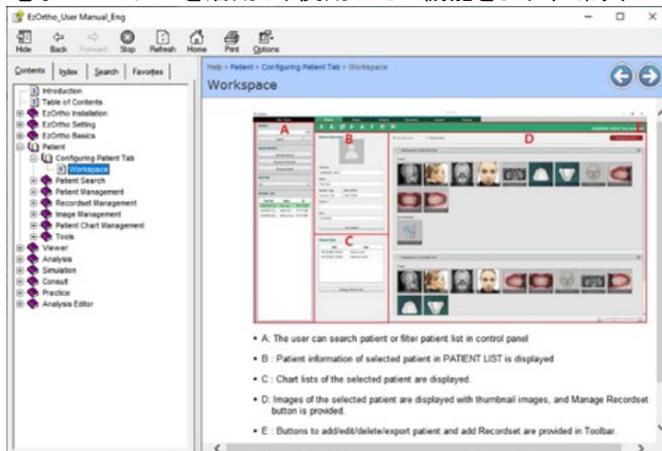
5.7 製品情報

製品情報を確認できるウィンドウが表示されます。



5.8 ヘルプ

電子マニュアルを活用し、使用したい機能をより早く簡単に検索することができます。



5.9 ログアウト



NOTE

- EzOrtho からログアウトする場合、統合ログインを使用中の他の連携製品からもすべてログアウトされます。

EzOrthoから現在ログインしたアカウントをログアウトします。サーバーでログイン機能を非アクティブ化する場合、本項目は非表示になります。

Chapter 2. EzOrtho の設定

1. 簡単設定.....	25
2. 設定開始.....	26
3. 設定の初期化.....	27
4. 環境.....	28
5. ビュー.....	33
6. ツール.....	35
7. 分析.....	40
8. シミュレーション.....	43
9. 診療所.....	46
10. その他.....	49

1. 簡単設定

EzOrtho プログラムのインストール後、初めて実行する場合、次のような簡単設定ウィンドウが表示されます。簡単設定ウィンドウで最初に、サーバーの IP アドレス・ローカル/サーバー・言語・歯式図・個人情報保護オプションの設定を行なうことができます。更なる詳細設定が必要な場合は、メインメニューの設定機能をご利用ください。

QUICK SETTINGS

Quick Settings
Please select from the options below to proceed.

Server IP Address Port

Settings Location
 Local Server

Language

Teeth Code
 FDI System Universal System

Privacy Policy Setting
 Enable Disable

- Port ナンバーは、デフォルト値が自動で表示されます。

2. 設定開始

1. 左上にあるメインメニューから『設定』を選択します。



2. 『設定』ウィンドウで、EzOrtho 全般のシステムや機能に関する設定を行うことができます。



3. 変更内容を保存するために『OK』ボタンをクリックします。

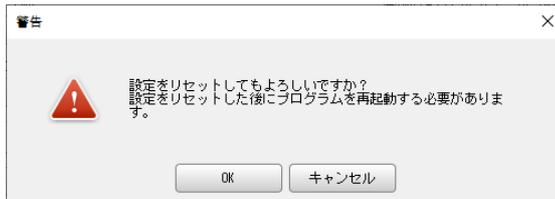
3. 設定の初期化

EzOrthoの設定値をデフォルト値に戻したい場合は、『設定をリセットする』ボタンをクリックします。設定の初期化の作業後には、必ずプログラムを再起動させてください。

1. 設定ウィンドウの左下にある『設定をリセットする』ボタンをクリックします。



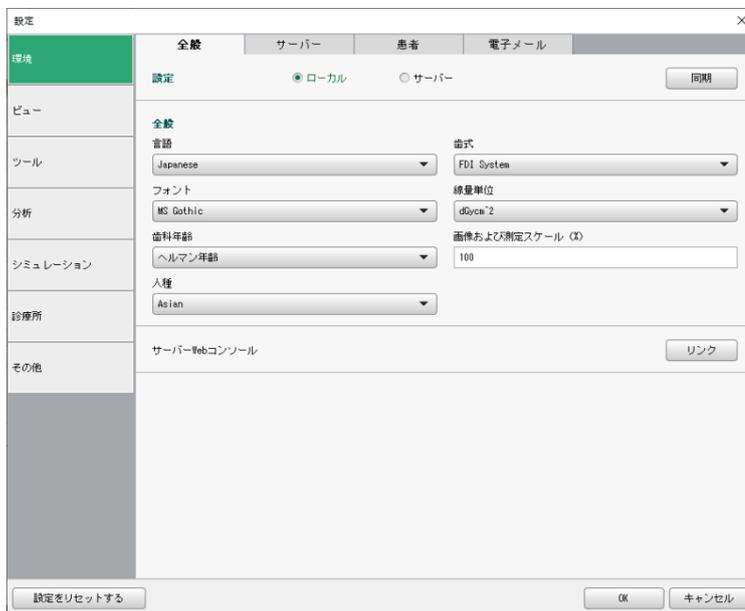
2. 次の警告ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックします。



3. プログラムを再起動させると、全ての設定が初期化されます。

4. 環境

4.1 全般



1. 場所の設定

- ローカル: EzOrtho の設定がローカル PC に保存され、定期的に『同期』ボタンをクリックし、サーバーとデータベースを同一に維持します。
- サーバー: EzOrtho の設定がネットワークサーバーに保存され、サーバーに変更があった際には EzOrtho にリアルタイムで反映されます。

2. 言語

EzOrtho で使用する言語を設定します。EzOrtho はアラブ語、ドイツ語、英語、スペイン語、韓国語、イタリア語、インドネシア語、ポルトガル語、ロシア語、トルコ語、ベトナム語、フランス語、日本語、中国語(簡体)、中国語(繁体)の 15 か国語をサポートしています。言語設定を変更したら、その設定を行こうかするため EzOrtho を再起動してください。



- 言語によっては特定のフォントがサポートされていない場合があります。
- 選択した言語に応じて日付の形式が自動で設定されます。

3. フォント

EzOrtho に適用するフォントを選択します。基本フォントは『MS Gothic』に設定されています。

4. 歯牙年齢

Chronological 年齢と Hellman 年齢のうち、使用する歯牙年齢を設定します。基本値は『ヘルマン年齢』に設定されています。

- Chronological 年齢: 矯正レコードセット作成の日付を基準に患者の年齢を計算し、平均値と標準偏差を反映します。
- Hellman 年齢: 矯正レコードセット作成時に設定した歯牙年齢を基準に、平均値と標準偏差を

反映します。

5. 人種

プルダウンリストから人種を設定します。人種リストは、分析エディタ→Measurement→Race Setting から編集することができます。

6. 歯番

歯番の表記方法を FDI System と Universal System の中から選択します。基本値は『FDI System』に設定されています。

▪ FDI(Federation Dentaire Internationale) Systemの歯番



▪ Universal Systemの歯番



7. 線量単位

線量単位を設定します。(線量単位: dGycm2, mGycm2, Gycm2, uGym2, mGym2)

8. 画像及び測定スケール(%)

10～1000 の間の値を入力します。基本値は『100』に設定されています。

9. サーバーウェブコンソール

EzServer の設定を開くために『接続』ボタンをクリックします。ユーザーアカウント管理、ログイン機能設定、セキュリティコード設定などが行えます。詳しい内容は「統合インストールとサーバーのマニュアル」をご参照ください。

▪ ユーザーアカウントによる権限の制限

サーバーでログイン機能をアクティブ化した場合、ログインしたユーザーのアカウントによって一部機能が制限される場合があります。Master AdminまたはAdminアカウントを利用して各アカウントの権限を制御できます。デフォルトは以下のとおりです。

アカウント	権限の制限
Master Admin	制限なし
Admin	ユーザーアカウント管理
Doctor	ユーザーアカウント管理、データ削除、共有データ編集
Staff	ユーザーアカウント管理、データ削除、データ移動、データエクスポート、共有データ編集

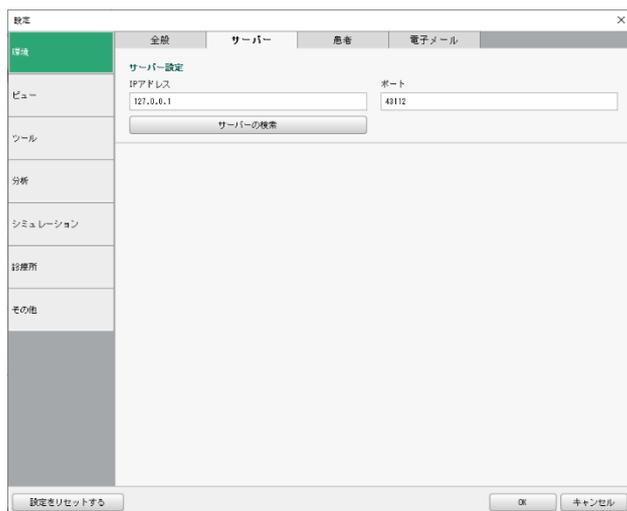
▪ セキュリティコード

サーバーでセキュリティコード機能をアクティブ化して適用したい機能を選択した場合、当該機能の実行時にセキュリティコードを確認するウィンドウが表示されます。ログインしたユーザーが権限を持っており、セキュリティコード機能を非アクティブ化した場合、別途の確認手

続きなしで当該機能を実行します。ただし、ログイン機能を使用していない場合はセキュリティコード機能を非アクティブ化できません。

初期セキュリティコードは数字の「0000」であり、EzServer Web Consoleでセキュリティコードを変更できます。

4.2 サーバー



1. IP アドレス

入力欄に直接 IP アドレスを入力、または『サーバーの検索』から検索し IP を設定します。

2. サーバーの検索

EzServer が実行中の場合にのみ『サーバーの検索』ボタンがアクティブ化します。『サーバーの検索』ボタンをクリックすると、サーバーに接続している PC の IP アドレスリストが検索ウィンドウに表示されます。



IP アドレスを選択し『OK』ボタンをクリックすると、選択した IP アドレスが自動で入力されます。

3. ポート

基本的にポートは『43112』に設定され、ユーザーはポートナンバーを変更することができます。

4.3 患者

1. カルテ番号

カルテ番号の自動入力/手動入力を設定します。

2. 患者名オプション

患者名の表示形式を指定します。

3. 最近の患者リスト

- 『デフォルトリストビュー』: プログラムを実行する際に表示される患者リストの表示方法を設定します。最近予約した患者、最近閲覧した患者、最近追加した患者、の順に並べることができます。表示方法で非表示を選択した場合検索欄には何も入力されず、検索の際に患者リストは表示されません。
- 『表示制限』: Patientタブに表示することができる最大項目数を設定します。
- 『自動的に患者の画像を表示』: アクティブ化すると、プログラムを実行してから初めて選択した患者の画像が右側にあるウィンドウに自動で表示されます。非アクティブ化の際には、患者をダブルクリックして画像を表示することができます。

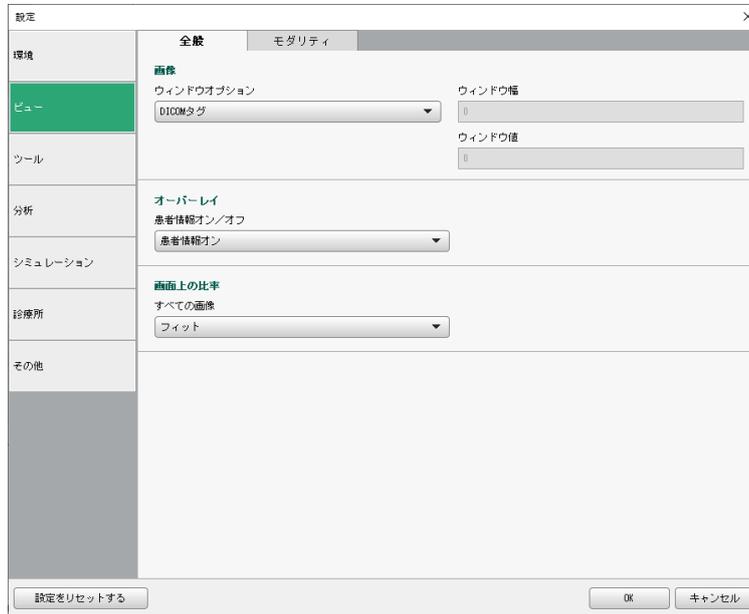
4.4 電子メール

1. 電子メール送信者情報

患者の画像またはレポートを電子メールで送信する際の、送信者の情報を設定します。『テスト』ボタンをクリックすると、電子メールの連携が正常に行われたかをテストすることができます。EzOrtho で定義されたドメイン(Gmail、Yahoo、Daum、Hanmail、Naver、Hotmail、AOL、Nate) のうちの一つを設定した場合には、SMTP サーバーアドレス・ポート・セキュリティ情報が自動で入力されます。

5. ビュー

5.1 全般



1. ウィンドウオプション

DICOM ファイルのウィンドウ効果を画像に適用する際、DICOM タグファイルに適用させる値を設定します。基本値は『DICOM タグ』に設定されており、『ユーザー基本』を選択した場合ウィンドウ幅とウィンドウ値の入力欄がアクティブ化されます。

2. 患者情報オン/オフ

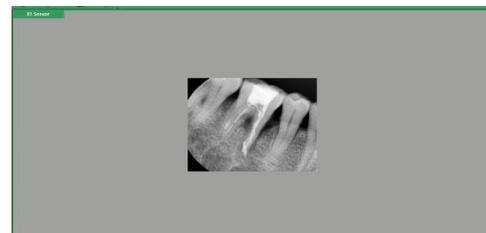
プレゼンテーションモード、分析タブのビューフレーム、シミュレーションタブでの『患者情報オン/オフ』機能の基本値を設定することができます。

3. 画面上の比率

画像をビューフレームに表示する際の比率を設定します。ここでの設定は、ビュータブに表示される全ての画像に同一に適用されます。

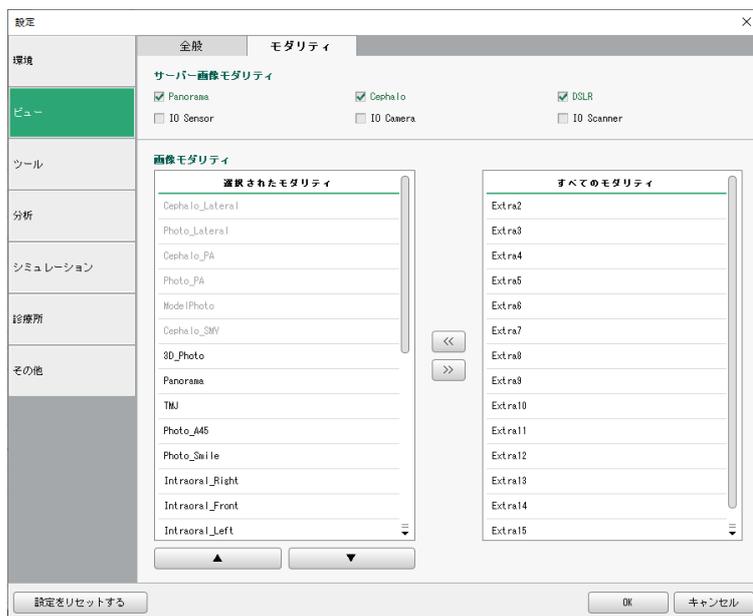


全ての画像を『Fit』に設定した場合



全ての画像を『40%』に設定した場合

5.2 モダリティ



1. サーバー画像モダリティ

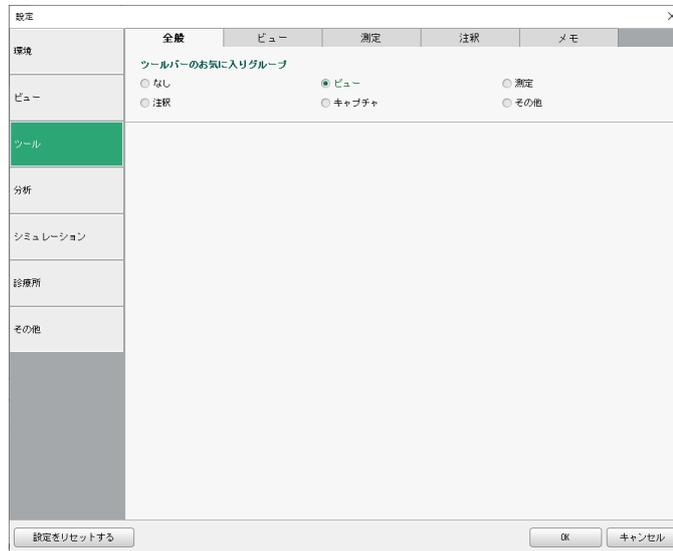
レコードセットの管理で表示される Ez サーバー画像のモダリティを設定します。モダリティがチェックされている画像のみインポートタブの『サーバー画像』リストに表示されます。基本値は『Panorama/Cephalo/DSLR』に設定されています。

2. 画像モダリティのインポート

レコードセット管理の画像モダリティボックスの構成を変更することができます。中央にある『「』または『』』ボタンをクリックすることで、インポート欄のモダリティをユーザーが追加/削除することができます。

6. ツール

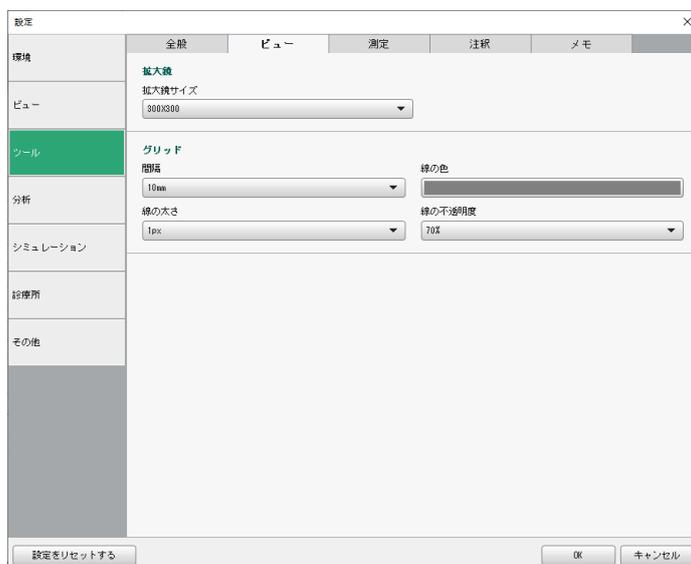
6.1 全般



1. ツールバーのお気に入りグループ

ツールバーに固定される拡張ツールを選択することができます。基本値は『ビュー』グループに設定されており、ここで選択した値はビュータブと分析タブに同一に適用されます。

6.2 ビュー



1. 拡大鏡 」 拡大鏡サイズ

拡大鏡サイズを設定します。(基本値:300X300)

2. グリッド 」 間隔

グリッドの間隔を設定します。(基本値:10mm)

3. グリッド 」 線の太さ

グリッド線の太さを設定します。(基本値:1px)

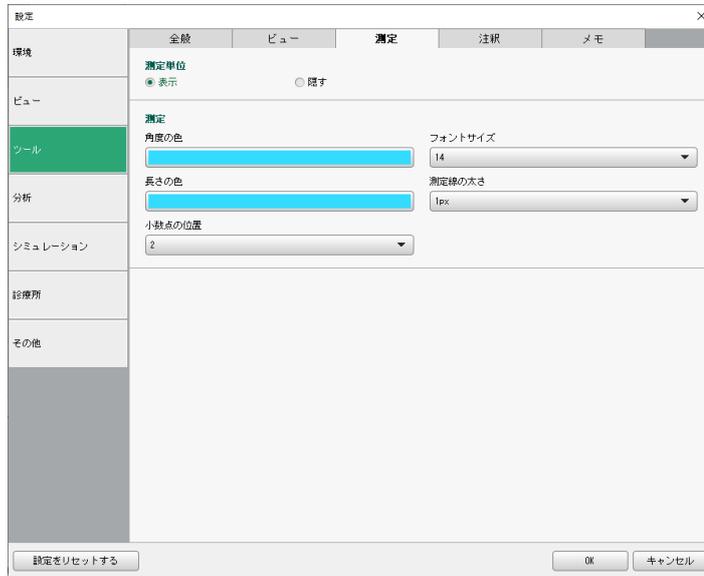
4. グリッド 」 線の色

グリッド線の色を設定します。(基本値:灰色)

5. グリッド 」 線の不透明度

グリッド線の透明度を 10~100%の値で設定します。値は 10 単位で設定が可能です。(基本値:70%)

6.3 測定



1. 測定単位

測定単位の表示/非表示を設定します。

2. 測定 」角度の色

測定角度の色を設定します。(基本値:水色)

3. 測定 」フォントサイズ

フォントサイズを設定します。(基本値:14)

4. 測定 」長さの色

測定長さの色を設定します。(基本値:水色)

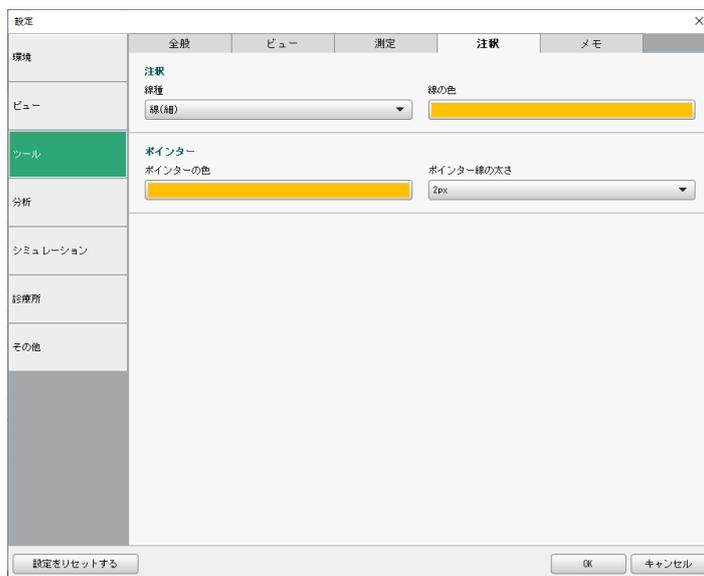
5. 測定 」測定線の太さ

測定線の太さを設定します。(基本値:1px)

6. 測定 」小数点の位置

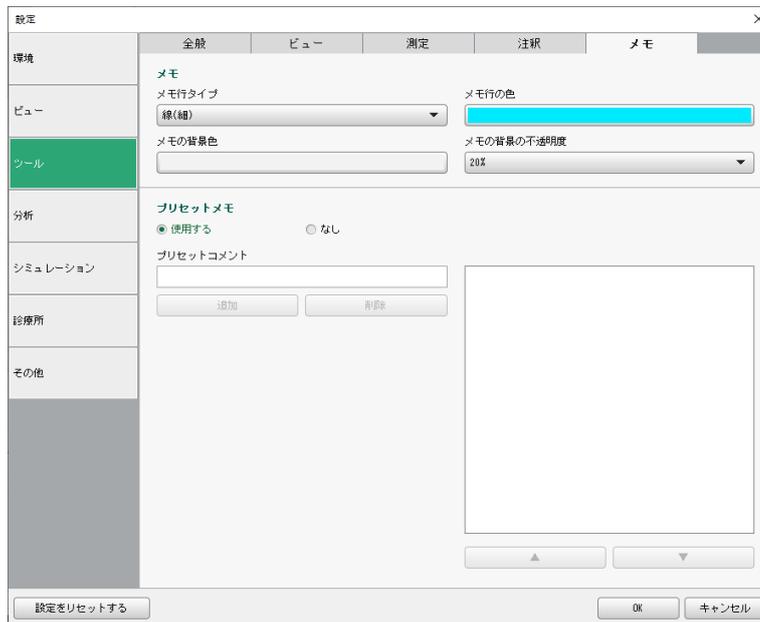
測定値を記録する際に使用する小数点の位置を設定します。(基本値:2)

6.4 注釈



1. 注釈 」線種
注釈の線種を設定します。
2. 注釈 」線の色
注釈の線の色を設定します。(基本値:黄色)
3. ポインター 」ポインターの色
ポインターの色を設定します。(基本値:黄色)
4. ポインター 」ポインター線の太さ
ポインター線の太さを設定します。(基本値:2)

6.5 メモ



1. **メモ行タイプ**
メモ行タイプを設定します。
2. **メモ行の色**
メモ行の色を設定します。(基本値: 水色)
3. **メモの背景色**
メモの背景色を設定します。(基本値: 無色)
4. **メモの背景の不透明度**
メモの背景の透明度を 0～100%の値で設定します。値は 10 単位で設定が可能です。(基本値: 20%)
5. **プリセットメモ**
プリセットメモの使用有無を設定します。
6. **プリセットコメント**
プリセットで登録するコメントを入力後、『追加』ボタンをクリックして登録します。入力したコメントが右側のプリセットコメントリストに追加されます。

7. 分析

7.1 追跡



1. ランドマーク

分析タブから、追跡結果を表示する際のランドマークに表示される、線の太さ、線の色、フォントサイズを設定します。

2. ガイドライン

追跡結果の分析方法と一緒に表示されるガイドラインについて、線の太さ、線の色を設定します。

3. 歯

追跡結果と一緒に表示される上顎 1、上顎 6、下顎 1、下顎 6 歯牙オーバーレイの線の太さ、線の色、塗りつぶしの色、不透明度を設定します。

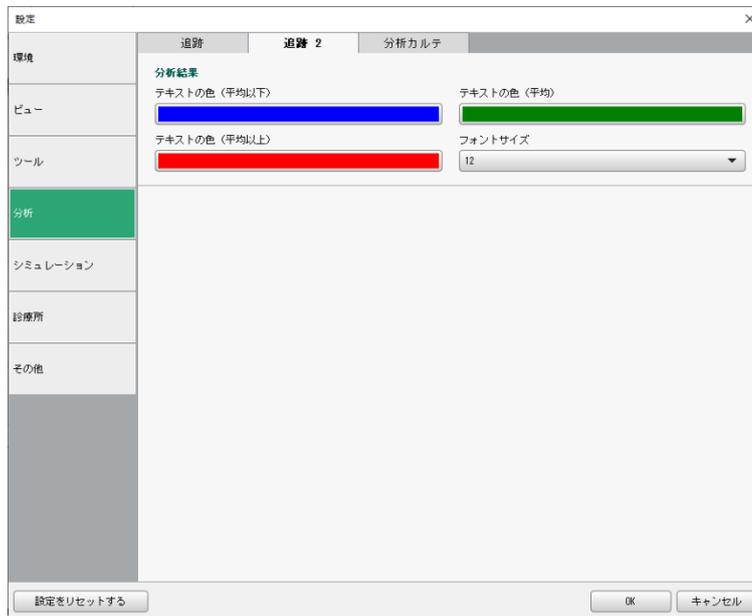
4. 軟組織

追跡結果と一緒に表示される軟組織の線の太さ、線の色を設定します。

5. アウトライン

追跡結果と一緒に表示されるアウトラインの線の太さ、線の色を設定します。

7.2 追跡 2



1. テキストの色(平均以下)

分析カルテに表示する患者の分析値を平均値と比較した際、平均以下の値の項目テキストの色を設定します。

2. テキストの色(平均)

分析カルテに表示する患者の分析値を平均値と比較した際、平均値内の項目テキストの色を設定します。

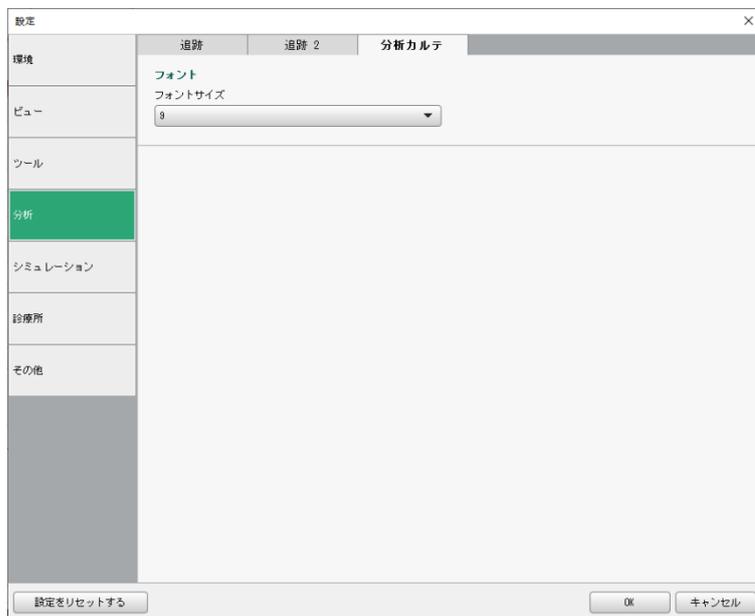
3. テキストの色(平均以上)

分析カルテに表示する患者の分析値を平均値と比較した際、平均以上の値の項目テキストの色を設定します。

4. フォントサイズ

分析カルテに表示する Tracing オーバーレイのフォントサイズを設定します。フォントサイズは、平均以下/平均/平均以上に対し、同一に適用されます。(基本値: 14)

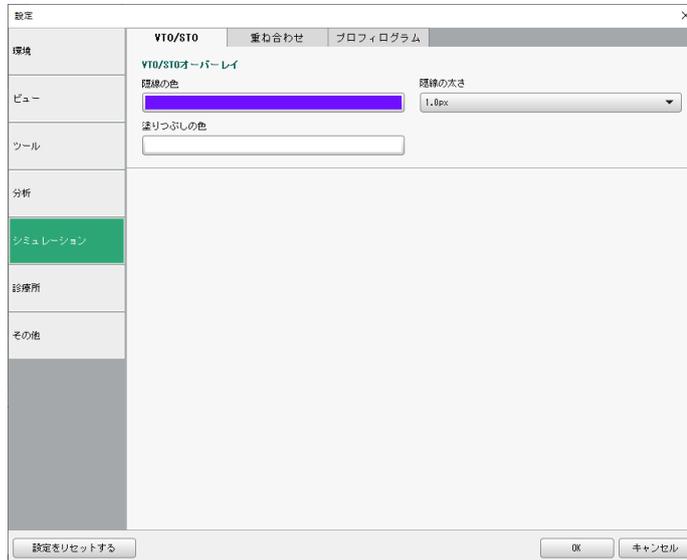
7.3 分析カルテ



1. フォントサイズ
2. 分析カルテに表示する患者の分析値のフォントサイズを設定します。フォントサイズは、下位/平均/上位値に対し、同一に適用されます。(基本値:9)

8. シミュレーション

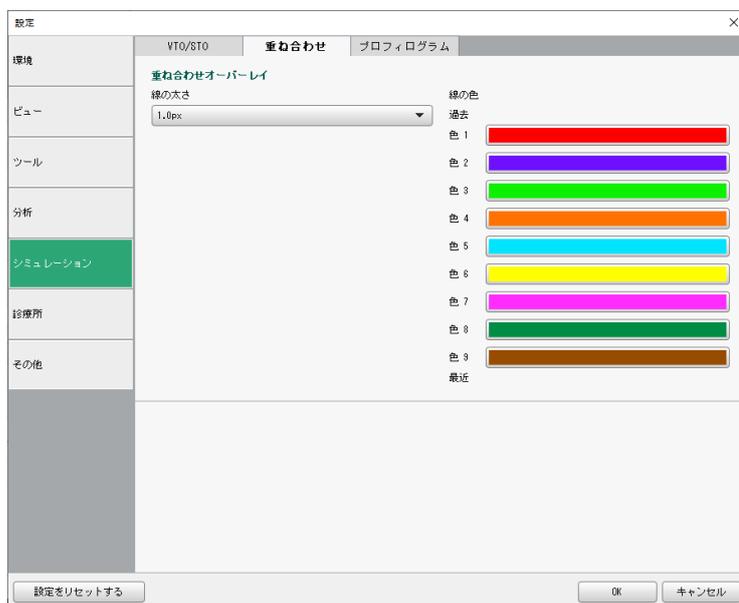
8.1 VTO/STO



1. VTO/STO

VTO/STO タブで、ランドマーク・ポイントを移動しながら作成される隠線の色や隠線の太さの表示オプションを設定します。

8.2 重ね合わせ



重ね合わせで選択することができる、最大 9 つのシミュレーションデータの表示オプションを設定します。

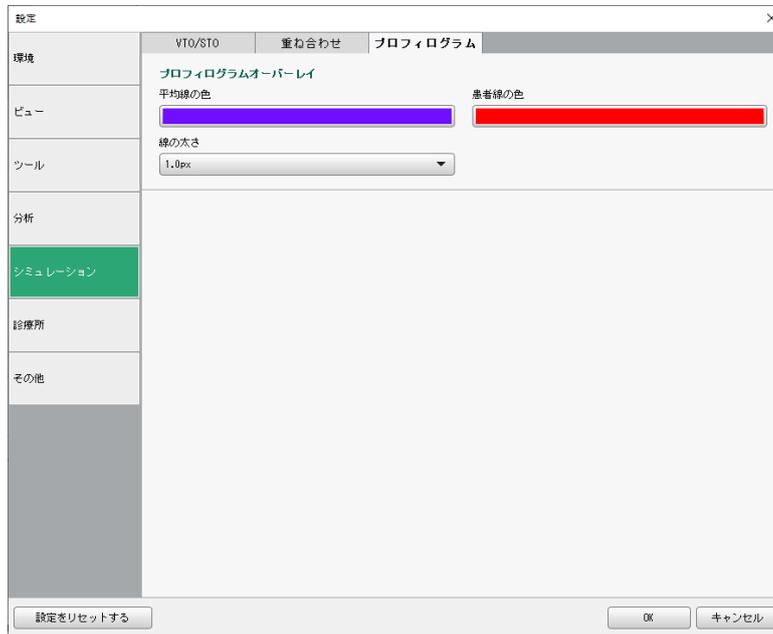
1. 線の太さ

線の太さを設定します。(基本値: 1px)

2. 線の色

重ね合わせで選択したシミュレーションデータの日付 (レコードセット、VTO/STO データの日付) が古い項目から順に色付けされます。

8.3 Profilogram



1. 平均線の色

Profilogram タブに表示される 平均線の色を設定します。

2. 患者線の色

Profilogram タブに表示される 患者線の色を設定します。

3. 線の太さ

Profilogram タブに表示される線の太さを設定します。平均線と患者線に対し、同一に適用されます。(基本値: 1px)

9. 診療所

9.1 クリニックの情報

The screenshot shows a settings window titled '設定' (Settings) with a close button 'X' in the top right corner. The window is divided into several sections:

- 環境 (Environment):** Contains tabs for 'クリニックの情報' (Clinic Information), 'スケジュール' (Schedule), and 'チェア' (Chair).
- ビュー (View):** A section for clinic details.
 - クリニックの情報 (Clinic Information):** Includes a text field for 'クリニックの名称' (Clinic Name) with the value 'default_practice_info' and a text field for 'ウェブサイト' (Website).
 - 電話番号 (Phone Number):** A text field with a placeholder 'xxxx-xxxx-xxxx 01 xxxxxxxxxxxxxx'.
 - FAX番号 (FAX Number):** A text field with a placeholder 'xxxx-xxxx-xxxx 01 xxxxxxxxxxxxxx'.
 - 住所 (Address):** A large empty text area.
- クリニックのロゴタイプ (Clinic Logo Type):**
 - Radio buttons for 'テキスト' (Text) and '画像' (Image).
 - A dropdown menu currently set to 'Segoe UI'.
 - Two empty text areas for logo input.

At the bottom of the window, there are three buttons: '設定をリセットする' (Reset Settings), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

1. クリニックの情報

ユーザーのクリニックの情報を入力します。各入力ウィンドウに該当する情報を入力すると、カルテなどの必要な領域に情報が表示されます。

2. クリニックのロゴタイプ

クリニックのロゴの『テキスト』または『画像』を登録すると、EzOrtho の画面左下に表示されます。

9.2 スケジュール

設定

クリニックの情報 スケジュール チェア

カレンダー時刻

12時刻 24時刻

受診

<input type="checkbox"/> 日曜日	AM 09:00	~	PM 06:00
<input checked="" type="checkbox"/> 月曜日	AM 09:00	~	PM 06:00
<input checked="" type="checkbox"/> 火曜日	AM 09:00	~	PM 06:00
<input checked="" type="checkbox"/> 水曜日	AM 09:00	~	PM 06:00
<input checked="" type="checkbox"/> 木曜日	AM 09:00	~	PM 06:00
<input checked="" type="checkbox"/> 金曜日	AM 09:00	~	PM 06:00
<input type="checkbox"/> 土曜日	AM 09:00	~	PM 06:00

設定をリセットする OK キャンセル

1. カレンダー時刻

患者タブのカレンダーで使用する時間制を設定します。

2. 受診

診療の曜日または曜日別の開始/終了時刻を設定します。

9.3 チェア

設定

環境

ビュー

ツール

分析

シミュレーション

診療所

その他

クリニックの情報 スケジュール チェア

チェア情報

チェア台数
1

チェア名 1
Chair Name 1

チェア名 2

チェア名 3

チェア名 4

チェア名 5

チェア名 6

チェア名 7

チェア名 8

チェア名 9

チェア名 10

設定をリセットする OK キャンセル

1. チェア数

該当するクリニックのチェア数を設定します。

2. チェア名

選択したチェアの数によりアクティブ化された入力欄から各チェア名を設定します。

10. その他

10.1 プライバシーポリシー



1. プライバシーポリシー設定

プライバシーポリシーの使用の有無を設定します。該当する機能を『使う』に設定した場合のみ、『ウィンドウに表示される情報の匿名化』と『患者情報の匿名化』の項目がアクティブ化されます。

2. ウィンドウに表示される情報の匿名化

匿名化する患者情報の項目を設定します。選択した項目の情報は、文字数に合わせてアスタリスク『*』で表示されます。

3. 患者情報の匿名化

匿名化を使用する機能を設定します。選択した機能が実行される際、患者情報の匿名化 UI が表示されます。

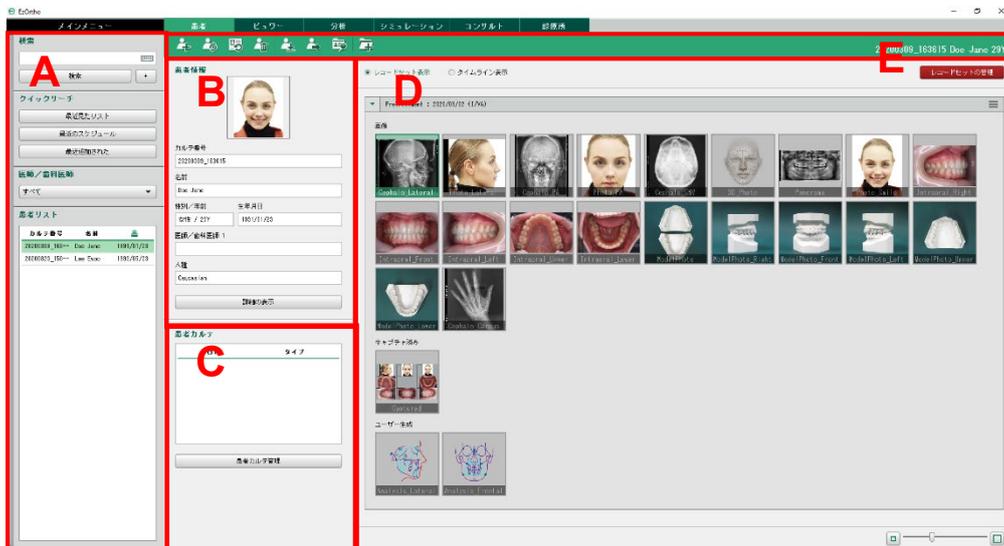
Chapter 3. 患者

1. 患者タブのウィンドウ構成	53
2. 患者の検索	54
3. 患者の管理	56
4. レコードセットの管理	63
5. 画像管理	66
6. 患者カルテの管理	78
7. ツールの説明	87

1. 患者タブのウィンドウ構成

患者(Patient)タブでは、患者の検索・患者の情報・画像やカルテを管理することができます。

1.1 ワークスペース



- A セクション: 患者の検索や、患者リストのフィルタリングを行うことができます。
- B セクション: 選択された患者の情報が表示されます。
- C セクション: 選択された患者のカルテが表示されます。
- D セクション: 選択された患者の画像が表示されます。
- E セクション: 患者の追加/編集/削除/インポート/エクスポート、及びレコードセットのエクスポート/編集/削除機能を提供するツールバーです。

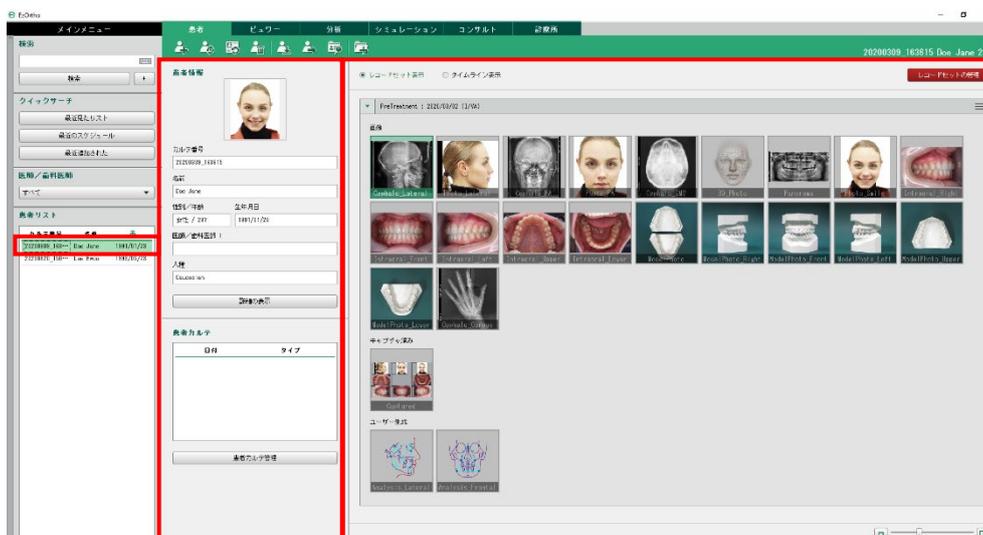
2. 患者の検索

2.1 患者の検索

1. 登録されている患者名またはカルテ番号を入力欄に入力し、『検索』ボタンをクリックします。



2. 患者リストから該当する患者を選択し、患者情報、画像またはカルテを確認することができます。



2.2 詳細検索

1. メインメニューの検索にある『+』ボタンをクリックすると、詳細検索ウィンドウが表示されます。



2. 『レコードセットの作成日』の項目から、希望する期間を選択します。

3. 開始日と終了日をユーザーが設定する場合、『期間』ボタンをクリック後、カレンダーで直接開始日と終了日を選択した後『OK』ボタンをクリックし、期間を指定します。



4. 『OK』ボタンをクリックすると、設定期間に該当する患者リストが表示されます。

2.3 クイックサーチ

患者を『最近見たリスト』、『最近のスケジュール』、『最近追加された』順に、検索することができます。



- 最近見たリスト: 患者リストの検索結果が、最近閲覧した日付順に表示されます。
- 最近のスケジュール: 患者リストの検索結果が、予約された日付順に表示されます。
- 最近追加された: 患者リストの検索結果が、登録された日付順に表示されます。

2.4 医師別担当患者検索

1. DOCTORのドロップダウンリストから担当医を選択します。



2. 選択した医師の担当患者のみ、患者リストに表示されます。

3. 患者の管理

3.1 患者情報の確認

1. 患者リストから該当する患者を選択し、患者情報を確認します。

患者情報

カルテ番号
20200309_163615

名前
Doe Jane

性別/年齢 生年月日
女性 / 29Y 1991/01/23

医師/歯科医師 1
なし

人種
Caucasian

詳細の表示

2. 『詳細の表示』ボタンをクリックすると、全体の情報が含まれた患者情報ウィンドウが表示されます。

患者情報

カルテ番号* 20200309_163615

名前* 姓 名
Doe Jane

性別 女性

生年月日 1991/01/23

人種 Caucasian

医師/歯科医師 1 なし 医師/歯科医師 2 なし

ジョブ

ソーシャルID

電話番号

携帯電話 123-456-7890

電子メール

郵便番号

住所

閉じる

3. 『閉じる』ボタンをクリックしポップアップウィンドウを終了します。
 - 『患者情報の非表示』アイコンをクリックすると、患者タブに表示される患者の個人情報、画像情報、患者リストが非表示となります。再び患者情報を確認する際には、左上にある『患者の検索』から再検索します。

3.2 患者情報の編集

1. 患者リストから編集する患者を選択します。
2. ツールバーで『患者情報の編集』アイコン  をクリックすると、患者の編集ウィンドウが表示されます。



3. 患者情報を修正した後『OK』ボタンをクリックし、保存します。



NOTE

- 人種は『分析エディタ』で、項目の追加/編集/削除を行うことができます。
- 設定で基本値に設定した人種を『分析エディタ』で削除する場合、基本値は『None』で表示します。
- 『分析エディタ』で人種を削除すると、削除された人種の値に指定されていた患者の人種情報が『None』に変更されます。

3.3 患者の追加

1. ツールバーで『患者の追加』アイコン()をクリックすると、患者情報の追加ウィンドウが表示されます。




『設定』でカルテ番号項目を『自動』に設定すると、カルテ番号を自動で作成することができます。

2. 必須入力欄に必要事項を入力した後『OK』ボタンをクリックし、新しい患者を追加します。

3.4 患者の削除

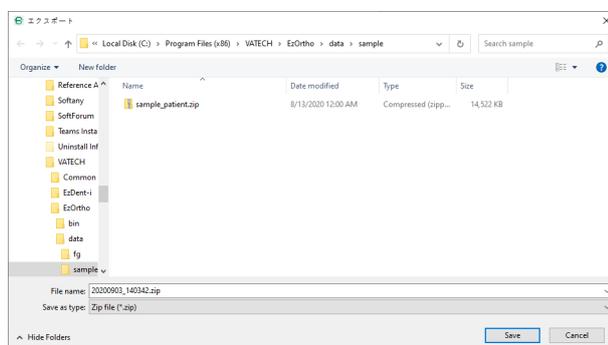
1. 患者リストから患者を選択します。
2. 『患者削除』ボタン()をクリックすると、選択した患者を削除できます。

3.5 患者のエクスポート

1. 患者リストからエクスポートする患者を選択します。
2. ツールバーにある『患者のエクスポート』アイコン()をクリックすると、エクスポートウィンドウが表示されます。



3. 保存ファイルの種類を選択し、エクスポートする項目を設定します。
4. 必要であれば、圧縮解除時のパスワードを入力します。
5. 患者情報の匿名化使用の有無を設定します。
6. 『OK』ボタンをクリックします。
7. エクスポートウィンドウが表示されたら、ファイル名と保存位置を指定します。

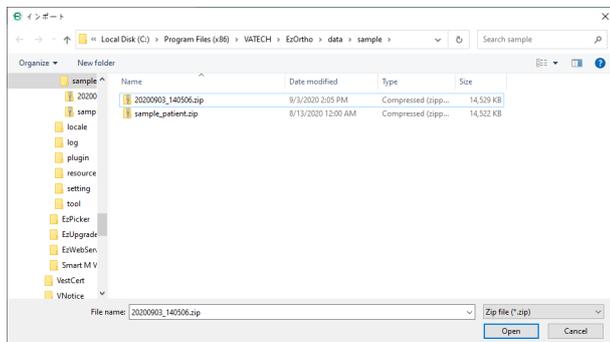


8. 『Save』ボタンをクリックするとエクスポートが完了します。

3.6 患者のインポート

エクスポートしたファイルは、必要に応じてインポート機能を使いインポートすることができます。

1. ツールバーで『患者のインポート』アイコン()をクリックすると、インポートウィンドウが表示されます。



2. インポートするファイルを選択した後『Open』ボタンをクリックし、ファイルをインポートします。
3. インポートするファイルが暗号化されている場合、次のようなロック解除のウィンドウが表示されます。



4. パスワードを入力した後『OK』ボタンをクリックします。
5. インポートするファイルのカルテ番号が、DB に既に存在する患者のカルテ番号と同一の場合、次のようなポップアップメッセージが表示されます。



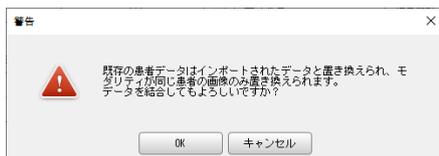
6. 『結合』ボタンをクリックし、該当するデータを既存の DB に結合します。



『新規患者』ボタンを選択した場合、患者を追加するためのウィンドウが表示されます。詳しい内容は、『Chapter 3.患者→3.患者の管理→3.3 患者の追加』をご参照ください。

7. 次のようなインポートウィンドウが表示されます。

8. エクスポートする項目を選択した後『OK』ボタンをクリックします。
 9. 結合の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックします。



10. インポートした患者が、患者リストに表示されます。

3.7 患者情報のエクスポート

患者の個人情報を閲覧し、登録された情報をcsvまたはzipファイル形式で保存することができます。

1. ツールバーで『患者情報のエクスポート』ボタン()をクリックすると、患者情報を閲覧できます。

患者情報のエクスポート ×

患者情報

フィールド	値
姓	Doe
名	Jane
性別	女性
生年月日	2000/08/17
電子メール	
ソーシャルID	
電話番号	
郵便番号	
住所	
携帯電話	
ジョブ	
人種	Caucasian
作成日時	2020/10/07 15:11:17
最終更新日時	2020/10/07 16:59:17
ソース	EzOrthoSourceType

.zipファイルに圧縮 パスワード

パスワードの表示

2. 『エクスポート』ボタンをクリックし、患者情報を csv ファイル形式で保存します。



・『Zip ファイルで圧縮』にチェックをすると、保存したい情報を zip ファイル形式で保存することができます。

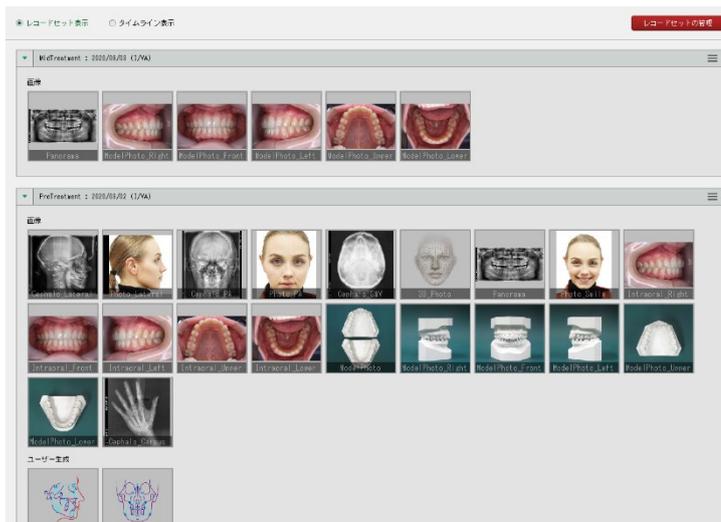
- パスワードを入力する場合、圧縮ファイルを暗号化し保護することができます。

4. レコードセットの管理

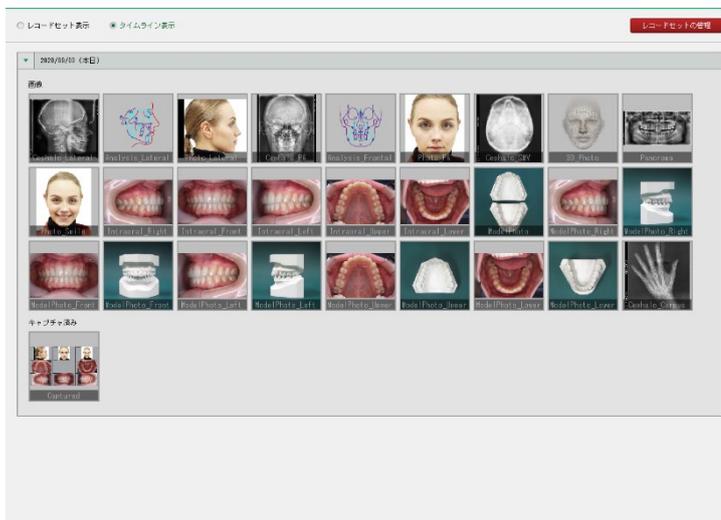
4.1 レコードセット/タイムライン表示選択

レコードセット表示またはタイムライン表示を選択し、現在選択されている患者の診療状況をレコードセットまたはタイムラインごとに確認することができます。

『レコードセット表示』



『タイムライン表示』

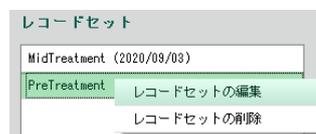


4.2 レコードセットの編集

1. レコードセットタイトルの右上にあるメニューから『レコードセットの管理』ボタンをクリックすると、『治療のレコードセットの編集』ウィンドウが表示されます。



インポート画面のレコードセットから右クリックで、『レコードセットの編集』を実行することもできます。



2. 変更する情報を編集した後『OK』ボタンをクリックし、変更事項をレコードセットリストに適用します。

4.3 レコードセットの追加

1. ウィンドウ右上にある『レコードセットの管理』ボタンをクリックすると、『治療のレコードセットの追加』ウィンドウが表示されます。



2. 左側にあるコントロールパネルで『治療のレコードセットの追加』ボタンをクリックすると、『治療のレコードセットの追加』ウィンドウが表示されます。



3. 各項目を設定し、必要な場合は『説明』項目を作成します。



- 同一の日付で作成できるレコードセットの数は、一つのみです。
- 作成できる最大レコードセット数は、100 個です。

4. 『治療のレコードセットの追加』ウィンドウを終了すると、作成したレコードセットがレコードセットリストに追加されます。
5. レコードセットの作成後、画像のインポート画面が自動で実行されます。画像のインポートに関する詳しい内容は、『Chapter 3.患者→5.2 サーバー画像のインポート/5.3 ローカル画像のインポート』をご参照ください。

4.4 レコードセットの削除

1. 削除したいレコードセットのタイトルの右にあるメニューで『レコードセットの削除』ボタンをクリックすると、レコードセットを削除できます。



インポート画面のレコードセットから右クリックで、『レコードセットの削除』を実行することもできます。



5. 画像管理

5.1 レコードセットの管理

1. ウィンドウ右上にある『**レコードセットの管理**』ボタンをクリックすると、画像をインポートするためのウィンドウが表示されます。



レコードセットの管理ボタンは、患者を選択した場合にのみアクティブ化されます。

画像のインポートまたは編集をするために、レコードセットリストからレコードセットを選択します。

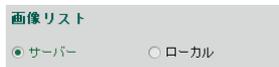


レコードセットが存在しない場合、または新しいレコードセットが必要な場合、レコードセットリスト下にある『レコードセットの追加』機能を使って新しいレコードセットを追加することができます。詳しい内容は、『Chapter 3.患者→4.3 レコードセットの追加』をご参照ください。

5.2 サーバー画像のインポート

5.2.1 ドラッグ&ドロップ

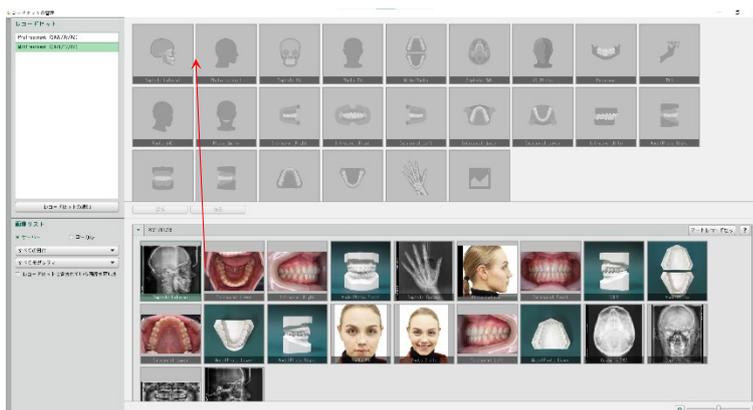
1. サーバー画像をインポートするために、画像リストで『サーバー』ボタンをチェックします。



2. 希望する日付とモダリティを選択し、サーバー画像リストから画像をフィルタリングします。



3. 『レコードセットに含まれている画像を隠します』にチェックを入れると、レコードセットに登録していない画像のみ確認できます。
4. 『OK』ボタンをクリックし、実行します。
5. サーバーの画像リストからサムネイル画像を選択し、画像モダリティボックスにドラッグ&ドロップします。



6. 選択した画像で、画像モダリティボックスが埋められます。

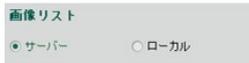


次のような場合、画像の編集ウィンドウが表示されます。

- キャリブレーション情報がない Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
 - Lateral/PA X 線画像をインポートした状態で、Lateral/PA 画像をインポートする場合
 - Lateral/PA 画像をインポートした状態で、Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
- 編集ウィンドウに関する詳しい内容は、『5.4. 画像の編集』をご参照ください。

5.2.2 スマートレコードセット

1. サーバー画像をインポートするため、画像リストで『サーバー』ボタンをチェックします。



2. 希望する日付の画像グループの右上にある『スマートレコードセット』ボタンをクリックします。



『スマートレコードセット』ボタンは、EzOrtho で使用するモダリティの画像を含む場合に限り、アクティブ化されます。

『スマートレコードセットのヘルプ』ボタン(?)をクリックし、使用方法を確認することができます。

3. 『スマートレコードセット』ウィンドウが開き、選択した Lateral Film 画像と同一日に作成された画像が自動で表示されます。



4. レコードセットの分類、作成日、分類、歯牙年齢など必要な項目を設定します。
5. 自動で抽出された画像のうち除外したい画像がある場合、モダリティボックスにマウスを移動すると表れる『削除』ボタンをクリックし、該当する画像を削除します。



各モダリティには 1 枚の画像のみ指定できます。同じモダリティに当該する画像が複数存在する場合、使用する画像を除いて削除してください。

6. 『OK』ボタンをクリックすると、『スマートレコードセット画像』に表示された全ての画像を含むレコードセットが作成されます。

5.3 ローカル画像のインポート

5.3.1 ドラッグ&ドロップ I

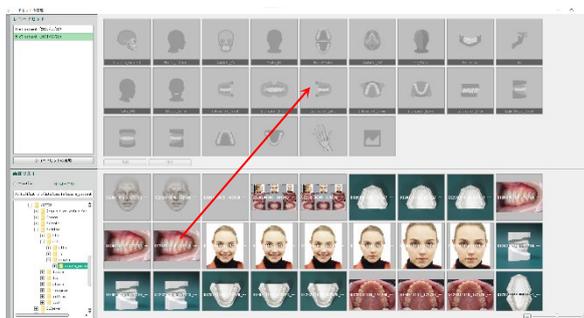
1. ローカル画像をインポートするために、画像リストで『ローカル』ボタンをチェックします。



2. 現在の保存位置が表示されたら、インポート画像を保存するフォルダーを設定します。選択したフォルダーにある画像は、ツリー構造下にサムネイル形式で表示されます。



3. ローカル画像リストから画像を選択し、画像モダリティボックスにドラッグ&ドロップします。



4. 画像モダリティボックスに、選択した画像が表示されます。



次のような場合、画像の編集ウィンドウが表示されます。

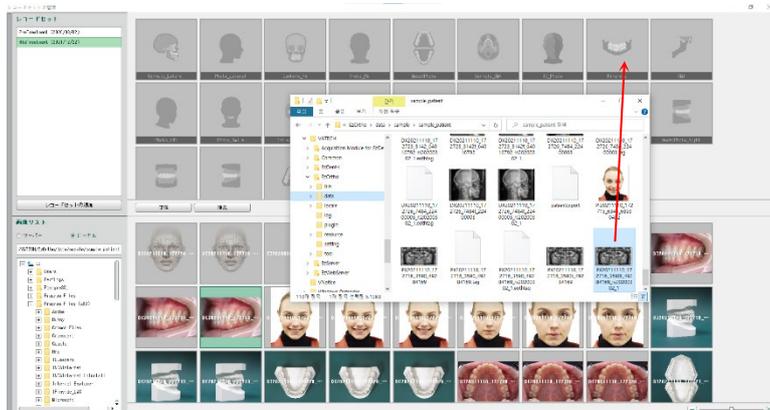


- キャリブレーション情報がない Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
 - Lateral/PA X 線画像をインポートした状態で、Lateral/PA 画像をインポートする場合
 - Lateral/PA 画像をインポートした状態で、Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
- 編集ウィンドウに関する詳しい内容は、『5.4. 画像の編集』をご参照ください。

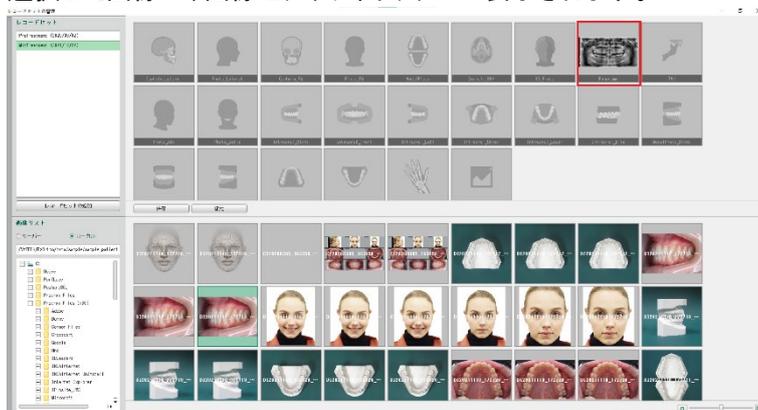
5. 『保存』ボタンをクリックしてサーバーに保存するか、『復元』ボタンをクリックしてレコードセットを元に戻します。

5.3.2 ドラッグ&ドロップ II

1. Windows のファイル検索でインポートする画像のあるフォルダーを検索し、該当する画像を EzOrtho の画像モダリティボックスにドラッグ&ドロップします。



2. 選択した画像が、画像モダリティボックスに表示されます。



画像のインポートでサポートしているファイル形式は、以下のとおりです。

- 2D: DCM, PNG, TIF, TIFF, JPG, JPEG, BMP
- 3D: MTL, OBJ, BMP, PNG, JPG



次のような場合、画像の編集ウィンドウが表示されます。

- キャリブレーション情報がない Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
 - Lateral/PA X 線画像をインポートした状態で、Lateral/PA 画像をインポートする場合
 - Lateral/PA 画像をインポートした状態で、Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
- 編集ウィンドウに関する詳しい内容は、『5.4. 画像の編集』をご参照ください。

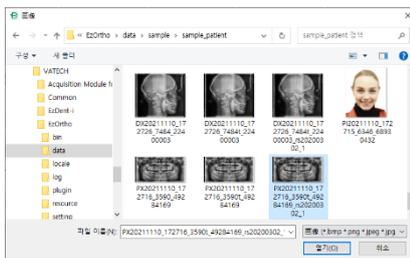
3. 『保存』ボタンをクリックしてサーバーに保存するか、『復元』ボタンをクリックして記録セットを元に戻します。

5.3.3 ファイルの選択

1. コンピュータの画像をインポートするため、『ローカル』ボタンをチェックします。
2. 画像モダリティボックスにマウスを移動すると表れる『ファイルの選択』ボタンをクリックします。

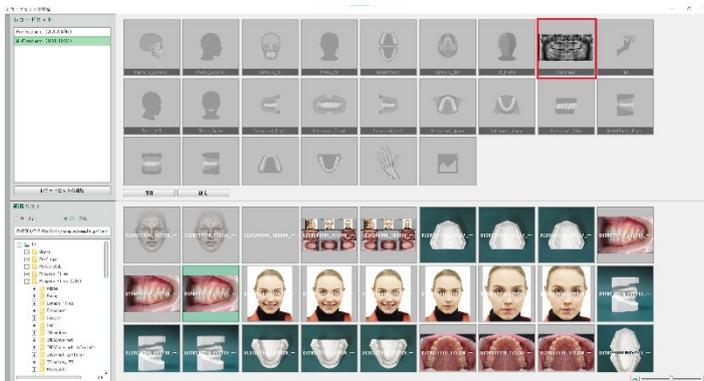


3. ファイル検索ウィンドウからインポートするファイルを選択し、『Open』ボタンをクリックします。



3D 画像の画像モダリティボックスの場合、MTL と OBJ 形式のファイルのみサポートしています。

4. 選択した画像が、画像モダリティボックスにインポートされます。



次のような場合、画像の編集ウィンドウが表示されます。

- キャリブレーション情報がない Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
 - Lateral/PA X 線画像をインポートした状態で、Lateral/PA 画像をインポートする場合
 - Lateral/PA 画像をインポートした状態で、Lateral/PA X 線画像をインポートする場合
- 編集ウィンドウに関する詳しい内容は、『5.4. 画像の編集』をご参照ください。

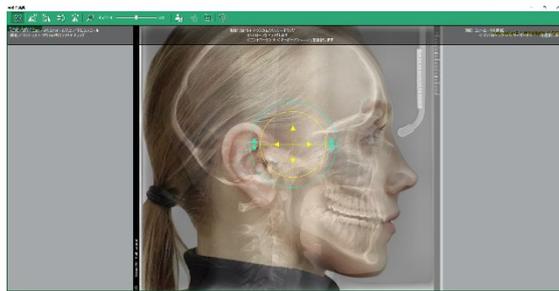
5. 『保存』ボタンをクリックしてサーバーに保存するか、『復元』ボタンをクリックしてレコードセットを元に戻します。

5.4 画像の編集

1. 画像モダリティで右クリックし『画像を編集』メニューを選択します。



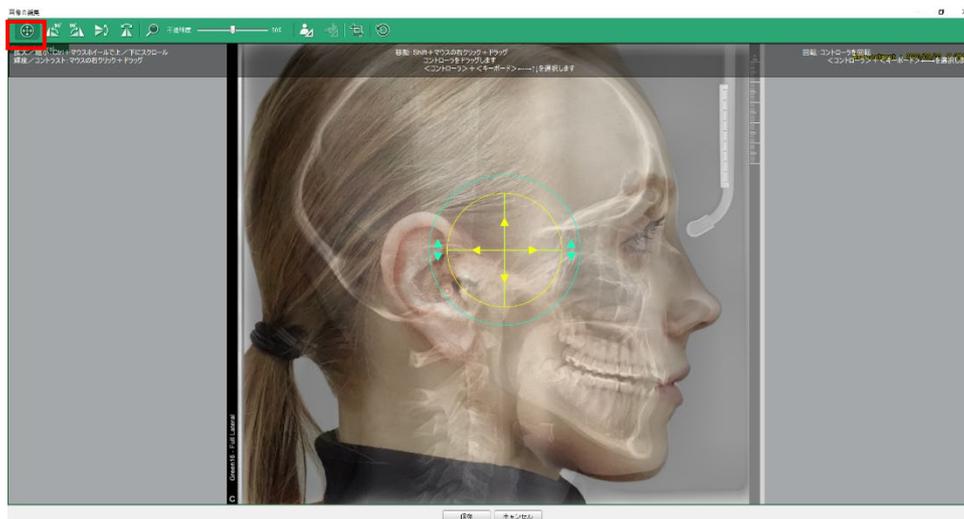
次のような『画像の編集』ウィンドウが表示されます。

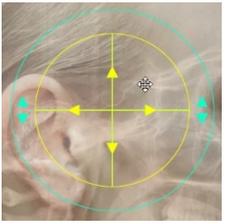
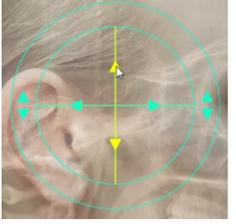
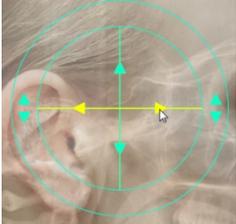
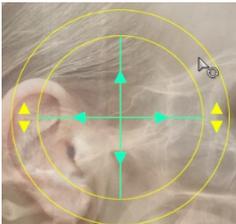


2. ツールを使って画像を編集した後『保存』ボタンをクリックし、変更内容を保存します。
3. 編集した画像はレコードセットを保存しないとサーバーに適用されません。

5.4.1 移動/回転

画像コントローラーを使って画像を移動/回転させることができます。



移動		マウスポインターを内側の円に移動させると、ポインターが『移動矢印』へと変わり、コントローラーが図のように選択されます。その状態でコントローラーをクリックすると選択状態を維持させることができます。この状態から画像を四方向に自由に移動させることができます。
垂直移動		マウスポインターをコントローラーの『垂直矢印』に移動させると図のように選択され、マウスポインターが設定されます。その状態でコントローラーをクリックすると選択状態を維持させることができます。この状態から画像を上下にのみ移動させることができます。
水平移動		マウスポインターをコントローラーの『水平矢印』に移動させると図のように選択され、マウスポインターが設定されます。その状態でコントローラーをクリックすると選択状態を維持させることができます。この状態では画像を左右にのみ移動させることができます。
回転		マウスポインターを外側の円に移動させると、ポインターが『回転矢印』へと変わり、コントローラーが図のように選択されます。その状態でコントローラーをクリックすると選択状態を維持させることができます。この状態では画像を自由に回転させることができます。

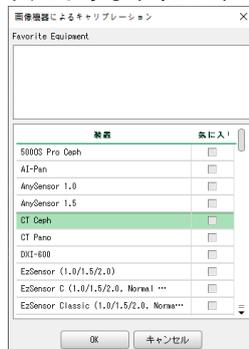
5.4.2 モダリティキャリブレーション

モダリティごとにキャリブレーション情報を自動で設定することができます。

1. ツールバーで『モダリティキャリブレーション』アイコンを選択します。



2. 次のようなウィンドウが表示されたら装置の種類を選択し、『OK』ボタンをクリックします。





装置のリストで、希望する項目のお気に入りチェックボックスを選択し、お気に入りの装置を指定することができます。お気に入りに追加した装置も装置のリストに表示されます。

3. 選択したモダリティのキャリブレーション情報が設定されます。DICOM タグにキャリブレーション情報が存在する場合、新しい設定値に上書きされます。

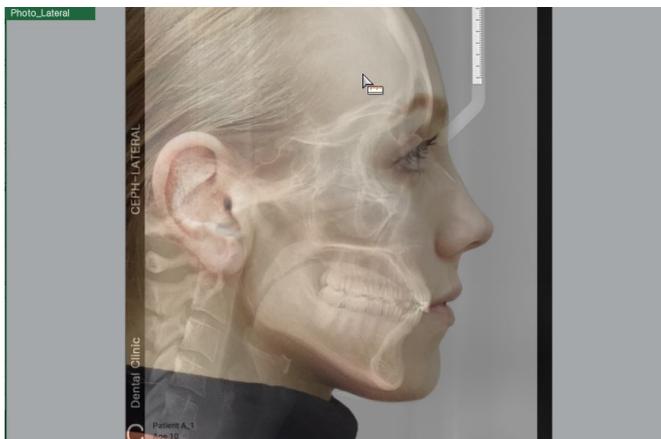
5.4.3 ユーザーキャリブレーション

ユーザーが直接画像の長さを測定し、保存することができます。

1. ツールバーにある『ユーザーキャリブレーション』アイコンをクリックします。



2. 画像上で始点と終点をクリックします。



3. ユーザーキャリブレーションウィンドウが表示され、測定サイズが自動で入力されます。



4. 長さの微調節のため、実際のサイズを入力します。



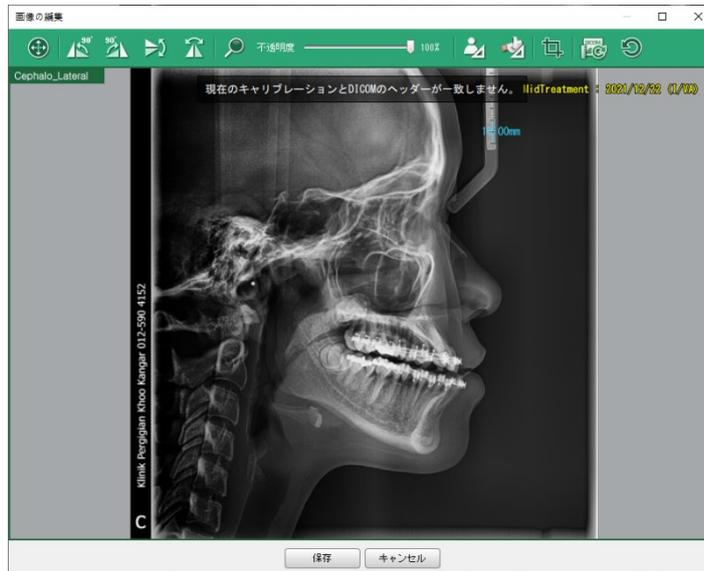
『マシンキャリブレーションへの保存』ボタンをクリックすると、該当の値を保存できます。保存した項目は、マシン別のキャリブレーションダイアログのマシンリストに表示されます。

5. 『OK』ボタンをクリックすると、入力した値が画像上に適用されます。

5.4.4 キャリブレーション値の初期化

DICOMヘッダーに登録されているキャリブレーション値と、ユーザーが入力したキャリブレーション値が異なるDICOM画像の場合、キャリブレーション値をDICOMヘッダーに保存されている値に戻すことができます。

1. 『DICOM ピクセル間隔の値に戻す』ボタンをクリックします。



2. 初期化実行に関するメッセージが表示されたら、『OK』ボタンをクリックして実行します。

5.5 画像の削除

5.5.1 レコードセットから削除

1. 画像モダリティボックスでマウスを右クリックし、『レコードセットから削除』メニューをクリックすると、選択した画像をレコードセットから削除できます。



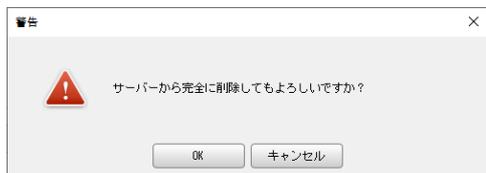
5.5.2 サーバーから画像の削除

1. 画像リストでサーバーボタンをチェックします。



2. 画像リストにあるサムネイル画像で、削除する画像を右クリックし『サーバーから画像を削除』を選択します。

3. サーバーから画像の削除について確認するウィンドウが表示されたら、『OK』ボタンをクリックして画像を削除します。



5.6 画像のエクスポート

1. 画像モダリティボックスでマウスを右クリックし、『画像のエクスポート』をクリックすると、画像をファイルにエクスポートできます。



2. エクスポートウィンドウが表示されます。



3. エクスポートするファイルを選択し、希望する設定に変更した後『OK』ボタンをクリックします。



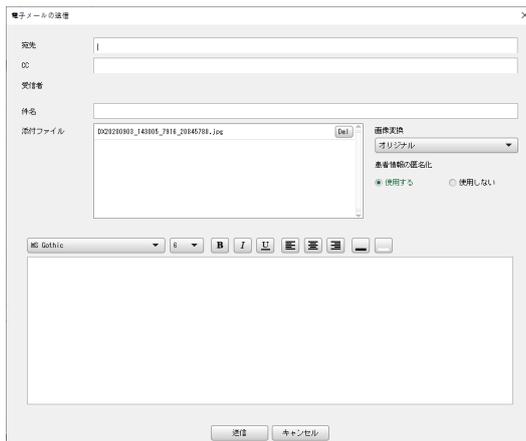
エクスポートウィンドウに関する詳しい内容は、『Chapter 4.ビューア→ 5.2 画像のエクスポート』をご参照ください。

5.7 電子メール送信

1. 画像モダリティでマウスを右クリックすると表示されるメニューで、『電子メール送信』をクリックすると、選択した画像をメールに添付して送信できます。



2. 電子メール送信ウィンドウに、選択した画像ファイルが自動で添付されます。



3. 受信者及び内容を入力し『OK』ボタンをクリックし、電子メールを送信します。



電子メール送信に関する詳しい内容は、『Chapter 4.ビューア→5.3 電子メール送信』をご参照ください。

6. 患者カルテの管理

6.1 既存の患者カルテを開く

1. リストで既に作成された患者カルテをダブルクリックし、患者カルテウィンドウを開きます。



2. 各タブからカルテの内容と病歴を確認することができます。



3. 患者カルテウィンドウの左側のビュー画面から、閲覧したいページのサムネイル画像を選択します。



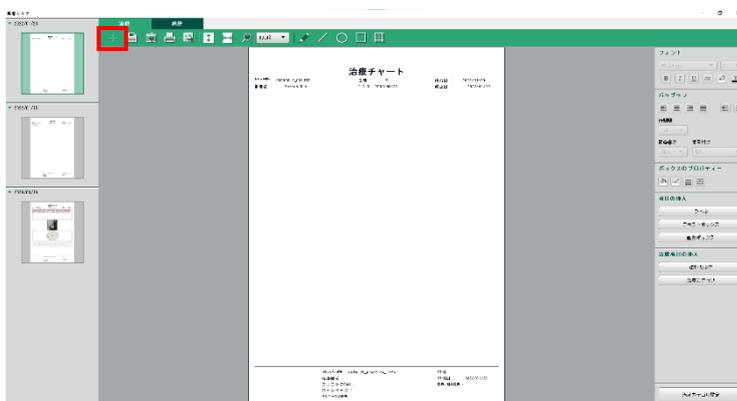
4. 選択したページが中央のカルテビュー画面に表示されます。

6.2 新規患者のカルテを作成

- 『患者カルテ管理』ボタンをクリックし、患者カルテウィンドウを開きます。



- 『新しいカルテ』ボタンをクリックし、画面中央に表示される新しいカルテの内容を作成します。



6.3 患者カルテの作成/修正

6.3.1 患者カルテツール

- 患者カルテでは、治療計画及び治療状況を記録することができます。



2. 患者カルテで使用することができるツールは次のとおりです。

ツール	名称	説明
	新しいカルテ	新しいカルテの追加
	保存	カルテの変更内容を保存
	キャプチャ	選択されたカルテをキャプチャし画像をファイルに保存
	印刷	選択されたカルテの印刷
	PDFで エクスポート	選択されたカルテをPDFで保存
	横幅揃え	カルテを横幅に合わせる
	縦幅揃え	カルテを縦幅に合わせる
	ズーム	スクロールでカルテをズーム
	自由曲線	自由に曲線を描画
	直線	直線を描画
	円形	円形を描画
	方形	方形を描画
	グリッド	カルテにグリッドを表示/非表示

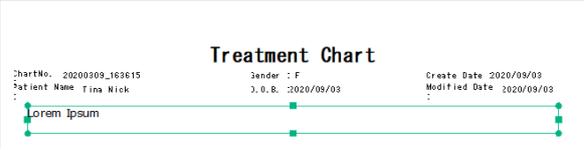
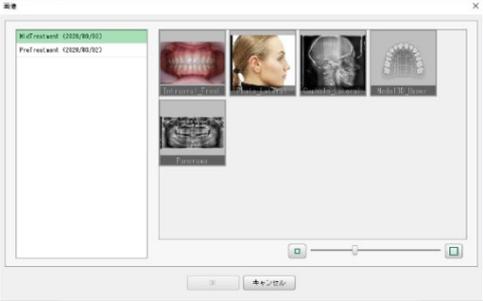
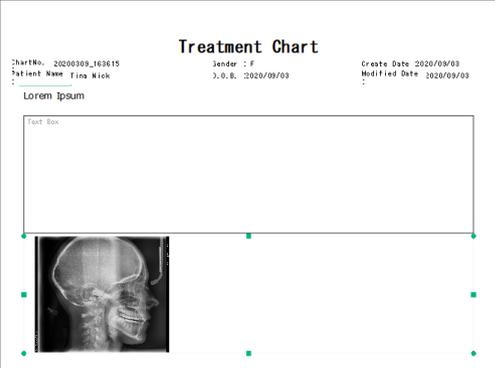
6.3.2 患者カルテアイテムの追加

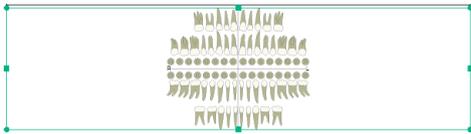
1. 患者カルテのコントロールパネルからアイテムを追加し、カルテを作成することができます。



2. 患者カルテに各項目を入力する方法は、下記の表をご参照ください。

項目	説明
ラベル	<p>1. コントロールパネルにある『ラベル』ボタンをクリックします。</p>  <p>2. 追加ウィンドウの入力欄に内容を入力し『OK』ボタンをクリックします。</p> 

項目	説明
	<p>3. 入力された内容でラベルアイテムが追加されます。</p>  <p>4. 入力されたラベルアイテムを選択し、右クリックで編集/削除することができます。</p> 
テキストボックス	<p>1. コントロールパネルにある『テキストボックス』ボタンをクリックします。</p>  <p>2. カルテにテキストボックスが挿入されます。</p>  <p>3. テキストボックスをダブルクリックすると入力モードに変わり、内容を作成/修正することができます。</p>
画像ボックス	<p>1. コントロールパネルにある『画像ボックス』ボタンをクリックします。</p>  <p>2. カルテに『画像ボックス』が挿入され、画像の選択ウィンドウが表示されます。</p>  <p>3. レコードセットを選択した後、挿入する画像を選択し『OK』ボタンをクリックして画像を挿入します。</p> 

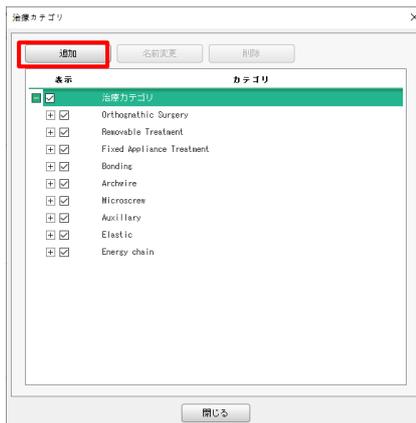
項目	説明
	<p>4. 『画像ボックス』を選択し、右クリックで画像を挿入/削除することができます。</p> <p>画像を挿入 削除</p>
<p>歯科カルテ</p>	<p>1. コントロールパネルにある『歯科カルテ』ボタンをクリックします。</p> <p>歯科カルテ</p> <p>2. 歯科カルテボックスが入力され、歯科カルテウィンドウが表示されます。</p>  <p>3. 表示する歯を選択した後『OK』ボタンをクリックし、歯科カルテを挿入します。</p>  <p>4. 歯科カルテボックスを選択し、右クリックで編集/削除することができます。</p> <p>歯科カルテの編集 削除</p>
<p>治療カテゴリ</p>	<p>1. コントロールパネルにある『治療カテゴリ』ボタンをクリックします。</p> <p>治療カテゴリ</p> <p>2. カルテに治療カテゴリボックスが入力され、治療カテゴリウィンドウが表示されます。</p> <p>3. 治療カテゴリウィンドウでカテゴリを選択した後『OK』ボタンをクリックし、選択したカテゴリを挿入します。</p>  <p>4. 治療カテゴリボックス選択し、右クリックでカテゴリを編集/削除することができます。</p> <p>カテゴリの編集 削除</p>

6.3.3 治療カテゴリの管理

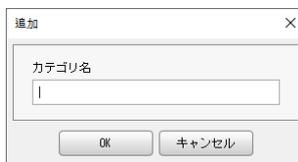
患者カルテのコントロールパネル右下に『治療カテゴリの設定』（）ボタンをクリックし、治療カテゴリウィンドウで治療カテゴリの追加/名前の変更/削除を行うことができます。

『治療カテゴリの追加』

1. カテゴリを追加する上位カテゴリを選択し、『追加』ボタンをクリックします。

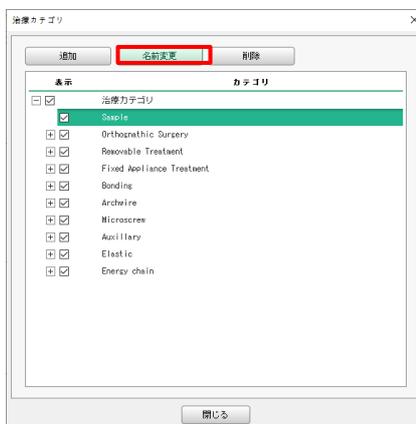


2. 入力画面でカテゴリ名を入力した後『OK』ボタンをクリックし、下位カテゴリを追加します。



『治療カテゴリ名の変更』

1. 名前を変更するカテゴリを選択し、『名前変更』ボタンをクリックします。但し、ユーザーが追加したカテゴリを選択した場合のみ『名前変更』ボタンがアクティブ化されます。

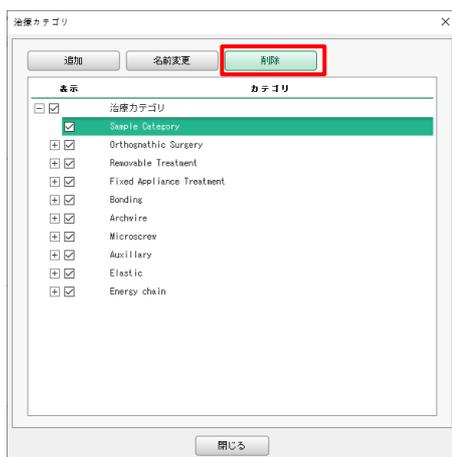


2. 入力画面でカテゴリ名を変更した後『OK』ボタンをクリックし、変更した名前を適用します。

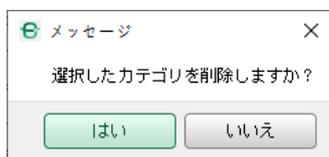


『治療カテゴリの削除』

1. 削除するカテゴリを選択し、『削除』ボタンをクリックします。但し、ユーザーが追加したカテゴリを選択した場合のみ『削除』ボタンがアクティブ化されます。

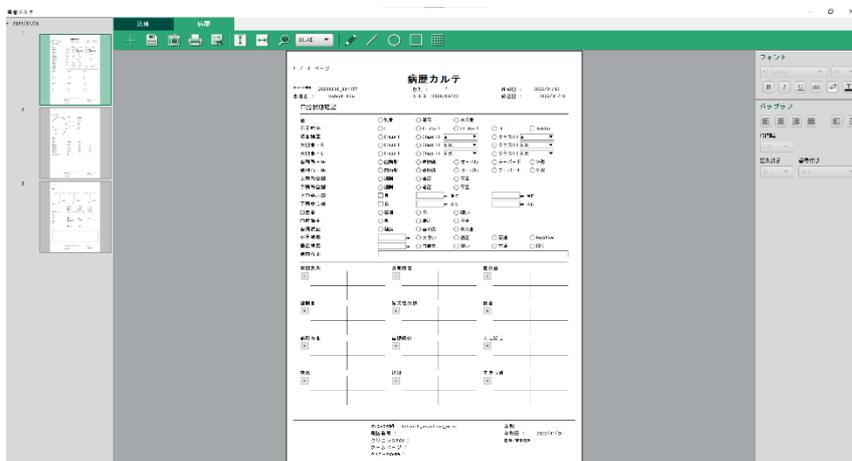


2. 『はい』ボタンをクリックし 選択したカテゴリをリストから削除します。



6.3.4 病歴カルテツール

病歴カルテは、患者の病歴や現状状態を管理するために入力するカルテであり、Dental Survey、Facial Survey、Soft-tissue、TMF、Cleft、and Habit informationなどの情報が含まれています。

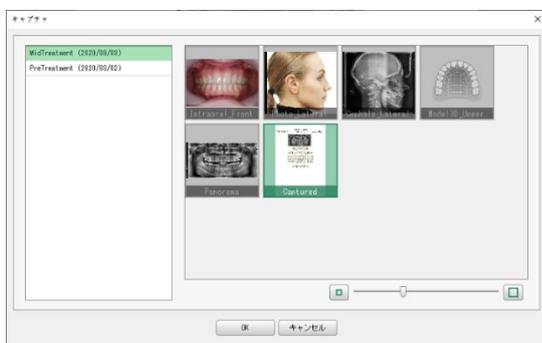


病歴カルテで使用できるツールは下図のとおりです。

ツール	名称	機能の説明
	新しいカルテ	(病歴カルテでは非アクティブ化)
	保存	カルテの変更内容を保存
	キャプチャ	選択されたカルテをキャプチャし画像をファイルに保存
	印刷	選択されたカルテの印刷
	PDFで エクスポート	選択されたカルテをPDFで保存
	横幅揃え	カルテを横幅に合わせる
	縦幅揃え	カルテを縦幅に合わせる
	ズーム	スクロールでカルテをズーム
	自由曲線	自由に曲線を描画
	直線	直線を描画
	円形	円形を描画
	方形	方形を描画
	グリッド	カルテにグリッドを表示/非表示

6.4 患者カルテをレコードセットに保存

1. ツールバーにある『キャプチャ』() アイコンをクリックします。
2. 『キャプチャ』ウィンドウが表示されます。



3. キャプチャした画像を保存するレコードセットを選択し『OK』ボタンをクリックし、キャプチャ画像を保存します。

6.5 患者カルテの印刷

1. ツールバーにある『印刷』() アイコンをクリックします。
2. 患者情報の匿名化の有無を設定します。



3. 印刷オプションを設定し『印刷』ボタンをクリックします。

6.6 患者カルテのエクスポート

1. ツールバーで PDF にエクスポート() ボタンをクリックして選択したカルテを PDF ファイルにエクスポートできます。
2. 保存位置を指定し『保存』ボタンをクリックします。

7. ツールの説明

7.1 主要ツール

アイコン	名称	機能の説明
	患者の追加	新しい患者を追加して登録
	患者情報の編集	登録済みの患者の情報や画像の変更
	患者情報の非表示	ウィンドウに表示された患者の情報を非表示
	患者の削除	登録済みの患者の削除
	患者のエクスポート	選択した患者のエクスポート
	患者のインポート	患者のインポート
	患者情報のエクスポート	選択した患者情報のエクスポート

7.2 拡張ツール

アイコン	名称	機能の説明
	レコードセットの追加	新しいレコードセットの追加

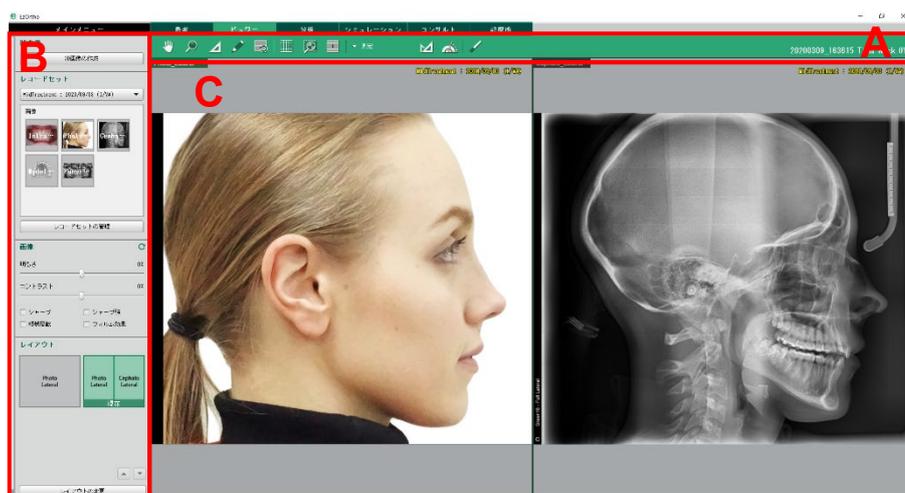
Chapter 4. ビュアー

1. ビュアータブのウィンドウ構成.....	91
2. レイアウトグループ.....	96
3. 画像調節.....	100
4. 3D 画像の作成.....	103
5. 画像管理.....	105
6. ツールの説明.....	110

1. ビューアータブのウィンドウ構成

ビューアー(Viewer) タブでは、レコードセットから希望する画像を選択しウィンドウに表示させることができます。ユーザーは3D画像の作成機能/画像の調節または管理機能などを使って、効率的に画像を確認することができます。

1.1 ワークスペース



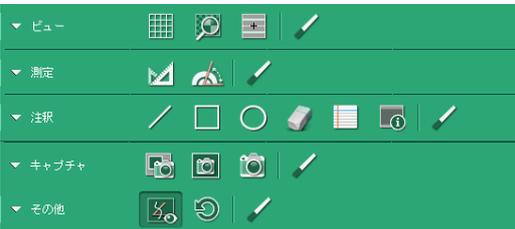
- A セクション:ビューアータブで使用可能な、移動/ズーム/測定などのツールを提供するツールバーです。
- B セクション:レコードセットの選択、レイアウト選択、画面効果適用、3D 画像の作成機能などを設定することができるコントロールパネルです。
- C セクション:選択したレイアウトにしたがって変更された患者の画像を出力するエリアです。

1.2 ツールバー



ツールバーは、主要ツール、お気に入りツール、拡張ツールで構成されています。

番号	項目	機能の説明
1	主要ツール	基本サポートされているツールアイコングループです。
2	お気に入りツール	お気に入りとして使用するグループを設定から指定することができます。ビューグループが基本設定されています。

番号	項目	機能の説明
3	拡張ツール	<p>5つのアイコングループを（ビュー/ 測定/ 注釈/ キャプチャ/ その他）ドロップダウンリスト形式で提供しています。但し、お気に入り指定したグループは、ドロップダウンリストから除外されます</p> 

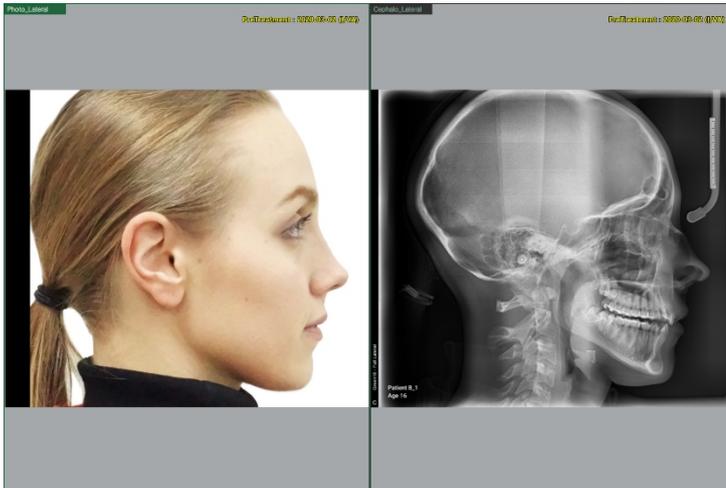
1.3 コントロールパネル



コントロールパネルの構成は、次のとおりです。

番号	項目	説明
1	3D 画像の作成	3D 画像を作成するためのボタンを提供します。
2	レコードセットグループ	レコードセットを選択し、ビューフレームに表示された画像を変更することができます。
3	画像グループ	画像調節ツールを提供します。
4	レイアウトグループ	ビューエリアに表示されたレイアウトや編集を行うことができます。

1.4 ビューフレーム



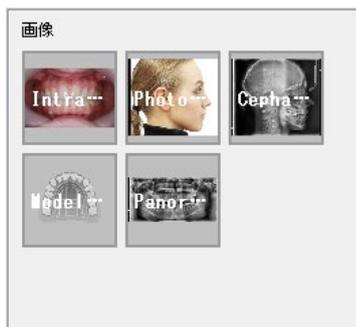
選択したレイアウトにしたがって、分割された各画面に該当する画像が表示されます。

1.5 ビューフレーム画像の変更

1. プルダウンリストで記録セットを選択します。



2. 選択した記録セットの画像がプルダウンリストの下に表示されます。



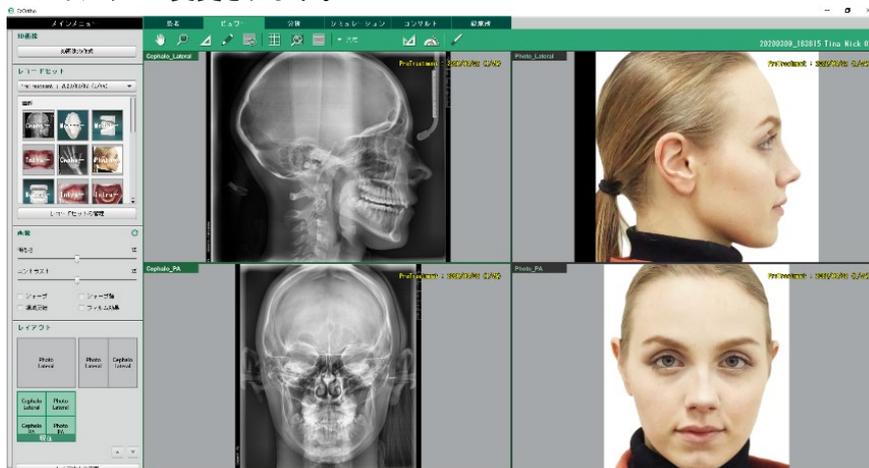
3. 該当する記録セット画像が、選択したレイアウトにしたがってビューフレームに表示されます。





モダリティが指定されていないレイアウトを選択しレコードセットを変更する場合、ビューフレームに表示された画像は維持されます。

4. 希望するサムネイル画像をビューフレームにドラッグ&ドロップし、レイアウトに表示された画像を変更します。但し、モダリティが指定されたビューの場合、同一の形のモダリティが指定されていないレイアウトに変更されます。



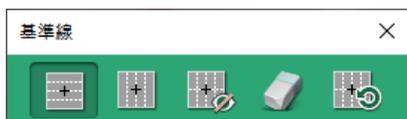
5. サムネイル画像をダブルクリックすると 1X1 レイアウトに変わり、該当する画像が表示されます。



1.6 ビューフレームに基準線を追加する

画像の位置の調節、または対称であるかどうかを確認するため、基準線を入力することができます。

1. ツールバーの『基準線』アイコン()をクリックすると、基準線のツールバーダイアログが表示されます。



2. 『縦線の追加』または『横線の追加』のうち、希望する機能を選択すると、ビューフレームに点線が表示されます。
3. マウスを使って希望する方向に基準線を移動し、クリックで基準線を挿入します。



- 基準線は、縦/横それぞれ最大 10 まで追加することができます。
- ツールバーの『線の表示』ボタンをクリックし、基準線を非表示にすることができます。基準線の入力履歴がない場合、ボタンは非アクティブ化されます。
- 『削除』または『全体削除』ボタンをクリックし、基準線を削除することができます。

4. 基準線の入力が完了したら、ツールバーの『X』ボタンをクリックし、作業を終了します。

2. レイアウトグループ

2.1 レイアウトの選択

- レイアウトグループに表示される、お気に入りレイアウトのうちの一つを設定します。



- 選択したレイアウトがビューフレームに表示され、該当するモダリティ画像が表示されます。



3D 画像を含むレイアウトを実行するためには、先に 3D 画像を作成する必要があります。詳しい内容は、『Chapter 4.ビューアー→4. 3D 画像の作成』をご参照ください。

2.2 レイアウトの変更

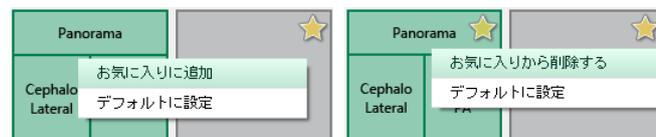
- 『レイアウトの変更』ボタンをクリックし、変更が可能な全てのレイアウトを確認することができます。



- レイアウトのリストから、希望するレイアウトのサムネイル画像を選択した後、『OK』ボタンをクリックしビューフレームに適用します。

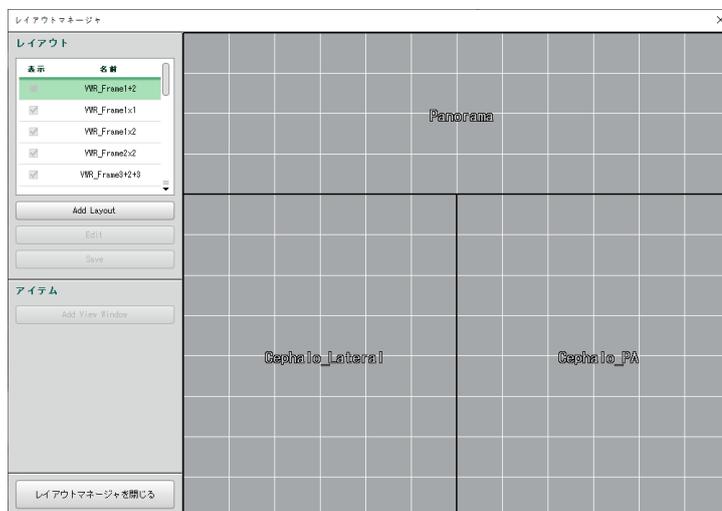


レイアウトのサムネイル画像で右クリックし、お気に入りレイアウトを設定することができます。お気に入りに指定することができるレイアウトの数は最大9つです。



2.3 レイアウトの管理

レイアウトの変更ウィンドウで『レイアウトマネージャ』をクリックし、レイアウトを管理することができます。



2.3.1 レイアウトの追加

1. 『Add Layout』ボタンをクリックし、新しいレイアウトを作成します。

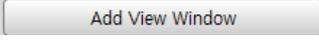


2. 追加ウィンドウで、追加するレイアウト名を 50 字以下で入力した後、『OK』ボタンをクリックします。



3. 新しいレイアウトがリストに表示されます。



4. 『Add View Window』ボタン()をクリックすると表示されるウィンドウで、使用する画像のモダリティを選択し、希望する場所に配置します。



5. 希望するモダリティを配置し、全体のエリアを埋めた後『Save』ボタンをクリックし、レイアウトを追加します。

2.3.2 レイアウトの編集

- レイアウトリストから、ユーザーが追加したレイアウトを選択します。



- 『編集』ボタンをクリックするとビューフレームがアクティブ化状態から編集モードに切り替わります。

ビューウィンドウの選択 :マウスを左クリック	
ビューウィンドウの移動 :ドラッグ&ドロップ	
ビューウィンドウのサイズ調節 :コントロールポイントをドラッグ&ドロップ	
ビューウィンドウの追加 :『Add View Window』ボタンをクリック	
ビューウィンドウ名の変更 :ビューウィンドウをダブルクリックすると表示されるメニューから、項目を左クリックで選択	
ビューウィンドウの削除 :ビューウィンドウをダブルクリックすると表示されるメニューから、項目を左クリックで選択	

- 希望する編集項目を変更した後『保存』ボタンをクリックし、完了します。



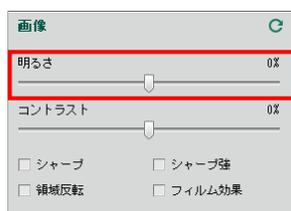
NOTE

レイアウト変更の編集機能は、ユーザーが直接追加したレイアウトにのみ適用されます。プログラムで基本提供されるレイアウトの場合、『編集』ボタンは非アクティブ化されます。

3. 画像調節

3.1 画像の明るさ調節

『明るさ』で、画像の明るさを調節します。



- 『明るさ -100』の場合と『明るさ 100』の場合の画像比較例



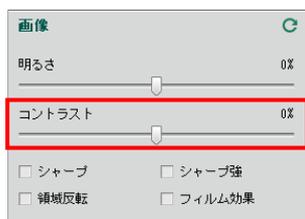
明るさ -100



明るさ 100

3.2 画像のコントラスト調節

『コントラスト』で、画像のコントラストを調節します。



- 『コントラスト -100』の場合と『コントラスト 100』の場合の画像比較例



コントラスト -100



コントラスト 100

3.3 画像のシャープ調節

『シャープ』効果を適用した場合、アウトラインが鮮明に表示されます。

シャープ

- 『原本』画像と『シャープ』効果が適用された場合の画像比較例



原本



シャープ効果適用

3.4 画像のシャープ強化

『シャープ強』効果を適用した場合、アウトラインが更に鮮明に表示されます。

シャープ強

- 『原本』画像と『シャープ強』効果が適用された場合の画像比較例



原本



シャープ強効果適用

3.5 画像の領域反転効果適用

『領域反転』効果を適用した場合、黒のピクセルは白に、白のピクセルは黒に反転します。

領域反転

- 『原本』画像と『領域反転』効果が適用された場合の画像比較例



原本



領域反転効果適用

3.6 画像フィルム効果適用

『フィルム効果』を適用した場合、画像がフィルムスタイルに切り替わります。

フィルム効果

- 『原本』画像と『フィルム効果』が適用された場合の画像比較例



原本



フィルム効果適用

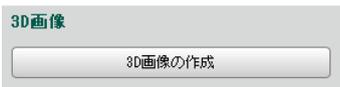
4. 3D画像の作成



3D 画像の作成には、PA 画像と Lateral 画像が必要です。

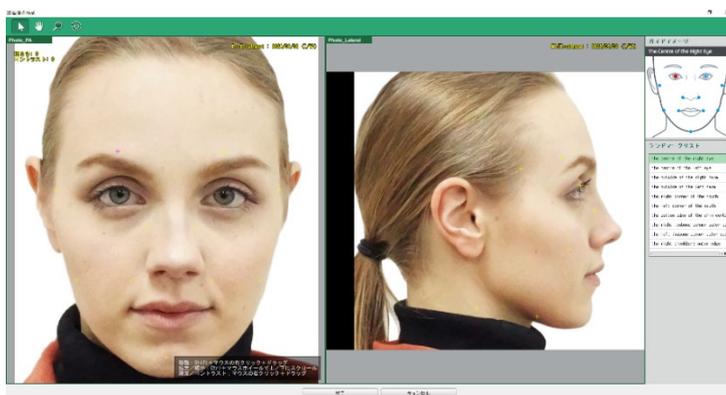
4.1 ランドマークの表示

1. PA 画像と Lateral 画像があるレコードセットを選択し、『3D 画像の作成』ボタンをクリックします。

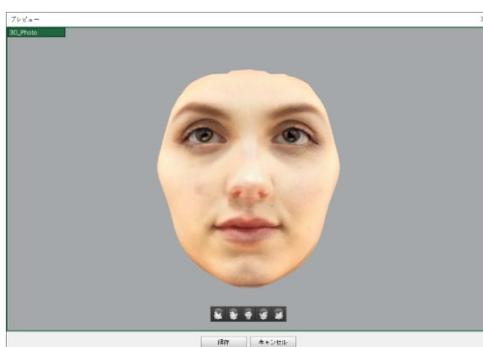


既に作成した 3D 画像が存在する場合、案内メッセージが表示されます。『新規作成』ボタンをクリックし新しく作成するか、『編集』ボタンをクリックし、現在の画像を編集することができます。

2. 3D 画像の作成が表示され、PA または Lateral 画像が、各ビューフレームに表示されます。各ビューフレームにランドマークが表示され、右側のランドマークリストがアクティブ化されます。

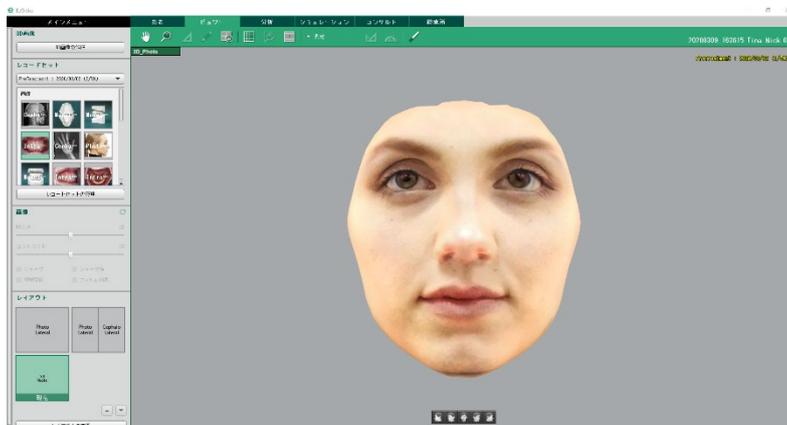


3. 編集に必要なランドマークを、上部にあるツールバーの機能を使って希望する位置に移動します。その後、『OK』ボタンをクリックして 3D 画像の作成を実行します。
4. プレビュー画面が表示されたら、3D 画像を確認して『保存』ボタンをクリックし、3D 画像の作成を完了します。『キャンセル』ボタンをクリックすると、プレビュー画面が閉じられ、3D 画像の作成画面に戻ります。



4.2 3D 画像の確認

1. 『3D Photo 1x1』レイアウトを選択すると、作成された既存の 3D 画像画像が自動でビューエリアに表示されます。



NOTE

3D 画像のレイアウトがアクティブ化された場合、次の機能は非アクティブ化されます。

- ツールバー: 長さ、自由描画、『測定』グループ、『注釈』グループ、『その他』グループ
- コントロールパネル: 『画像』グループ

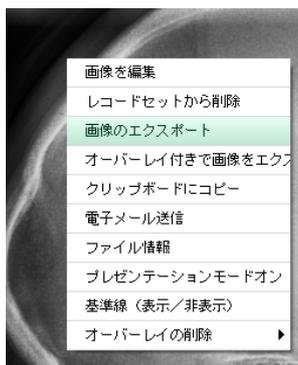
5. 画像管理

5.1 画像の編集

画像の編集に関する詳しい内容は、「Chapter 3. 患者 > 5.4. 画像の編集」をご参照ください。

5.2 画像のエクスポート

1. エクスポートするビューフレーム画像で、右クリックします。



2. 『画像のエクスポート』メニューをクリックすると、画像をエクスポートできます。



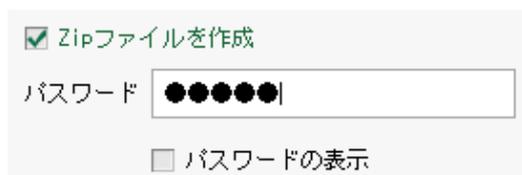
- 画像に含まれているオーバーレイを一緒にエクスポートする場合は、『オーバーレイと一緒に画像のエクスポート』メニューを選択します。

3. ファイル名の変更が必要な場合、ファイル名をダブルクリックするか、もしくはファイル名を右クリックすると表示される『名前の変更』メニューを選択します。
4. 画像情報ファイル『.txt』を追加してエクスポートする場合、『画像情報ファイルを追加』をチェックします。
5. 必要に応じて、ファイル形式を BMP、JPG、PNG、TIF から選択し変更します。

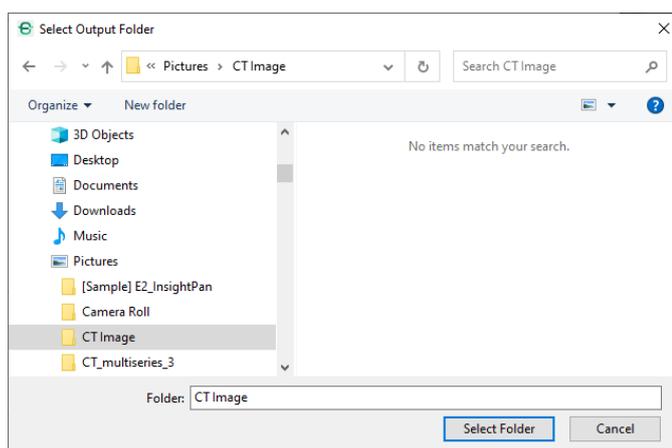


- 2D 画像と 3D 画像が同時に選択された場合、該当するプルダウンリストは『原本』が選択された状態で非アクティブ化されます。
- 3D 画像のみ選択された場合、該当するプルダウンリストは『原本』が選択された状態で非アクティブ化されます。

6. 『Zip ファイルを作成』のチェックボックスをチェックすると、エクスポートするファイルが Zip ファイル形式で保存されます。必要であれば、圧縮の解除時に使用する 12 文字以下のパスワードを入力してください。



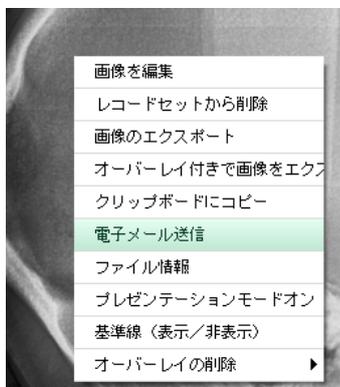
7. 患者情報の匿名化機能を適用させるには、『使用する』オプションを設定します。
8. 『OK』ボタンをクリックし エクスポートします。
9. エクスポートウィンドウで、エクスポートするファイルの保存位置を指定し、『Select Folder』ボタンをクリックします。



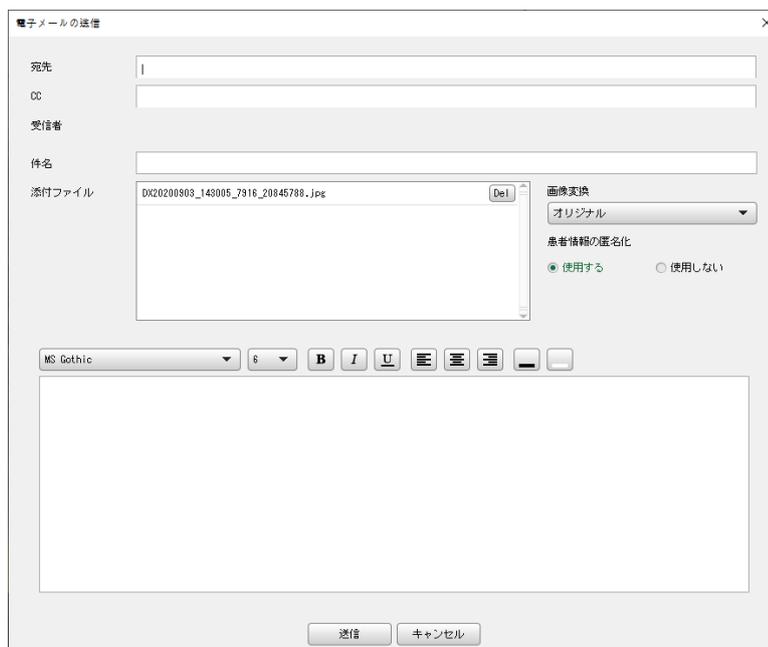
10. 選択した保存位置からエクスポートしたファイルを確認することができます。

5.3 電子メール送信

1. 電子メールで添付送信するビューフレーム画像で右クリックし、『電子メール送信』メニューを選択します。



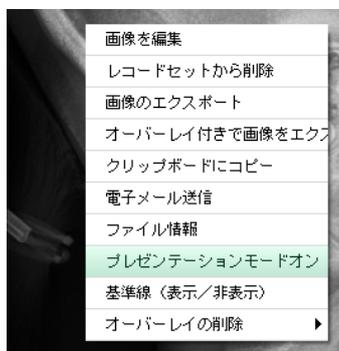
2. 電子メール送信ウィンドウに、選択した画像ファイルが添付表示されたら、受信者及び内容を入力します。



3. 『画像変換』ドロップダウンリストから送信する画像ファイルの形式を設定します。
4. 患者情報の匿名化項目を『使用する』に設定した場合、添付ファイルには患者情報がない状態で送信されます。
5. 『OK』ボタンをクリックし、電子メールを送信します。

5.4 プレゼンテーションモード

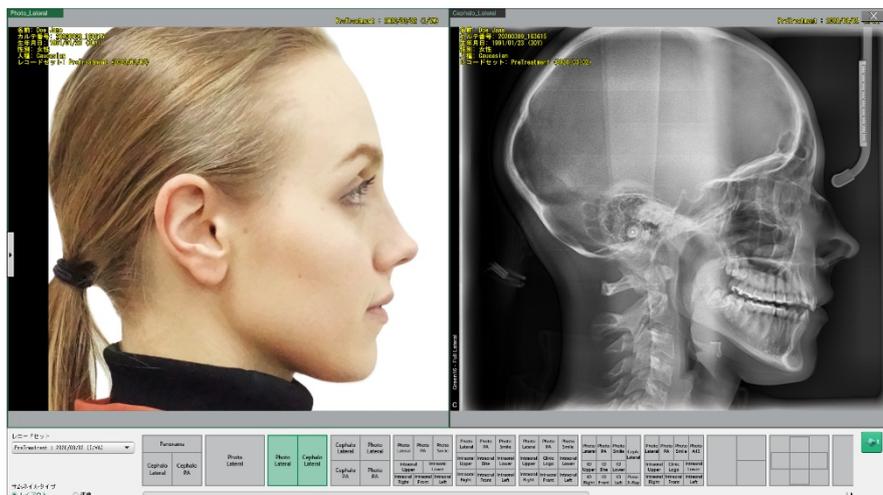
1. プレゼンテーションモード確認から、確認するビューフレーム画像を右クリックします。



2. 右クリックしたメニューで『プレゼンテーションモード(オン/オフ)』を選択すると、プレゼンテーションモードになります。
3. 左の矢印ボタンをクリックして開くと、プレゼンテーションモードで使用できるツールバーを確認できます。一番上の固定ボタンをクリックすると、ツールバーを開いた状態で固定できます。



4. 下の矢印ボタンをクリックして開くと、レイアウト及び画像を変更するためのメニューバーを確認できます。右の固定ボタンをクリックすると、メニューバーを開いた状態で固定できます。



- レイアウト:サムネイルタイプで『レイアウト』を選択し、サムネイルリストから好きなレイアウトを選択します。
 - 画像:ドロップダウンリストから好きなレコードセットを選択し、サムネイルタイプで『画像』を選択します。サムネイルリストから好きな画像をビューエリアにドラッグすると、画像の確認ができます。
5. プレゼンテーションモードを終了するには、右上にある『X』ボタンをクリックするか、画像ビューエリアをダブルクリックします。

5.5 画像情報の追加

1. ウィンドウの上にある注釈ツールバーから『画像情報』ボタンを選択します。



2. 画像の左上に画像情報が入力され、入力された情報はドラッグ&ドロップでユーザーが位置を調整することができます。



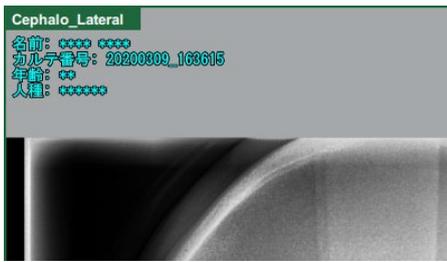
3. 画像情報のオーバーレイを右クリックすると表示されるメニューで、画像情報を非表示にすることができます。

- 画面に表示される情報を匿名化させる

『設定→その他』で、プライバシーポリシー設定機能をアクティブ化させると、患者情報のText数に合わせて『*』で表示されます。



NOTE



6. ツールの説明

6.1 主要ツール

アイコン	名称	機能の説明
	移動	画像を自由に移動
	ズーム	画像の拡大/縮小
	長さ	二点間の距離の測定
	自由描画	自由に描画
	ビュー初期化	画像に適用された移動とズーム機能を初期化
	ポインター	<p>ポインターのツールダイアログを表示</p>  <ul style="list-style-type: none"> ポインターのツールダイアログが表示された際には、コントロールパネルとツールバーの全ての機能が非アクティブ化されます。

6.2 拡張ツール

分類	アイコン	名称	機能の説明
ビュー		グリッド表示/非表示	選択されたビューフレーム内でグリッドを表示/非表示
		拡大鏡	ビューフレーム内で選択したエリアを拡大
		基準線	<p>基準線のツールダイアログを表示</p> 
測定		連続長さ測定	2つ以上の地点を繋ぐ線の長さを測定
		角度	3つの点で形成された角度を測定
注釈		線	希望する場所にマウスをドラッグし線を描画
		方形	希望する場所にマウスをドラッグし方形を描画

分類	アイコン	名称	機能の説明
		円形	希望する場所にマウスをドラッグし円形を描画
		消しゴム	マウスをドラッグし描いた注釈を削除
		メモ	希望する場所にメモを挿入
		画像情報	画像情報のオーバーレイを表示
キャプチャ		エリアキャプチャ	選択エリアキャプチャ  <ul style="list-style-type: none"> オーバーレイ ON/OFF の選択が可能
		ウィンドウキャプチャ	特定のビューフレームウィンドウキャプチャ <ul style="list-style-type: none"> オーバーレイ ON のみサポート
		ビューフレームキャプチャ	ビューフレームエリアキャプチャ. <ul style="list-style-type: none"> オーバーレイ ON のみサポート
その他		オーバーレイ表示/非表示	ビューフレームにオーバーレイを表示/非表示
		全体初期化	選択した画像の状態を初期化

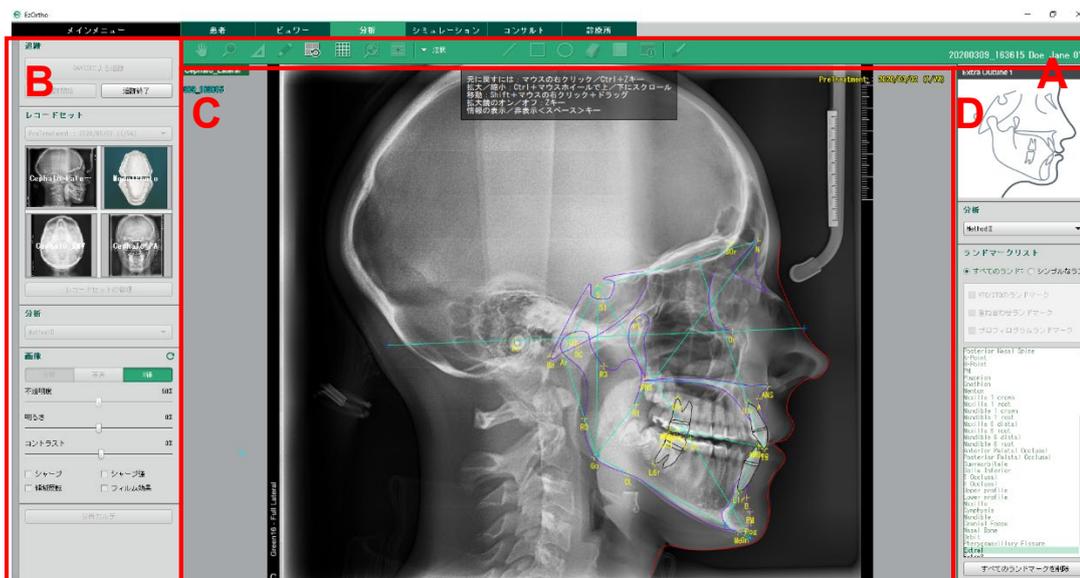
Chapter 5. 分析

1. 分析タブウィンドウの構成	115
2. レコードセットグループ	118
3. 追跡グループ	119
4. 画像調節	129
5. 分析カルテ	131
6. ツールの説明	135

1. 分析タブウィンドウの構成

分析(Analysis)タブでは、追跡機能を使ってインポートした画像を分析し、その結果を照会することができます。

1.1 ワークスペース



- A セクション:ビューアタブで使用可能な、移動/ズーム/測定などのツールを提供するツールバーです。
- B セクション:レコードセット選択、画像選択、画像効果適用、追跡機能を設定することができるコントロールパネルです。
- C セクション:患者の画像を抽出し、画像分析を実行するエリアです。
- D セクション:追跡時、ガイド画像とランドマークリストが表示される、臨時コントロールパネルです。

1.2 ツールバー



ツールバーは、主要ツール、お気に入りツール、拡張ツールで構成されており、ビューアタブで提供されるツールバーと同一です。

番号	項目	説明
1	主要ツール	基本サポートされているツールアイコングループです。
2	お気に入りツール	お気に入りとして使用するグループを設定から指定することができます。ビューグループが基本設定されています。
3	拡張ツール	5つのアイコングループを(ビュー/測定/注釈/キャプチャ/その他)ドロップダウンリスト形式で提供しています。

詳しい内容は、『Chapter 4.ビューア→1.2ツールバー』をご参照ください。

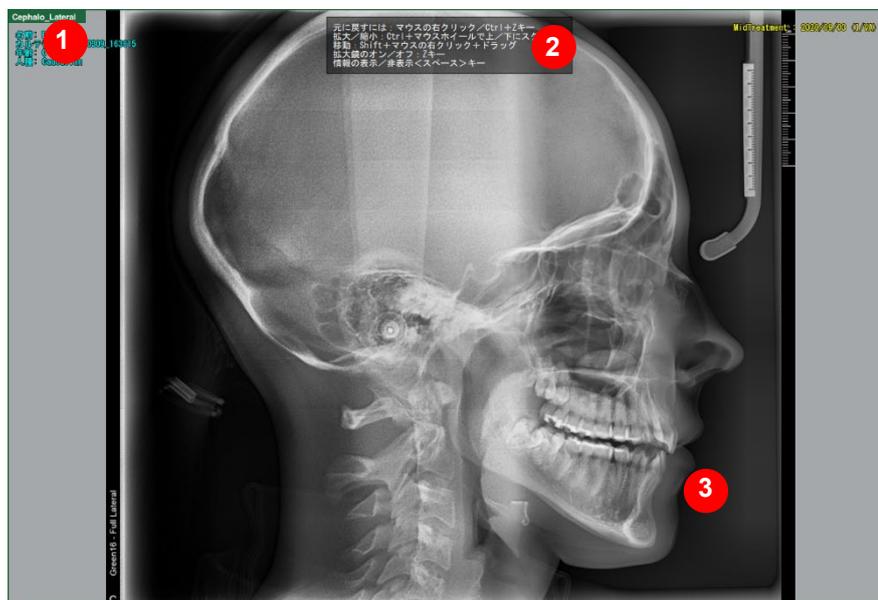
1.3 コントロールパネル



番号	項目	機能の説明
1	追跡グループ	追跡を実行するためのボタンを提供します。
2	レコードセットグループ	ビューフレームに表示されるレコードセットまたは画像をユーザーが選択することができます。
3	分析グループ	適用する分析方法を設定することができます。
4	画像グループ	画像調節ツールを提供します。
5	分析カルテボタン	分析カルテを作成、確認、編集することができます。

1.4 ビューエリア

ビューフレームは、選択したレコードセットの画像を確認するためのエリアです。



番号	項目	説明
1	患者情報	患者名、カルテ番号、歯牙年齢を含む患者情報がビューエリア左上に表示されます。 * 匿名化機能が適用されている場合は、患者情報が『*』で表示されます。
2	ショートカットキー情報オーバーレイ	追跡作業中に使用することができるショートカットキー情報が表示されます。
3	画像	レコードセットで選択した画像が表示されます。



患者情報またはショートカットキー情報オーバーレイは、『スペース』キーを使って『表示/非表示』の設定が可能です。

2. レコードセットグループ

2.1 レコードセット画像の選択

1. プルダウンリストで『レコードセット』を設定します。
2. 選択したレコードセットに含まれる画像がプルダウンリストの下に表示されます。



分析が可能な 4 種類のマダリティ (Lateral_Film, PA_Film, SMV_Film, Model) をサポートしています。

3. サムネイル画像をダブルクリックするか、ビューエリアにドラッグ&ドロップします。



『レコードセットの管理』ボタンをクリックし、ユーザーが画像をインポートすることができます。

3. 追跡グループ

3.1 手動追跡 (2D X 線)

3.1.1 ランドマークの入力



『追跡開始』ボタンをクリックすると次の機能が非アクティブ化されます。

- **コントロールパネル:** 『レコードセット』グループ、 『分析』グループ、 『分析の表示/非表示』ボタン、 『分析カルテ』ボタン
- **ツールバー:** 移動、ズーム、長さ、自由描画、ポインター、拡大鏡、 『測定』グループ、 『注釈』グループ、 『キャプチャ』グループ、 『その他』グループ

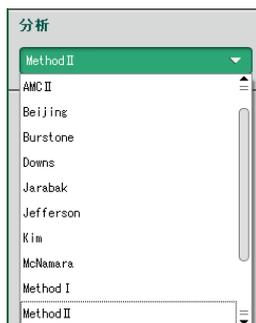
1. 追跡グループで『追跡開始』ボタンをクリックします。



2. 画面右側に臨時コントロールパネルが表示されます。



3. コントロールパネルのドロップダウンリストから分析方法を設定します。



4. 選択した分析方法により、ガイドラインがランドマークのマーキング時に画像の上に表示されます。
5. ランドマークリストでランドマークのタイプを設定します。



シンプルなランドマークを選択する場合、分析方法の設定が必要です。

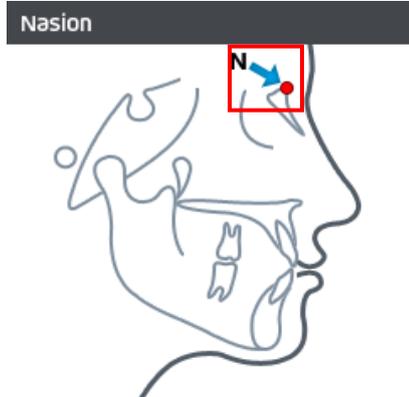
6. シンプルなランドマークを選択した場合、必要な項目をチェックし選択します。



7. 選択した項目により、シンプルなランドマークがリストに表示されます。



ランドマークを選択するとガイド画像にマーキング位置が表示されます。



8. ガイドライン画像にしたがって、X線画像上にランドマークをマーキングします。



9. 8-9の作業を繰り返し、ランドマークを全てマーキングします。

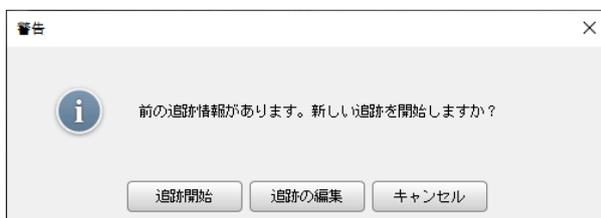


- ランドマークリストで右クリックし、『ランドマークの再表示』を選択し、ランドマークを再びマーキングすることができます。
- 『全てのランドマークを削除』ボタンをクリックすると、全てのランドマークが削除されます。

10. 全てのランドマークを入力した後『追跡終了』ボタンをクリックします。

3.1.2 ランドマークの編集

- 『追跡開始』ボタンをクリックし、追跡モードを開始します。
- 既存の結果が存在する場合には、次のメッセージが表示されます。

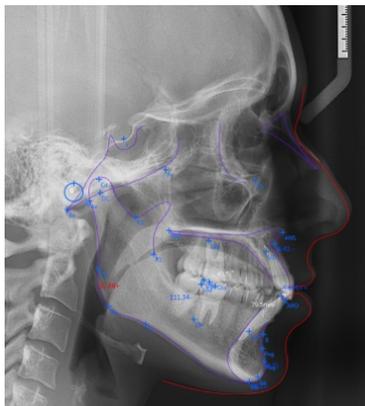


- 『追跡の編集』ボタンをクリックし、既存の追跡結果を修正します。



『追跡開始』ボタンを選択した場合、既存の追跡結果を無視し新しい追跡が実行されます。こちらに関する詳しい内容は、『Chapter 5.分析→3.1.1 ランドマークの入力』をご参照ください。

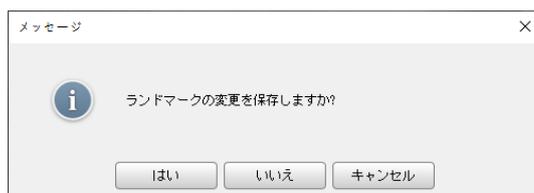
4. ビューエリアでクリックしランドマークを選択するか、ランドマークリストからランドマークを設定します。



5. 該当するランドマークを希望する位置にドラックします。
6. 編集が終了したら『追跡終了』ボタンをクリックします。

追跡終了

7. 次のメッセージが表示されたら『はい』をクリックし、変更内容を適用します。



3.1.3 軟組織の入力

軟組織のランドマークは、『Upper Profile』と『Lower Profile』項目に分かれており、顔の輪郭を描くことができる数多くのランドマークをサポートしています。

1. 『追跡開始』ボタンをクリックします。
2. ランドマークリストで『Upper Profile』または『Lower Profile』を選択します。
3. ランドマークの機能に関する詳しい内容は、次の表をご参照ください。

機能	方法
ランドマークの入力	入力する位置をクリックします。
ランドマークの入力キャンセル	右クリック、または『ランドマーク削除』ボタンをクリックします。ランドマークの入力をキャンセルし、以前のランドマークに戻ります。
ランドマーク周辺画像の拡大	『Z』キーをクリックします。
入力したランドマークの移動	マウスのカーソルを該当するランドマーク周辺にセットすると、マウスのカーソルが移動矢印に変わります。マウスのカーソルが変わった後、ランドマークをクリックしてドラックし、希望する位置に移動します。

- 『追跡終了』ボタンをクリックし、Soft-tissue ランドマークの入力を終了します。
- 変更内容の保存の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

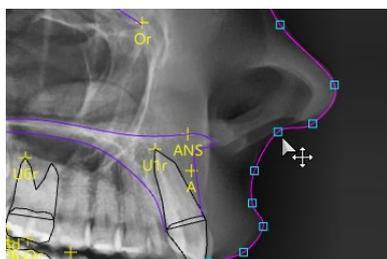


正確な顔の輪郭を描くため、全てのランドマークが順に入力されなければならないため、軟組織 ランドマークではスキップ機能をサポートしていません。

3.1.4 軟組織の修正

既に入力された軟組織 ランドマークを修正することができます。

- 『追跡開始』ボタンをクリックすると表示されるメッセージにある『追跡の編集』ボタンをクリックし、追跡モードを開始します。
- ランドマークリストで修正する軟組織(『Upper Profile』または『Lower Profile』)を選択します。
- マウスのカーソルを該当するランドマーク周辺にセットすると、マウスのカーソルが移動矢印に変わります。



- ランドマークを希望する場所に移動させた後、『追跡終了』ボタンをクリックします。
- 変更内容の保存の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

3.1.5 アウトラインの入力

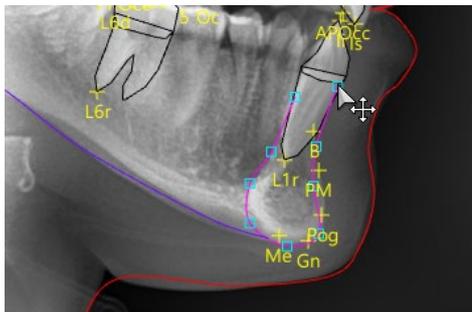
いくつかの地点を入力することで、アウトラインを早く簡単に追跡することができます。

- 『追跡開始』ボタンをクリックし、追跡モードを開始します。
- ランドマークリストで入力するアウトライン項目を設定します。
- ガイド画像にしたがって、アウトラインを入力する位置をクリックします。更に正確なアウトラインを描くために、アウトライン入力中に右クリックすることで、直前に入力した地点を即時に削除することができます。
- アウトラインを入力した後、ダブルクリックします。
- 『追跡終了』ボタンをクリックし、アウトラインの入力を終了します。
- 変更内容の保存の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

3.1.6 アウトラインの修正

- 『追跡開始』ボタンをクリックすると表示されるメッセージにある『追跡の編集』ボタンをクリックし、追跡モードを開始します。
- ランドマークリストから、修正するアウトラインを設定します。

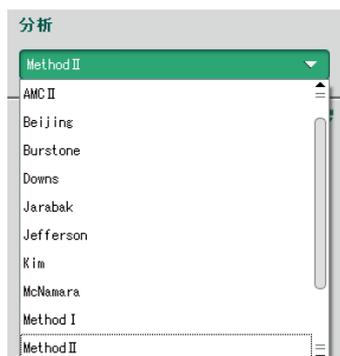
3. マウスのカーソルを該当するアウトライン周辺にセットすると、マウスのカーソルが移動矢印に変わります。アウトラインをドラッグし、希望する地点に移動します。



4. 修正を完了させた後『追跡終了』ボタンをクリックし、修正を終了します。
5. 変更内容の保存の確認ウィンドウが表示されたら『はい』ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

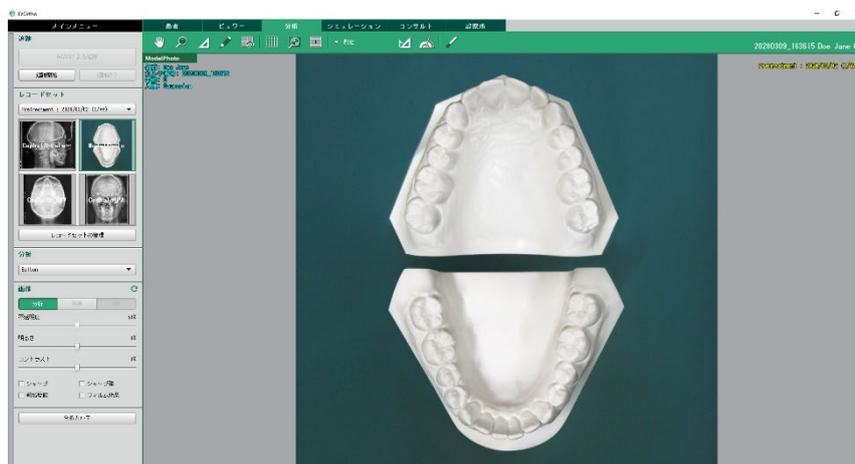
3.1.7 画像の分析

Lateral/PA画像に全てのランドマークが入力されると、選択した分析方法にしたがって追跡された結果を確認することができます。また、分析カルテに結果の値が表示されます。コントロールパネルにある『分析』で、希望する分析方法を選択することができます。



3.2 手動追跡 (モデル画像)

1. レコードセットを設定します。
2. 選択したレコードセットのモデル画像をダブルクリックするか、ビューエリアにドラッグ&ドロップします。
* 分析方法ドロップダウンリストから、『Bolton』分析方法が自動で選択されます。

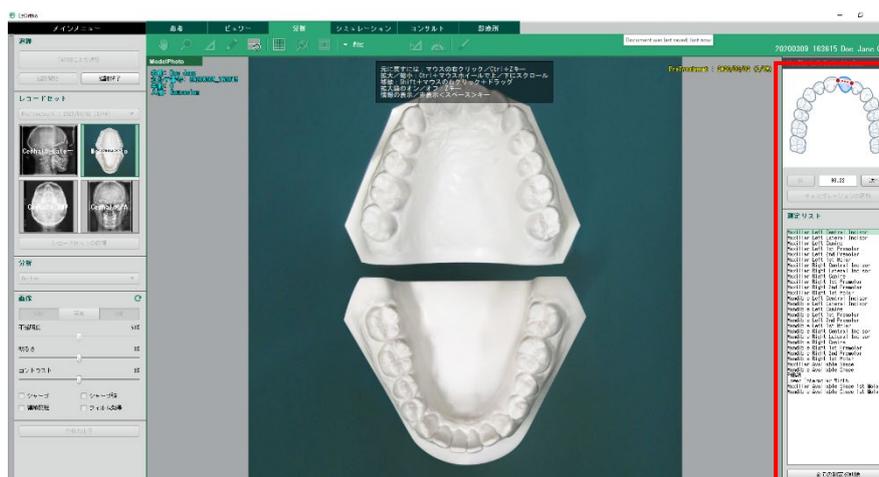


3. 『追跡開始』ボタンをクリックします。



DAVIS は Lateral X 線画像のみサポートしているため、『DAVIS による追跡』ボタンは非アクティブ化されます。

4. 画面右側に表示される臨時コントロールパネルに、ガイド画像と測定リストが表示されます。



5. リストにある全ての項目に対し測定を実行します。測定方法に関する内容は、『3.2.1 Point Picking』及び『3.2.2.直線/曲線を描く』をご参照ください。

- 『追跡終了』ボタンをクリックし、追跡/測定を終了します。



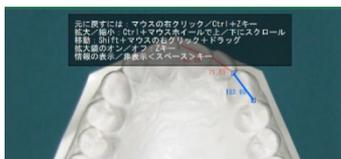
- 測定リストで右クリックし『再測定』を選択すると、ランドマークを再度マーキングすることができます。
- 『全ての測定を削除』ボタンをクリックすると、全てのランドマークが削除されます。

3.2.1 Point picking

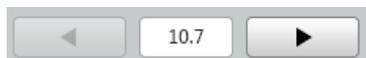
- 測定リストで項目をクリックします。
- 選択した項目がガイドライン画像に表示されます。



- ガイドラインの画像を参照し、選択した歯にキャリブレーションするための2つの地点をクリックします。



- 測定値が画像の上に表示され、長さ測定のテキストボックスに表示されます。



- 測定された長さの値は、長さ測定のテキストボックスで直接修正することができます。テキスト入力ボックスで該当する値を修正すると、画像上に表示される値も変更されます。

3.2.2 直線/曲線を描く

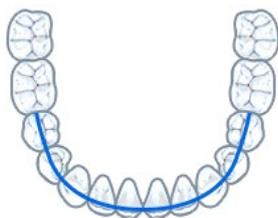
1. 測定リストで項目を設定します。



測定リスト下にある Maxillary Available Space ~Mandible Available Space 1st Molar 項目のうち、一つが選択されていれば直線/曲線を描くことができるよう自動で切り替わります。

2. 選択した項目が、ガイドライン画像上に表示されます。

Mandible Available Space



3. ガイドラインの画像を参照し、直線/曲線を描くための地点をクリックします。



4. 測定された長さの値は、長さ測定テキストボックスで直接修正することができます。
5. 1-4 の作業を繰り返し、測定を行います。



測定値が示されている項目を選択し『全て適用』ボタンをクリックすると、該当値を基に、残りの項目の測定値が自動で入力されます。

3.3 DAVIS による追跡

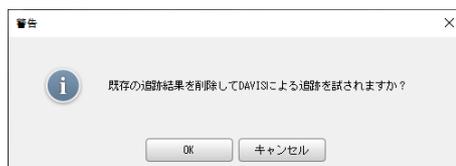
1. 『レコードセット』を選択し Lateral Film を設定します。
2. 『DAVIS による追跡』ボタンをクリックします。

DAVISによる追跡

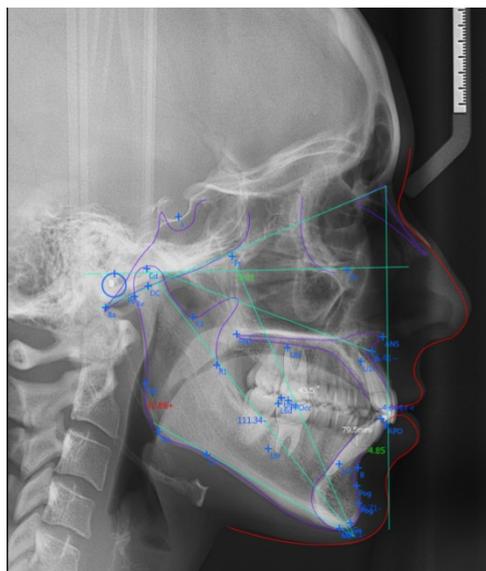


当該サービスは、Built-In ライセンスを購入されたユーザーのみ使用可能です。ライセンスを購入されていない方、または Lateral Film 以外の画像を選択した場合、該当ボタンが非アクティブ化されます。

3. 既存に DAVIS による追跡を行った場合、次のメッセージが表示されます。『OK』ボタンをクリックし、新しい追跡を実行することができます。



4. 追跡が完了すると画像に該当する結果が適用されます。

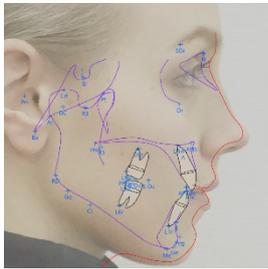
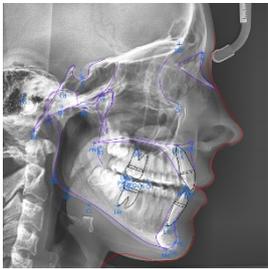
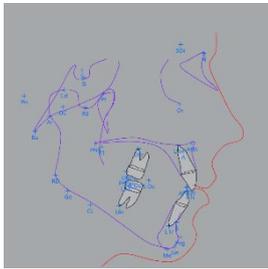


4. 画像調節



4.1 分析/画像/X線ボタン

画像は、分析→画像→X線の順でレイアードされ画面に表示されます。したがって、各ボタンの適用の有無により画像は次のとおり画面に表示されます。

ケース 1	ケース 2	ケース 3
Analysis on	Analysis on	Analysis on
Photo on	Photo off	Photo off
X線 on	X線 on	X線 off
		

4.1.1 分析ボタンのアクティブ化/非アクティブ化設定

『追跡』を使って作成されたランドマークと軟組織をビューエリアに表示/非表示します。

4.1.2 画像ボタンのアクティブ化/非アクティブ化設定

現在のレコードセットにある画像をビューエリアに表示/非表示します。

* 但し、SMV分析時は、常に非表示の状態になります。

4.1.3 X線のアクティブ化/非アクティブ化設定

X線画像をビューエリアに表示/非表示します。

4.2 不透明度

不透明度スライダーを使って、画像の透明度を調節することができます。

* 但し、画像ボタンがアクティブ化されている場合のみ、不透明度スライダーがアクティブ化されます。

4.3 明るさ/コントラスト/シャープ/シャープ強化/領域反転/フィルム効果

明るさ/コントラストスライダーを使って、X線画像の明るさ/コントラストを調節することができ、シャープ/シャープ強化/領域反転/フィルム効果のチェックボックスを選択し、希望する効果をX線画像に適用することができます。

* 但し、X線ボタンがアクティブ化されている場合のみ、明るさ/コントラストスライダーまたはシャープ/シャープ強化/領域反転/フィルム効果のチェックボックスがアクティブ化されます。

4.4 初期化

『初期化』ボタンを選択すると、スライダーとチェックボックスから画像及びX線に適用した全ての設定が初期化されます。非アクティブ化の状態である項目も全て初期化されます。

- カルテデータリストからレコードセットデータを選択します。第一カルテデータのみ選択することができるようにアクティブ化されます。

カルテデータ

第1カルテデータ
 PreTreatment : 2020/03/02 (I/YA) ▼

第2カルテデータ
 ▼

第3カルテデータ
 ▼

- テンプレートには『Model Analysis Template』が自動で設定されます。

テンプレート

Model Analysis Template

- 分析タイプには『Model Analysis』が自動で設定されます。

分析

Model Analysis ▼

- 分析カルテと分析画面を一緒に見る場合には、『分析カルテと画像』アイコン(📄🖼️)をクリックします。

モデル分析

ラジアンズ	平均値	SD	標準	ラジアンズ	平均値	SD	標準
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00

ModelInfo

ラジアンズ	平均値	SD	標準	ラジアンズ	平均値	SD	標準
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00
ラジアンズ	9.00	0.50	1.00	ラジアンズ	9.00	0.50	1.00
ラジアンズ	7.50	0.50	1.00	ラジアンズ	7.50	0.50	1.00

ModelPhoto

ModelPhoto

5.3 分析カルテの印刷

1. ツールバーある『印刷』ボタンをクリックし閲覧中の分析カルテを印刷することができます。
2. 『分析カルテと画像』が選択されている場合、印刷エリアを設定するためのポップアップが表示されます。



3. 印刷したいエリアにチェックを入れて『OK』ボタンをクリックし、印刷を実行します。

5.4 分析カルテのエクスポート

1. ツールバーの『ファイルでエクスポート』ボタンをクリックすると、現在表示されている分析カルテをファイルに保存できます。
2. 『分析画像を含む』が選択されている場合、エクスポートする項目を設定するためのポップアップが表示されます。



3. エクスポートしたいエリアにチェックを入れて『OK』ボタンをクリックすると、エクスポートウィンドウが表示されます。
4. ファイルを保存するパスを指定し、ファイル名と形式を設定してから『保存』ボタンをクリックすると、分析カルテをファイルに保存できます。



画像ファイルでエクスポートする場合、分析カルテのページ別に画像ファイルが作成され、分析画像も別途の画像ファイルで保存されます。

6. ツールの説明

6.1 主要ツール

アイコン	名称	機能の説明
	移動	ビューフレーム内で画像をドラッグして移動
	ズーム	画像の拡大/縮小
	長さ	二点間の距離の測定
	自由曲線	ビューフレーム内で自由に描画
	ビュー初期化	画像に適用された移動とズーム機能を初期化
	ポインター	<p>ポインターのツールダイアログを表示</p>  <ul style="list-style-type: none"> ポインターのツールダイアログが表示された際には、コントロールパネルとツールバーの全ての機能が非アクティブ化されます。

6.2 拡張ツール

分類	アイコン	名称	機能の説明
ビュー		グリッド表示/非表示	選択されたビューフレーム内でグリッドを表示/非表示
		拡大鏡	ビューフレーム内で選択したエリアを拡大
測定		連続長さ測定	2つ以上の地点を繋ぐ線の長さを測定
		角度	3つの点で形成された角度を測定
注釈		線	希望する場所にマウスをドラッグし線を描画
		方形	希望する場所にマウスをドラッグし方形を描画
		円形	希望する場所にマウスをドラッグし円形を描画
		消しゴム	マウスをドラッグし描いた注釈を削除

分類	アイコン	名称	機能の説明
		メモ	希望する場所にメモを挿入
		画像情報	画像情報のオーバーレイを表示
キャプチャ		エリアキャプチャ	<p>選択エリアキャプチャ</p>  <ul style="list-style-type: none"> オーバーレイ ON/OFF の選択が可能
		ビューフレーム キャプチャ	<p>ビューフレームエリアキャプチャ.</p> <ul style="list-style-type: none"> オーバーレイ ON のみサポート
その他		オーバーレイ 表示/非表示	ビューフレームにオーバーレイを表示/非表示
		全体初期化	選択した画像の状態を初期化

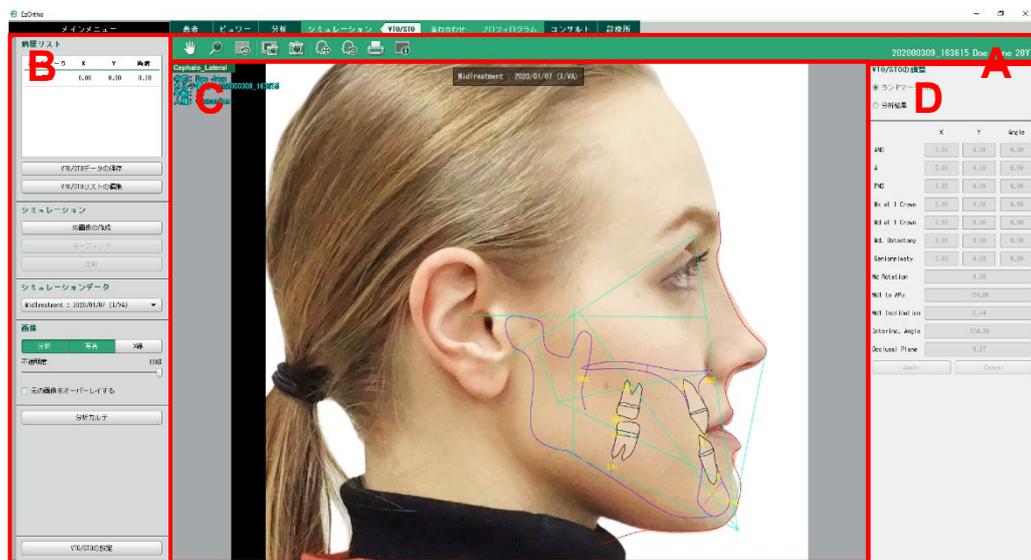
Chapter 6. シミュレーション

1. シミュレーションタブウィンドウの構成.....	139
2. VTO/STO	140
3. 重ね合わせ	150
4. Profilogram.....	154
5. 画像調節	155
6. ツールの説明.....	156

1. シミュレーションタブウィンドウの構成

シミュレーション(Simulation) タブでは、矯正治療または手術後の状態をシミュレーションすることができるVTO/STO機能、矯正治療前後の状態を比較する重ね合わせ機能、歯及び骨格の不整合について平均正常値と比較することができるProfilogram機能を提供しており、効果的な治療計画を立てることができます。

1.1 ワークスペース



- A セクション: 移動/拡大/キャプチャなどのツール機能を提供するツールバーです。
- B セクション: 3D 画像の作成、モーフィング、比較、分析カルテ、画像調節機能などを設定することができるコントロールパネルです。
- C セクション: VTO/STO、重ね合わせ、Profilogram のシミュレーション結果を表示するビューエリアです。
- D セクション: VTO/STO シミュレーションのための臨時コントロールパネルです。

2. VTO/STO

VTO (Visual Treatment Object)とSTO (Surgical Treatment Object)機能は、矯正または矯正手術による顔の輪郭の変化を予測しシミュレーションできるようサポートします。画像で重ね合わされた追跡データを利用して、簡単な移動/回転機能を使って治療後の状態を予測することができます。

シミュレーション VTO/STO 重ね合わせ プロフィログラム



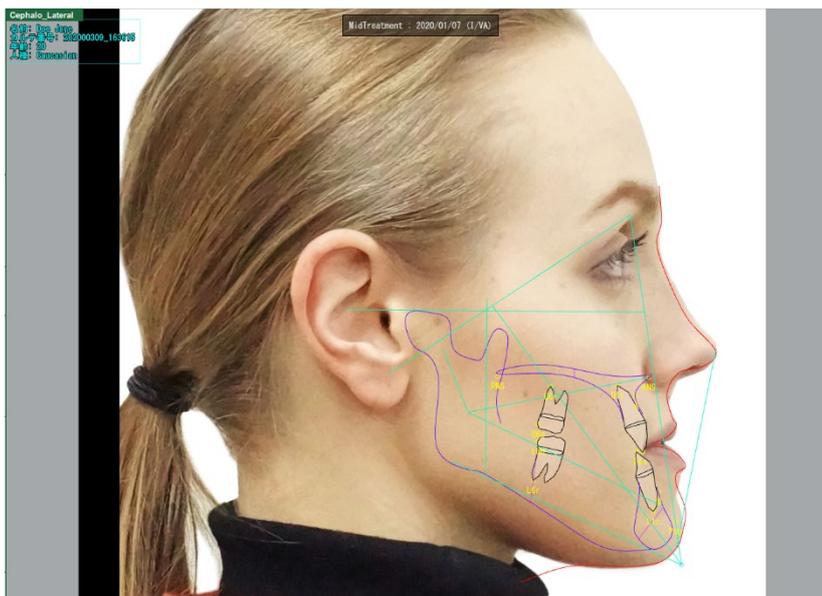
VTO/ STO は、あくまでも顔の輪郭の変化を予測するシミュレーションであり、実際の矯正後の結果は患者により異なります。ユーザーはシミュレーションをする前に、このような限界事項を必ず認識しこれらを考慮したうえで治療を行ってください。

2.1 ランドマークの移動/回転 I

- 『シミュレーションデータ』のプルダウンリストからシミュレーションデータを選択します。



- 選択したシミュレーションデータがビューエリアに表示されます。



- 各調整地点をクリックした状態でドラッグし位置を移動させるか、右クリックした状態でドラッグすると回転させることができます。各調整地点における動作とその内容は次のとおりです。

調整地点	動作	説明
A-Point	移動	Maxilla の水平移動
	回転	A-point 上の maxilla 全体の回転
B-Point (Md. Osteotomy)	移動	Mandible の corpus の水平移動
	回転	B-point 上の mandible の corpus の回転
Pogonion (Genioplasty)	移動	Symphysis の水平移動
	回転	Pogonion 上の symphysis の回転

調整地点	動作	説明
Gnathion	回転	DC-point 上の mandible 全体の回転
ANS	移動	Anterior maxilla の水平移動
	回転	ANS 上の maxilla 全体の回転
PNS	移動	Posterior maxilla の水平移動
Mx 1 crown	移動	Maxillary incisor の水平移動
	回転	Maxillary incisor root の回転
Mx 1 root	移動	Maxillary incisor の水平移動
	回転	Maxilla incisor crown の回転
Md 1 crown	移動	Mandibular incisor の水平移動
	回転	Mandibular incisor root の回転
Md 1 root	移動	Mandibular incisor の水平移動
	回転	Mandibular incisor crown の回転
Mx 6 distal	移動	Maxillary 1st molar の水平移動
	回転	Maxillary 1st molar root の回転
Mx 6 root	移動	Maxillary 1st molar の水平移動
	回転	Maxillary 1st molar crown の回転
Md 6 distal	移動	Mandibular 1st molar の水平移動
	回転	Mandibular 1st molar root の回転
Md 6 root	移動	Mandibular 1st molar の水平移動
	回転	Mandibular 1st molar crown の回転

4. ランドマークの移動/回転の履歴は、『病歴リスト』とビューエリアに記録されます。

病歴リスト			
ランドマーク	X	Y	角度
基本	0.00	0.00	0.00

2.2 ランドマークの移動/回転 II

1. 『シミュレーションデータ』のプルダウンリストからシミュレーションデータを選択します。



2. 選択したシミュレーションデータがビューエリアに表示されます。

3. 『VTO/STOの調整』グループにある『ランドマークの移動』ボタンをチェックします。

VTO/STOの調整

ランドマークの移動

分析結果

4. タイトルまたはリストにあるテキストボックスをダブルクリックしランドマークを選択すると、該当するランドマークの入力ウィンドウがアクティブ化されます。

	X	Y	Angle
ANS	0.00	0.00	0.00
A	0.00	0.00	0.00
PNS	0.00	0.00	0.00
Mx at 1 Crown	0.00	0.00	0.00
Md at 1 Crown	0.00	0.00	0.00
Md. Osteotomy	0.00	0.00	0.00
Genionplasty	0.00	0.00	0.00
Md Rotation	0.00		
MdI to APo	-24.06		
MdI Inclination	2.04		
Interinc. Angle	174.39		
Occlusal Plane	3.97		

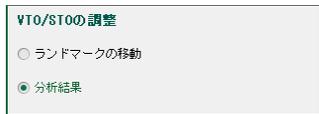
5. 希望値に修正した後『適用』ボタンをクリックします。
6. ランドマークの移動/回転の履歴は、『病歴リスト』とビューエリアに記録されます。

病歴リスト

ランドマーク	X	Y	角度
基本	0.00	0.00	0.00
PNS	-5.00	10.00	0.00

2.3 分析結果の確認

- 『VTO/STO の調整』グループにある『分析結果』ボタンをチェックします。

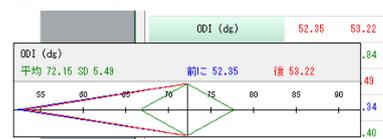


- 分析前/後のデータが測定リストに表示されます。

測定名	前に	後
Body Length (mm)	334.86	334.86
SN to FH (dg)	17.78	17.78
ODI (dg)	52.85	58.22
Palatal plane to Mn. (...)	23.96	24.84
MxI to NA (mm)	7.49	7.49
Facial Convexity (dg)	15.34	15.34
Upper Gonial Angle (dg)	54.40	54.40
Lower Gonial Angle (dg)	78.64	78.64
Ant. Cranial Base (mm)	271.82	271.82
Facial Depth (mm)	465.08	465.08
Mdl to Occlusal Plane ...	-25.61	-25.61
IMPA (dg)	50.47	50.47
Post. Cranial Base (mm)	139.58	139.58
Cm-Sn-Ls (dg)	114.41	114.41
SNB (dg)	78.67	78.67
Mdl to NB (mm)	27.04	27.04
Facial Length on Y-axi...	567.22	567.22



平均値の標準偏差内の測定値は緑色、標準偏差以上の値は赤色、標準偏差以下の値は青色で表示されます。



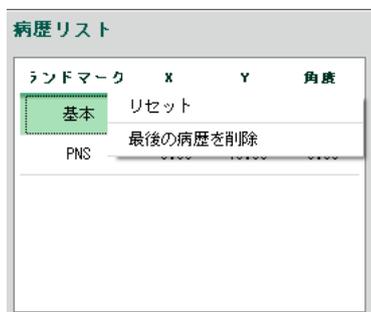
- 分析ドロップダウンリストから分析方法を変更すると、選択した分析方法に合わせ測定値が、即時に変更されます。
- カルテから分析結果を確認するには、コントロールパネル下にある『分析カルテ』ボタンをクリックします。



2.4 病歴リストの管理

2.4.1 病歴の削除

1. 『病歴リスト』にある項目で右クリックします。



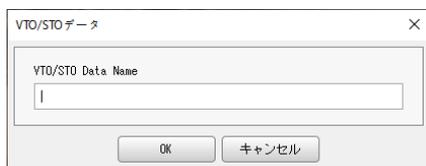
2. 全体の病歴を削除する場合には『リセット』メニューを選択し、最後の病歴のみ削除したい場合には『最後の病歴を削除』メニューを選択します。

2.4.2 VTO/STO の保存

1. 『病歴リスト』にある『VTO/STO データの保存』ボタンをクリックし、選択したシミュレーションデータを保存します。



2. データ名設定ウィンドウが表示されます。



3. 入力欄に VTO/STO データ名を入力し『OK』ボタンをクリックします。



レコードセットあたり、最大 5 つの VTO/STO データを保存することができます。

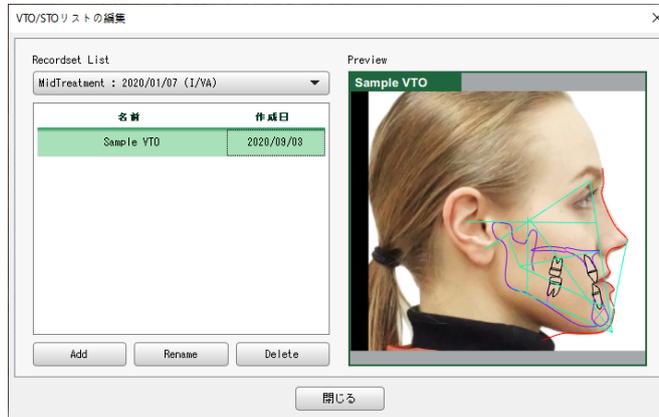
4. 保存した VTO/STO データが、VTO/STO リストに追加されます。

2.4.3 VTO/STO リストの編集

1. 『病歴リスト』にある『VTO/STO リストの編集』ボタンをクリックします。



2. 『VTO/STO リストの編集』ウィンドウが表示されます。



3. ドロップダウンリストからレコードセットを選択します。
4. VTO/STO リストに、選択したレコードセットの VTO/STO データが表示されます。
5. VTO/STO データをクリックすると、右側のプレビュー画面にデータが表示されます。
6. 『追加』、『名前の変更』、『削除』ボタンを使って、ユーザーが選択した VTO/STO データの追加/名前の変更/削除を行うことができます。
7. 『OK』ボタンクリックして編集を終了します。

2.5 VTO/STO シミュレーション



2.5.1 3D 画像の作成

『Chapter 4.ビューア→4. 3D画像の作成』の内容をご参照ください。

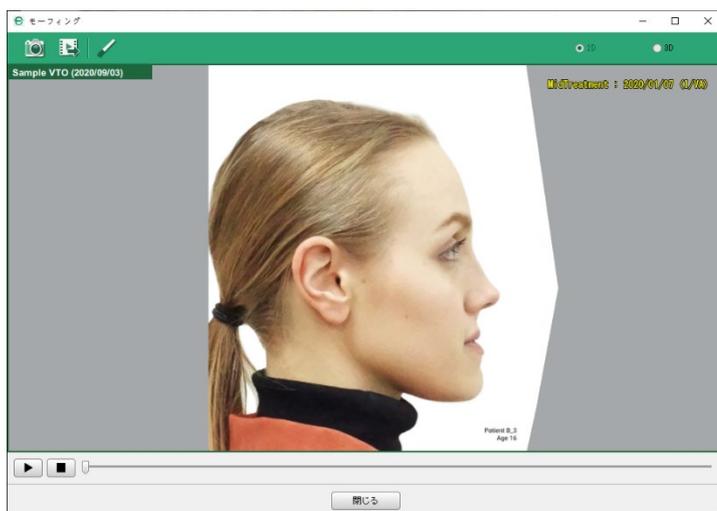
2.5.2 モーフィング (2D)

モーフィングとは、一つの画像から他の異なる画像に徐々に変化する過程を意味します。この機能を使用することにより、初期の状態から治療後の最終状態までの患者の変化をビデオにして見せることができます。

1. 『シミュレーション』グループにある『モーフィング』ボタンをクリックします。



2. 『モーフィング』ウィンドウが表示され、『2D』ボタンが基本設定されています。



3. 『再生』ボタンをクリックし、モーフィング画像を再生します。



再生/一時停止/スライド機能があります。

4. ツールを使って、現在再生中のモーフィング動画のキャプチャやエクスポートができます。

アイコン	名称	機能の説明
	ビューフレームキャプチャ	現在再生中のモーフィング動画を一時停止した状態でキャプチャします。
	動画のエクスポート	現在再生中のモーフィング画像をビデオファイル形式でローカル PC に保存します。
	ポインター	ポインターのツールダイアログを表示 

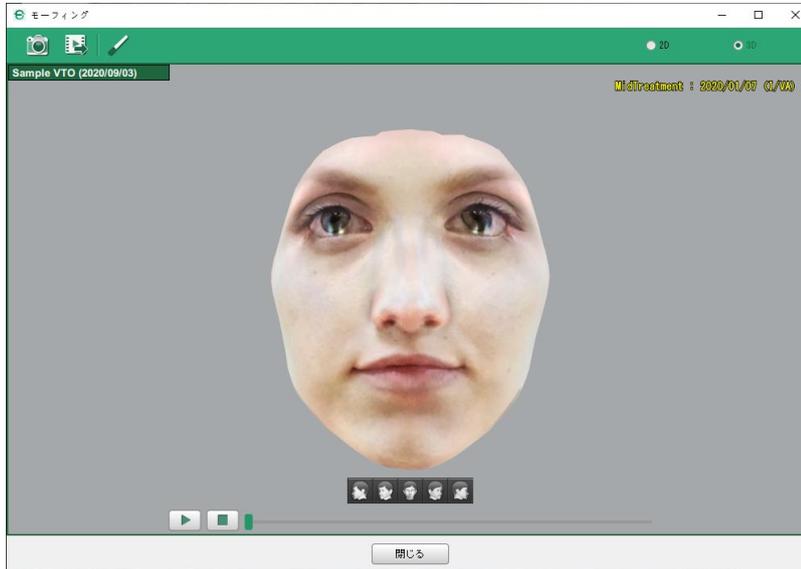
5. 『閉じる』ボタンをクリックし、モーフィングウィンドウを閉じます。

2.5.3 モーフィング (3D)

- 『シミュレーション』グループにある『モーフィング』ボタンをクリックします。



- 『モーフィング』ウィンドウが表示されます。



- 『3D』ボタンをチェックします。



3D 画像を作成した場合のみ、3D モーフィング動画を再生することができます。

- 『移動』、『ズーム』、『回転』ボタンを使って、3D 画像のサイズと角度を 3D ビュー内で調整します。
- 『再生』ボタンをクリックし、モーフィング画像を再生します。



再生/一時停止/スライド機能があります。

- ツールを使って、現在再生中のモーフィング動画のキャプチャや、エクスポートができます。

アイコン	名称	機能の説明
	ビューフレームキャプチャ	現在再生中のモーフィング動画を一時停止した状態でキャプチャします。
	動画のエクスポート	現在再生中のモーフィング画像をビデオファイル形式でローカル PC に保存します。
	ポインター	ポインターのツールダイアログを表示 

- 『閉じる』ボタンをクリックし、モーフィングウィンドウを閉じます。

2.5.4 比較 (2D/3D)

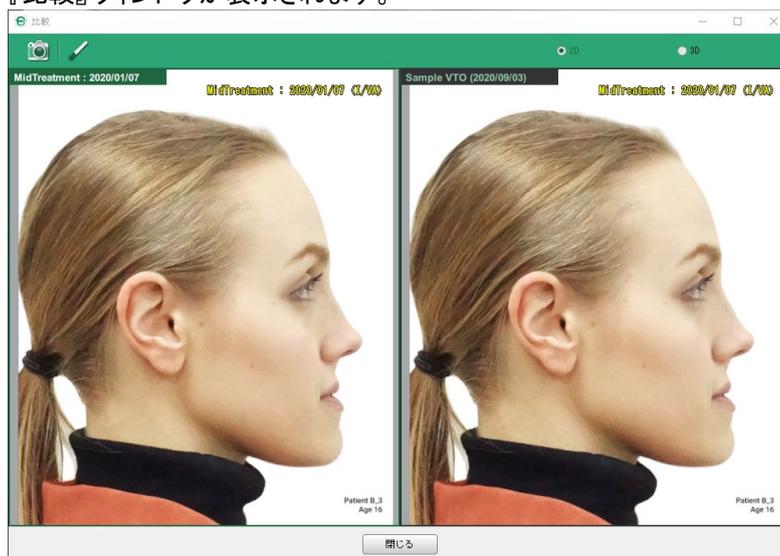


シミュレーション前後の画像の同時比較や、画像と既存データを同時に見ることができます。

1. シミュレーショングループの『比較』ボタンをクリックします。



『比較』ウィンドウが表示されます。



2. 『2D』または『3D』ボタンをチェックします。



比較機能を実行するためには、先に 3D 画像を作成してください。

3. 2D/3D 比較でサポートしているツール(移動/ズーム/キャプチャビューフレーム/ポインター)は、モーフィングでサポートしているツールと同一です。詳しい内容は、『2.5.2 モーフィング (2D)と 2.5.3 モーフィング(3D)』をご参照ください。

2.6 VTO/STO の設定

- 『シミュレーション』グループにある『VTO/STO の設定』ボタンをクリックします。



- 『VTO/STO の設定』ウィンドウが表示されたら『Modify』ボタンをクリックし、編集画面をアクティブ化させます。

×

VTO/STOの設定

分類 ランドマーク

I Anterior Nasal Spine

Columella point	X	0.16	Y	0.1	Subnasale	X	0.34	Y	0.26
Soft tissue A-point	X	0.34	Y	0.26	Labrale superior	X	0.68	Y	0.34
Upper lip	X	0.68	Y	0.34	Stomion superius	X	0.68	Y	0.34
Upper embrasure	X	0.68	Y	0.34	Lower embrasure	X	0.2	Y	0.2
Stomion inferius	X	0.2	Y	0.2	Lower lip	X	0.2	Y	0.2
Labrale inferius	X	0.1	Y	0.1	Point 3	X	0.1	Y	0.1
Soft tissue B-point	X	0	Y	0	Mentolabial sulcus	X	0	Y	0
Soft tissue pogonion	X	0	Y	0	Soft tissue gnathion	X	0	Y	0
Soft Menton	X	0	Y	0	Point 4	X	0	Y	0
Cervical point	X	0	Y	0					

Modify

閉じる

- 入力欄の内容を修正した後『保存』ボタンをクリックして修正を完了し、『閉じる』ボタンをクリックし設定画面を閉じます。

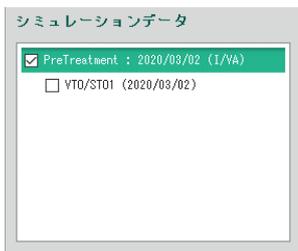
3. 重ね合わせ

重ね合わせ機能では、同一の患者のそれぞれ違ったレコードセットで、分析が完了した画像の追跡情報を重ね合わせ、成長と矯正治療による骨格と歯の分析前後の変化を比較することができます。重ね合わせ機能を使用するには、少なくとも2つ以上のレコードセットが必要です。

シミュレーション VTO/STO **重ね合わせ** プロフィログラム

3.1 ガイドラインの重ね合わせ

1. シミュレーションデータグループからシミュレーションデータを選択します。最大9つの項目(作成したレコードセットまたはユーザーが保存した VTO/STO)を選択することができます。



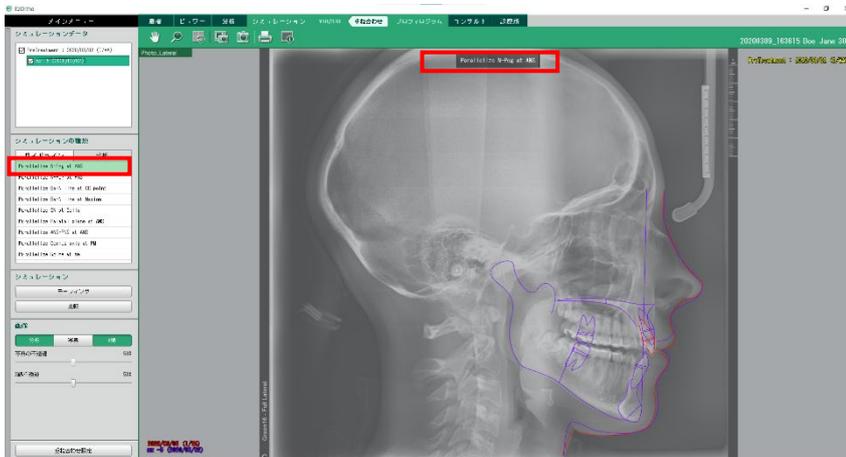
2. シミュレーションの種類で『Guideline』を選択します。



3. Guideline リストからガイドラインを選択します。



4. 選択したガイドラインの重ね合わせの結果値がビューエリアに表示されます。

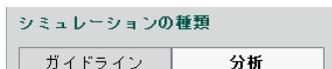


3.2 分析データの重ね合わせ

1. シミュレーションデータグループからシミュレーションデータを選択します。最大 9 つの項目(作成したレコードセットまたはユーザーが保存した VTO/STO)を選択することができます。



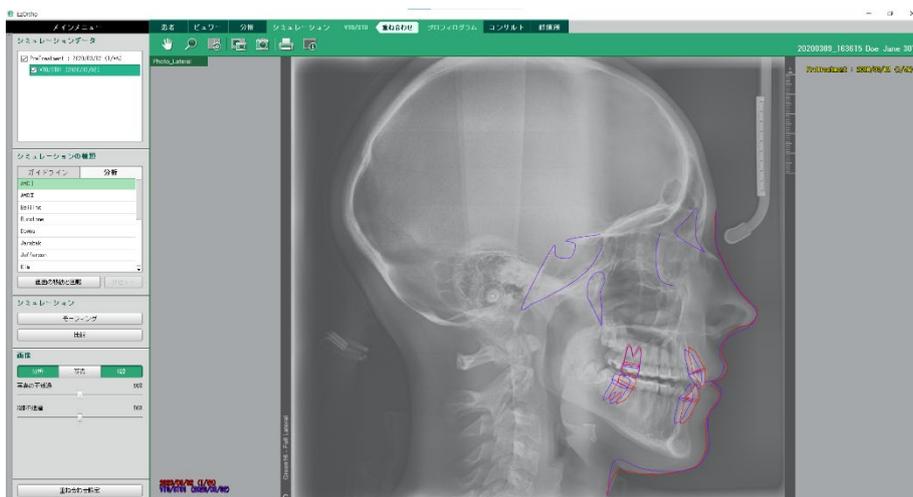
2. シミュレーションの種類で『Analysis』を選択します。



3. Analysis リストから分析方法を選択します。



4. 各項目を選択し分析方法を変更しながら、ビューエリアでシミュレーション結果を確認します。



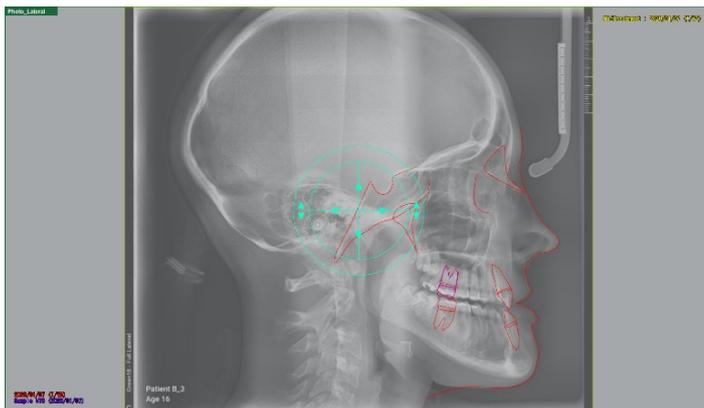
3.3 重ね合わせウィンドウの操作

3.3.1 画像の移動と回転

1. 『画像の移動と回転』ボタンをクリックします。

画面の移動と回転

2. コントロールパネルで選択したシミュレーションデータ画像の中心に、コントローラーが表示されます。



3. コントローラーを操作し、画像を移動/回転させます。

*操作方法に関する詳しい内容は、同一の『Chapter 3.患者→5.4 画像の編集→5.4.1 移動/回転』をご参照ください。但し、ガイドラインの重ね合わせでは、回転機能はサポートされていないため非アクティブ化されます。

4. 『移動/回転』ツールのアイコンを再びクリックすると、コントローラーモードを終了します。

3.3.2 ビュー初期化

1. 『ビュー初期化』アイコンをクリックします。



2. 変更した内容が初期化されます。

3.4 重ね合わせシミュレーション



重ね合わせの方法は、基本的には VTO/STO と同一です。但し、重ね合わせタブでは、3D モーフィング及び 3D 比較機能はサポートされていません。

3.4.1 モーフィング (2D)

詳しい内容は、『Chapter 6.シミュレーション→2.VTO/STO→2.5.2 モーフィング (2D)』をご参照ください。

3.4.2 比較 (2D)

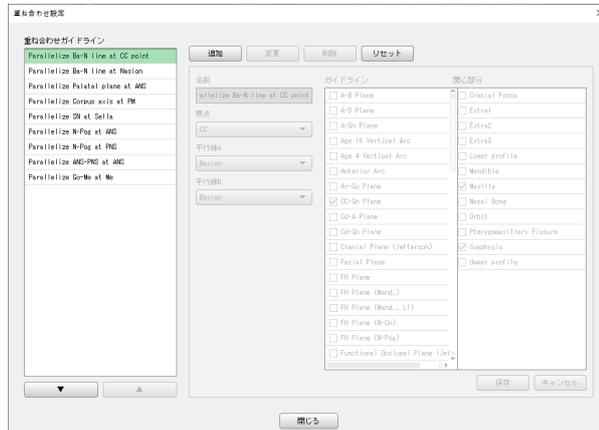
詳しい内容は、『Chapter 6.シミュレーション→2.VTO/STO→2.5.4 比較(2D/3D)』をご参照ください。

3.5 重ね合わせ設定

1. コントロールパネル下にある『重ね合わせ設定』ボタンをクリックします。



2. 重ね合わせ設定ウィンドウが表示されます。



3. 設定を変更した後『閉じる』ボタンをクリックし、適用します。

4. Profilogram

Profilogram機能では、成長期の患者の現在の状態と各年代の標準データを同時に提示することができ、歯または骨格の不整合を一目で確認することができます。

シミュレーション VTD/STO 重ね合わせ <プロフィログラム>

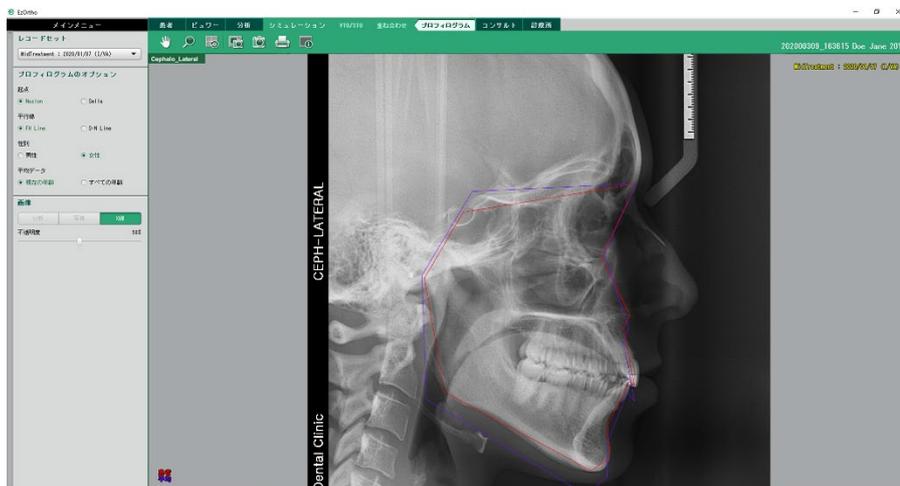
1. レコードセットグループにある『レコードセット』を設定します。



2. 希望する設定を選択し、Profilogram のオプションを設定します。

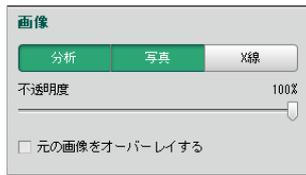


3. ビューエリアに、患者のデータは赤色、平均データは青色で表示されます。



Profilogram では分析結果をサポートしていないため、『分析』ボタンが非アクティブ化されます。

5. 画像調節



5.1 分析/画像/X線ボタン

当該項目の機能は、分析タブと同一です。詳しい内容は、『Chapter 5.分析→4.画像調節→4.1分析/画像/X線ボタン』をご参照ください。

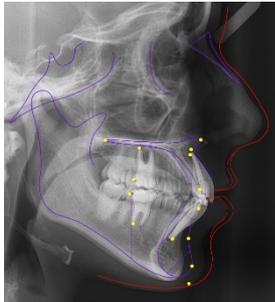
5.2 不透明度

不透明度スライドを使って、写真及びX線画像の透明度を即時に調節することができます。

* ただし、写真またはX線ボタンがアクティブ化されている場合に限り、スライダーバーがアクティブ化されます。

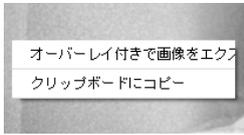
5.3 画像原本の表示

VTO/STOタブで『画像原本の表示』チェックボックスをチェックすると、画像分析で作成された原本追跡結果と、VTO/STOシミュレーションで作成された追跡結果の全てを確認することができます。

画像原本の表示を未選択	画像原本の表示を選択
	

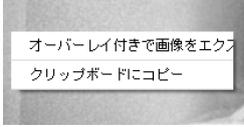
6. ツールの説明

6.1 VTO/STO ツール

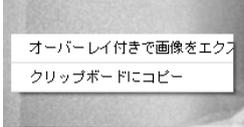
アイコン	名称	機能の説明
	移動/回転	ビューフレームで画像を自由に移動
	ズーム	画像の拡大/縮小
	ビュー初期化	画像に適用された移動とズーム機能を初期化
	エリアキャプチャ	選択エリアキャプチャ  * オーバーレイ ON/OFF の選択が可能
	ビューフレームキャプチャ	ビューフレーム エリアキャプチャ. * オーバーレイ ON のみサポート
	軟組織並び替え	選択時、軟組織の編集をアクティブ化 * 分析タブには変更内容が反映されません
	軟組織移動初期化	軟組織の全ての移動を初期化
	印刷	選択されたビューフレームの印刷
	画像情報	画像情報のオーバーレイを表示

6.2 重ね合わせツール

アイコン	名称	機能の説明
	移動/回転	ビューフレームで画像を自由に移動
	ズーム	画像の拡大/縮小
	ビュー初期化	画像に適用された移動とズーム機能を初期化
	エリアキャプチャ	選択エリアキャプチャ

アイコン	名称	機能の説明
		 <p>* オーバーレイ ON/OFF の選択が可能</p>
	ビューフレームキャプチャ	ビューフレーム エリアキャプチャ. * オーバーレイ ON のみサポート
	印刷	選択されたビューフレームの印刷
	画像情報	画像情報のオーバーレイを表示

6.3 Profilogram ツール

アイコン	名称	機能の説明
	移動/回転	ビューフレームで画像を自由に移動
	ズーム	画像の拡大/縮小
	ビュー初期化	画像に適用された移動とズーム機能を初期化
	エリアキャプチャ	選択エリアキャプチャ  <p>* オーバーレイ ON/OFF の選択が可能</p>
	ビューフレームキャプチャ	ビューフレーム エリアキャプチャ. * オーバーレイ ON のみサポート
	印刷	選択されたビューフレームの印刷
	画像情報	画像情報のオーバーレイを表示

Chapter 7. コンサルト

1. コンサルタブウィンドウの構成	161
2. レコードセット画像の確認	162
3. コンサルトコンテンツのロード	164
4. コンサルトコンテンツの管理	168
5. プレゼンテーションモード	176
6. レイアウトの変更	177
7. ツールの説明	178

1. コンサルトタブウィンドウの構成

コンサルト(Consult)タブでは、選択した患者の全体のレコードセットの画像と、コンサルトコンテンツを確認し、お気に入りやカートなどで管理することができます。

1.1 ワークスペース



- A セクション: 移動/ズーム/キャプチャなど提供するツールバーです。
- B セクション: お気に入り、最近のリスト、カート機能を実行することができる設定することができるコントロールパネルです。
- C セクション: 選択したレコードセット画像、またはコンサルトコンテンツを表示するビューエリアです。
- D セクション: ビューエリアに表示される患者の画像を選択することができるサムネイル画像を表示します。
- E セクション: ビューエリアに表示される患者の画像を選択することができるサムネイル画像を表示します。

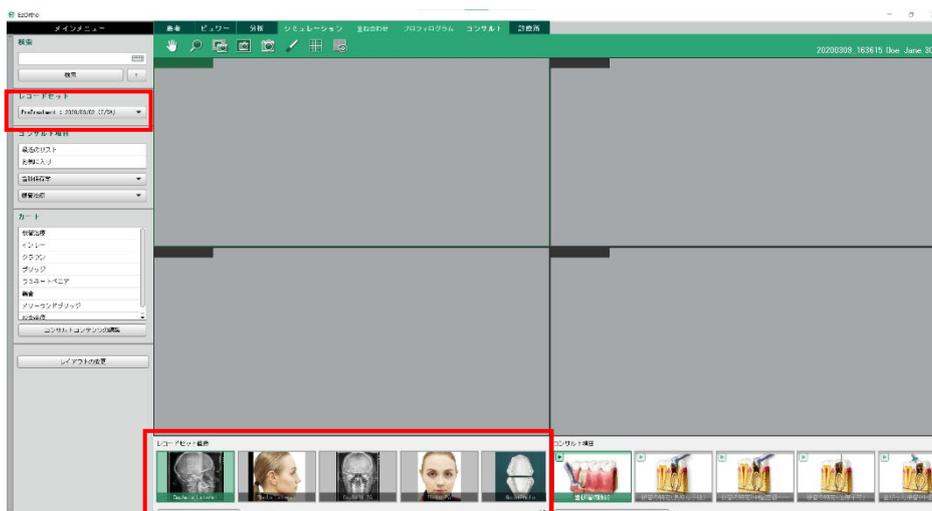
2. レコードセット画像の確認

2.1 レコードセット画像のロード

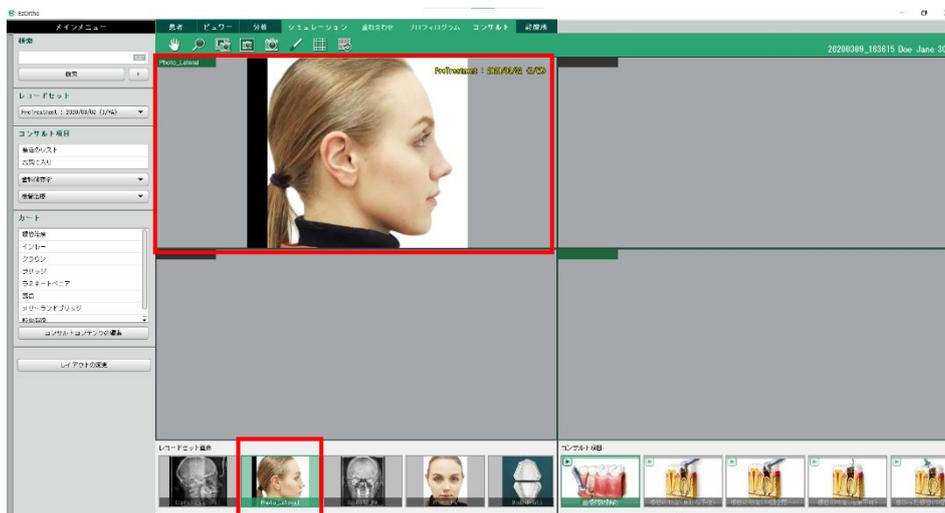
1. レコードセットグループから『レコードセット』を選択します。



2. 選択したレコードセットのサムネイル画像がビューエリア下段に表示されます。



3. サムネイル画像の中から1つの画像をダブルクリックすると、該当する画像がビューエリアに表示されます。



基本レイアウトは、2x2 レイアウトです。

2.2 コンサルトコンテンツに追加

1. ビューエリアの画像で右クリックします。



2. 右クリックメニューから『相談内容の追加』を選択します。



3. 『コンサルト編集』ウィンドウが表示されます。

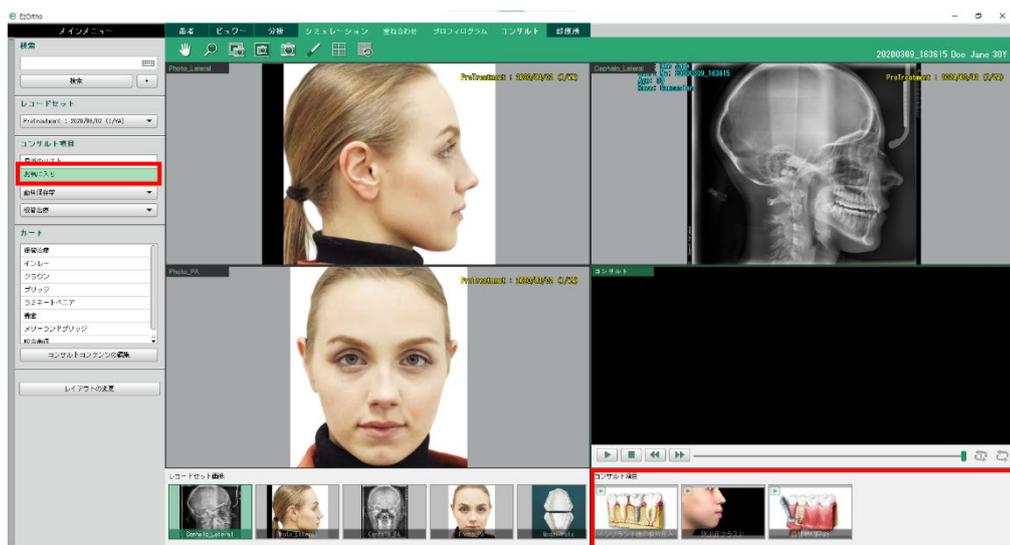


4. コンサルトコンテンツの追加先を選択し、『OK』ボタンをクリックします。
5. 選択した画像が、選択したコンサルトコンテンツに追加されます。

3. コンサルトコンテンツのロード

3.1 お気に入り

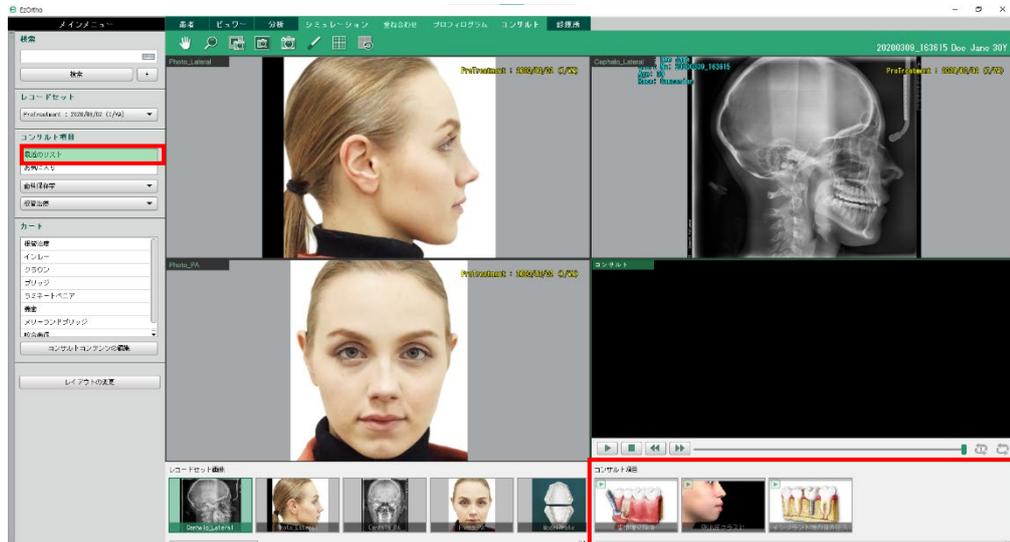
1. コンサルト項目グループから『お気に入り』を選択します。
2. お気に入りに設定されたコンテンツが、コンサルトコンテンツエリアにサムネイル形式で表示されます。



3. 再生したいサムネイル画像をダブルクリックすると、選択した画像がビューエリアに表示されます。
4. 『再生』(▶)ボタンをクリックし画像を再生します。

3.2 最近のリスト

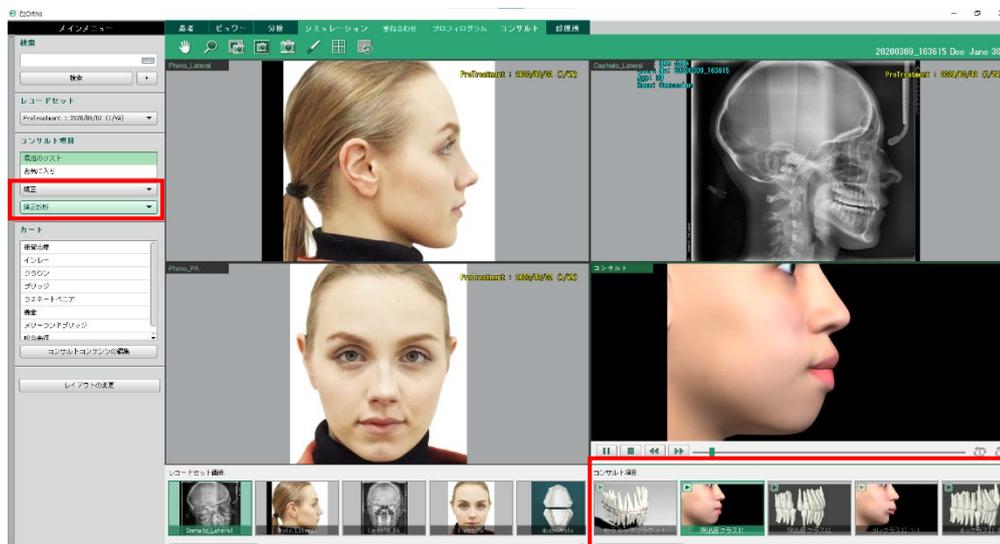
1. コンサルト項目グループから『最近のリスト』を選択します。
2. 『最近のリスト』コンテンツが、コンサルトコンテンツエリアにサムネイル形式で表示されます。



3. サムネイルをダブルクリックすると、該当する画像がビューエリアに表示されます。
4. 『再生』ボタンをクリックし画像を再生します。

3.3 カテゴリ

1. コンサルト項目下にあるドロップダウンリストから、上位または下位カテゴリを設定します。
2. 選択した下位カテゴリに含まれたコンテンツが、コンサルトコンテンツエリアにサムネイル形式で表示されます。



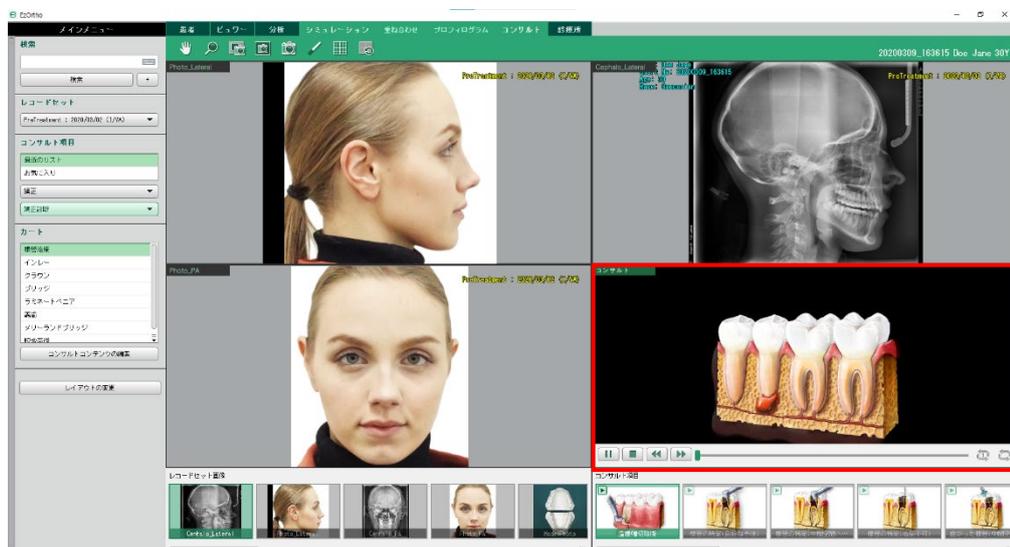
3. サムネイルをダブルクリックすると、該当する画像がビューエリアに表示されます。
4. 『再生』ボタンをクリックし画像を再生します。

3.4 カート

1. カートリストからコンテンツを選択しダブルクリックします。



2. 選択したコンテンツがビューエリアに表示されます。

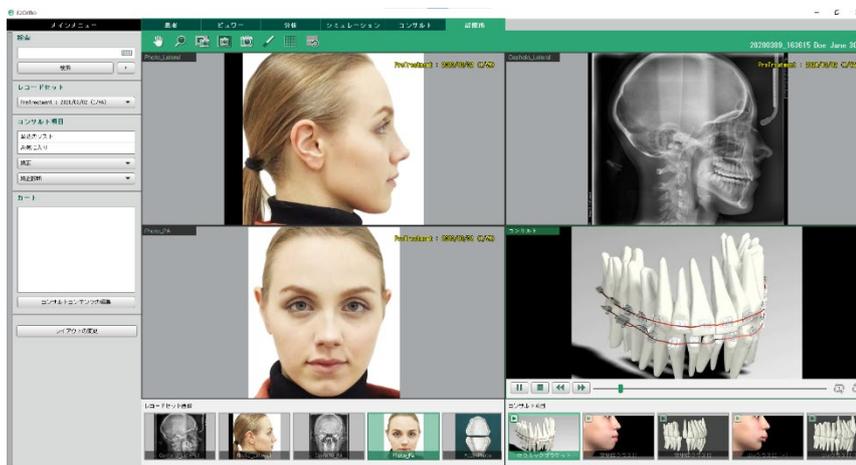


3. 『再生』ボタンをクリックし画像を再生します。

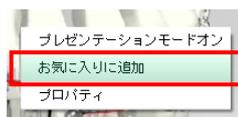
4. コンサルトコンテンツの管理

4.1 お気に入り追加

1. コンサルトビュー画面で、右クリックしメニューを開きます。



2. 『お気に入り追加』を選択し、該当するコンテンツをお気に入りに追加します。



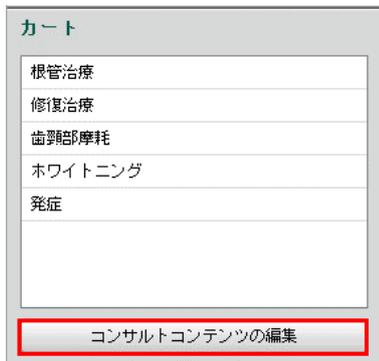
4.2 お気に入りから削除

1. 左側にあるカテゴリで『コンサルトコンテンツの編集』ボタンをクリックすると、『コンサルトカテゴリ』ウィンドウが表示されます。
2. 削除するコンサルトコンテンツを右クリックし、『お気に入りから削除する』ボタンをクリックします。お気に入りに追加されているコンテンツは、サムネイル画像の右上に星印が表示されています。

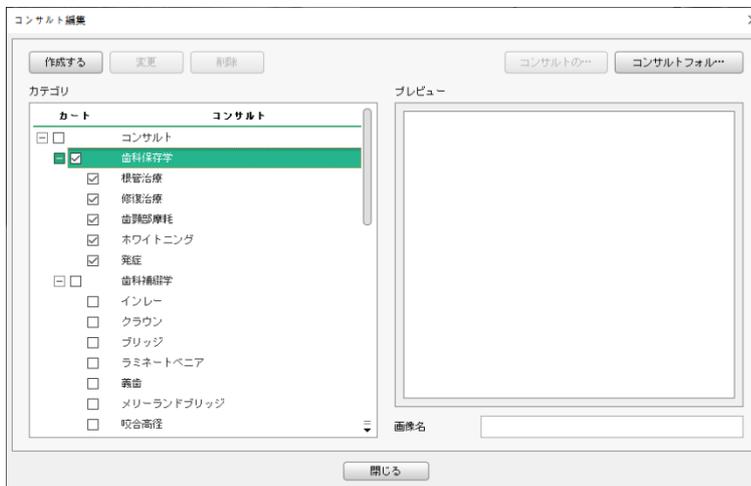


4.3 カートリストの編集

- 『コンサルトコンテンツの編集』ボタンをクリックします。



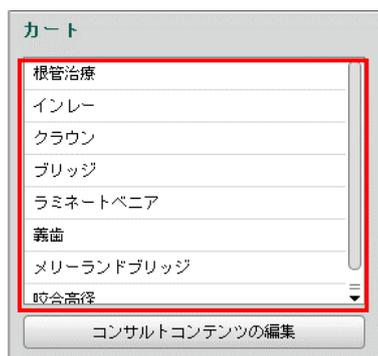
- 『コンサルト編集』ウィンドウが表示されます。



- カートリストに表示したい項目を全て選択し『閉じる』ボタンをクリックします。

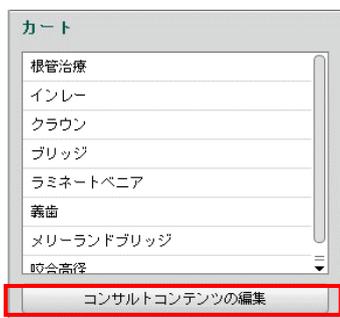


4. 変更内容がカートリストに反映されます。

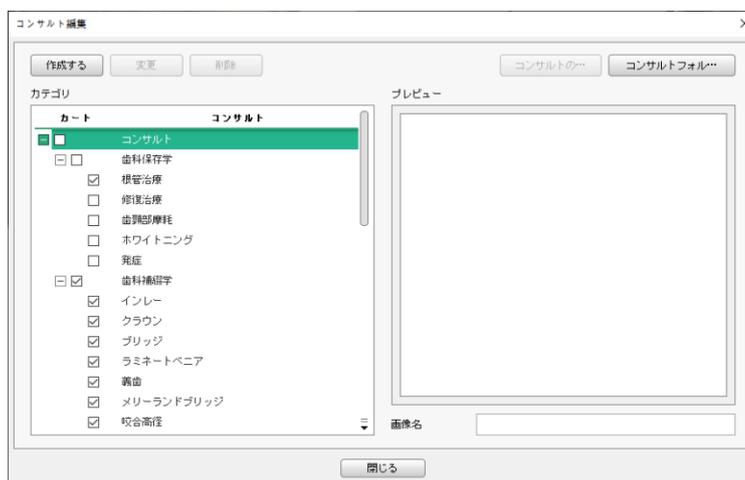


4.4 カートの管理

1. 『コンサルトコンテンツの編集』ボタンをクリックします。



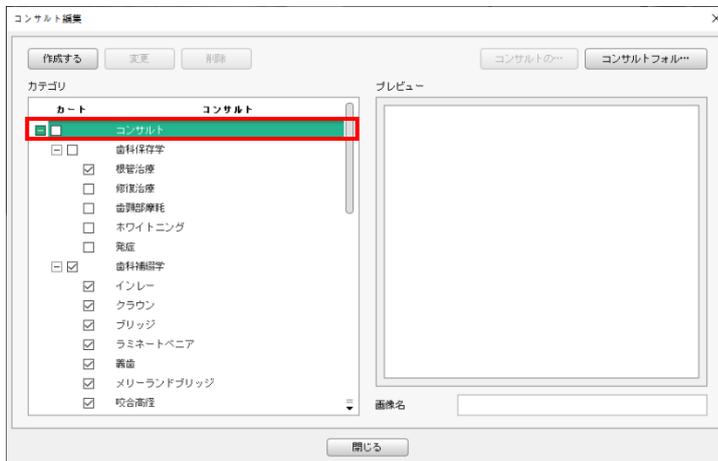
2. 『コンサルト編集』ウィンドウが表示されます。



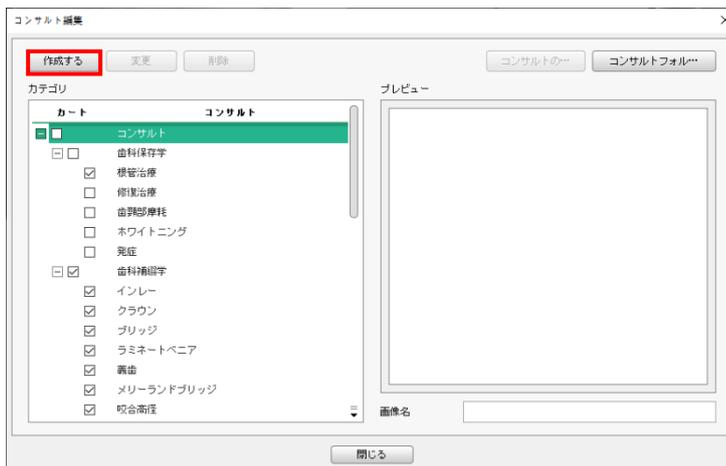
3. カテゴリまたはコンテンツの追加/変更/削除など希望する機能を実行します。各機能に関する詳しい内容は、次の『4.4.1～4.4.6』の内容をご参照ください。

4.4.1 新規カテゴリの追加

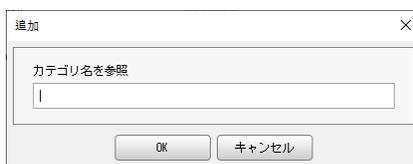
1. 追加する新規カテゴリの上位カテゴリを選択します。



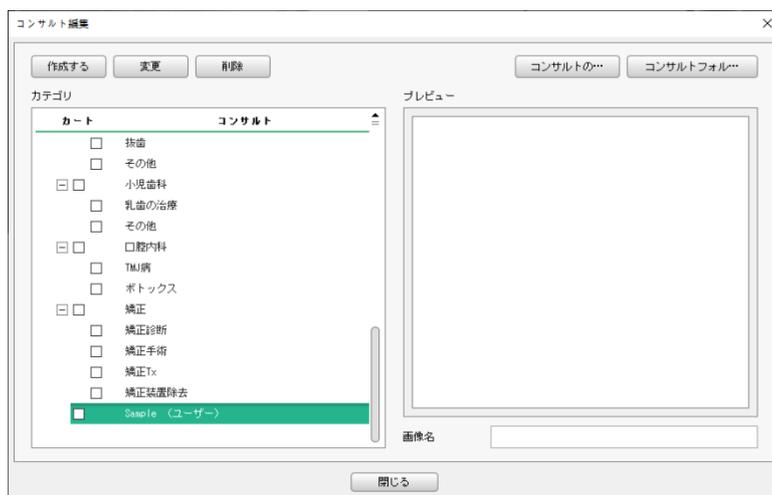
2. 『作成する』ボタンをクリックします。



3. カテゴリの追加ウィンドウが表示されたらカテゴリ名を入力し、『OK』ボタンをクリックしてカテゴリを作成します。



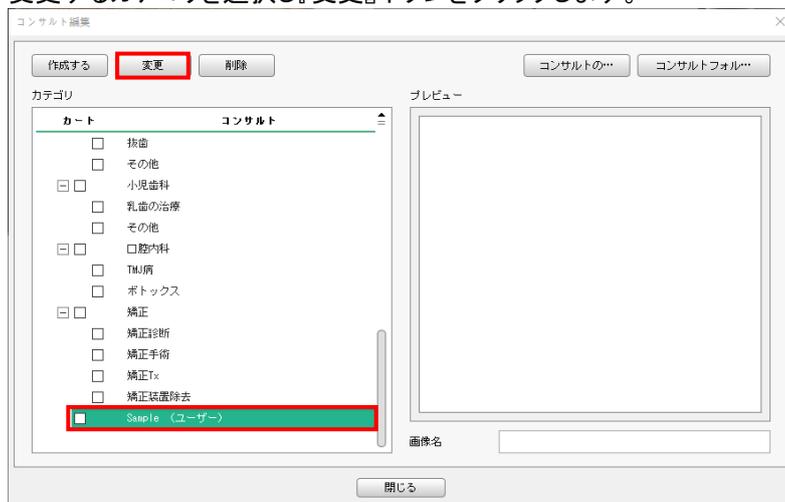
4. 入力した名前のカテゴリが追加されます。



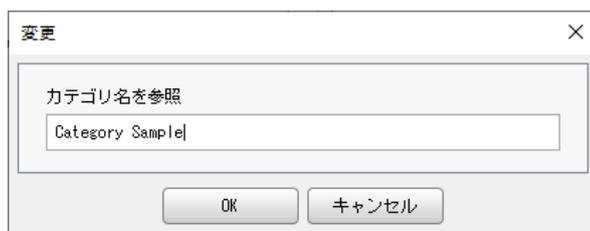
ユーザーが作成したカテゴリの場合、カテゴリ名の後ろに『（ユーザー）』が表示されます。

4.4.2 カテゴリの変更

1. 変更するカテゴリを選択し『変更』ボタンをクリックします。

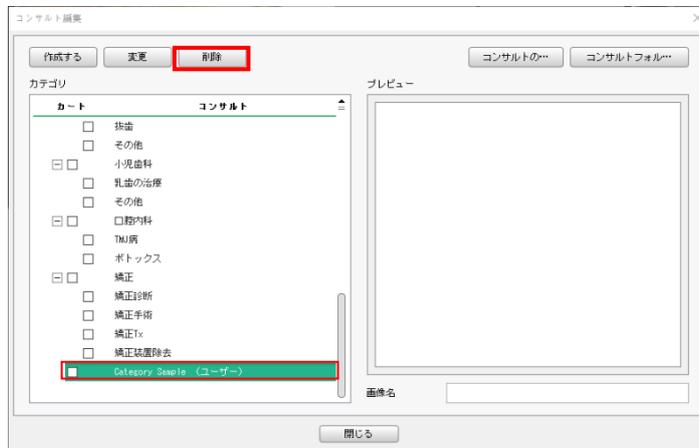


2. カテゴリの変更ウィンドウが表示されたら、新しいカテゴリ名を入力した後『OK』ボタンをクリックし名前を変更します。



4.4.3 カテゴリの削除

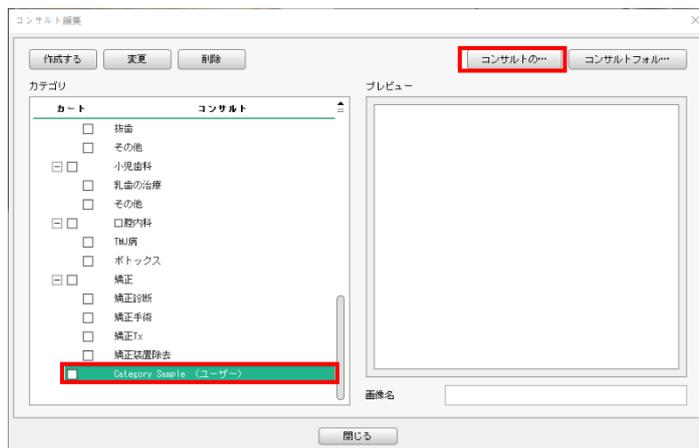
1. 削除するカテゴリを選択し『削除』ボタンをクリックします。



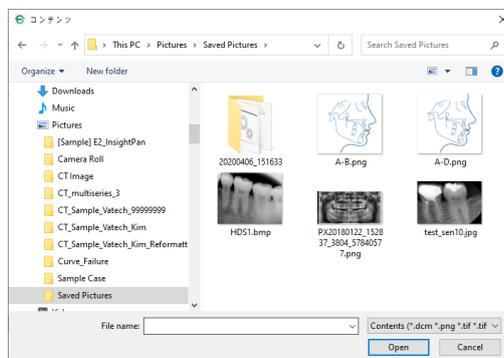
2. 削除の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、選択したカテゴリを削除します。

4.4.4 コンサルトの追加

1. 新規で追加するコンテンツのカテゴリを選択し、『コンサルトの追加』ボタンをクリックします。



2. コンテンツの選択ウィンドウが表示されたら、追加するコンテンツを選択し、『Open』ボタンをクリックしてコンテンツを追加します。



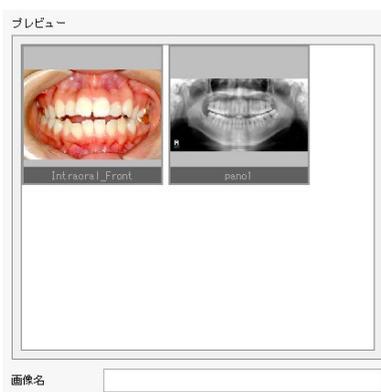


サポートしているファイル形式は、以下のとおりです。

- 画像ファイル: *.bmp、*.jpg、*.png
- 動画ファイル: *.avi、*.mov、*.mp4、*.wma
- 文書ファイル: *.doc、*.docx、*.ppt、*.pptx、*.pdf

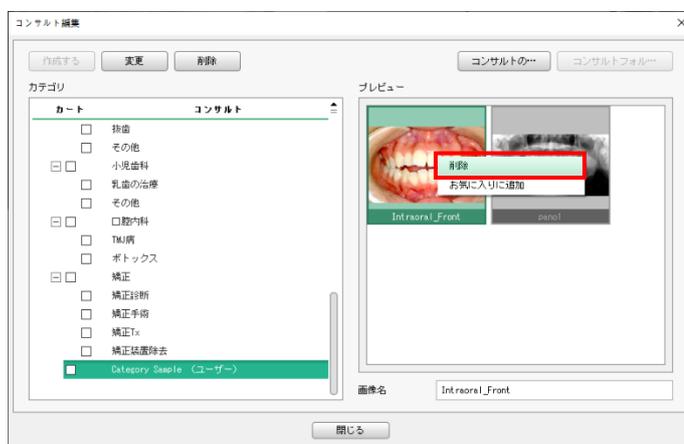
3. 追加さ

れたコンテンツは、プレビュー画面から確認することができ、入力欄でコンテンツの画像名を変更することができます。



4.4.5 コンテンツの削除

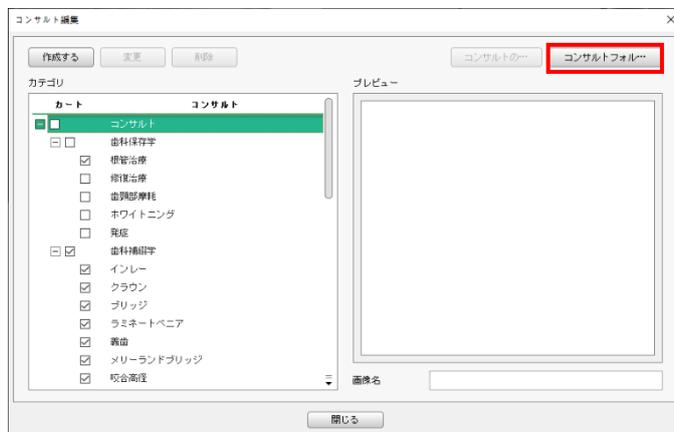
1. 削除するコンテンツを含むカテゴリを選択した後、該当するコンテンツを右クリックし『削除』を選択します。



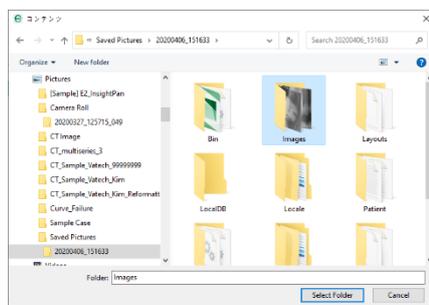
2. 削除の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、選択したコンテンツを削除します。

4.4.6 コンサルトフォルダー

1. 『コンサルトフォルダーの追加』ボタンをクリックします。



2. コンテンツウィンドウが表示されたら該当フォルダーを選択し、『Select Folder』ボタンをクリックしコンテンツフォルダーを追加します。

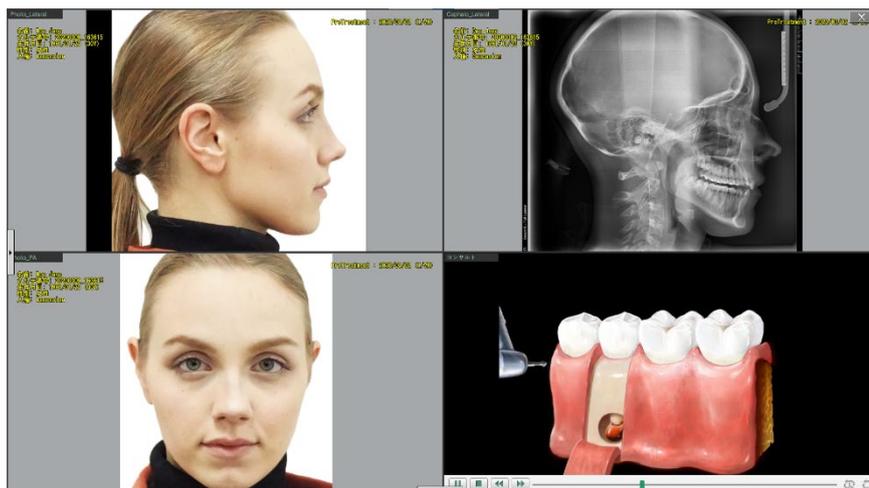


5. プレゼンテーションモード

1. キャプチャした画像、またはコンサルトコンテンツのビューフレームを右クリックし、『プレゼンテーションモードオン』を選択します。



2. 画面がプレゼンテーションモードに変わります。画面の左上に患者情報が、画面左隅にツールバーがそれぞれ表示されます。



3. 画面を右クリックし、『プレゼンテーションモードオフ』を選択、またはウィンドウ右上にある『X』ボタンをクリックしプレゼンテーションモードを終了します。



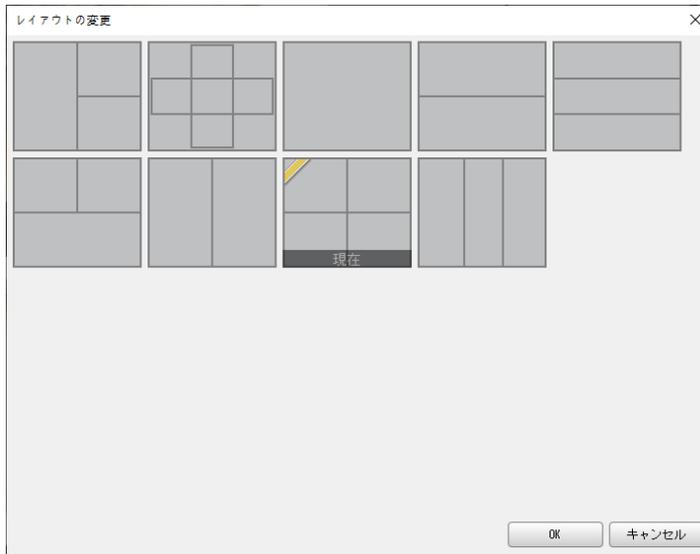
『ツールバーの固定』ボタンを使って、ツールバーを常に表示するよう設定することができます。

6. レイアウトの変更

1. 『レイアウトの変更』ボタンをクリックします。



2. レイアウトの変更ウィンドウが表示されます。



3. 使用するレイアウトを選択した後『OK』ボタンをクリックし、変更内容を適用します。

7. ツールの説明

7.1 主要ツール

アイコン	名称	機能の説明
	移動	画像を自由に移動
	ズーム	画像の拡大または縮小
	エリアキャプチャ	選択エリアキャプチャ
	ウィンドウキャプチャ	特定のビューフレームウィンドウキャプチャ
	ビューフレームキャプチャ	ビューフレームエリアキャプチャ
	ポインター	<p>ポインターのツールダイアログを表示。</p>  <p>ポインターのツールダイアログが表示された際には、コントロールパネルとツールバーの全ての機能が非アクティブ化されます。</p>
	消しゴム	ワークスペースに適用された『ポインター』の適用事項を削除
	グリッド表示/非表示	患者の非対称を確認するため、画像にグリッドを表示/非表示
	ビュー初期化	画像に適用された移動とズーム機能を初期化

Chapter 8. 診療所

1. 診療所タブウィンドウの構成.....	181
2. スケジュールの確認.....	182
3. スケジュールの追加.....	184
4. スケジュールの編集.....	186
5. スケジュールの削除.....	187
6. ツールの説明.....	188

1. 診療所タブウィンドウの構成

診療所(Practice)タブでは、診療スケジュールの追加/編集/削除や、週間・日間・月間スケジュールをカレンダーで確認することができます。

1.1 ワークスペース

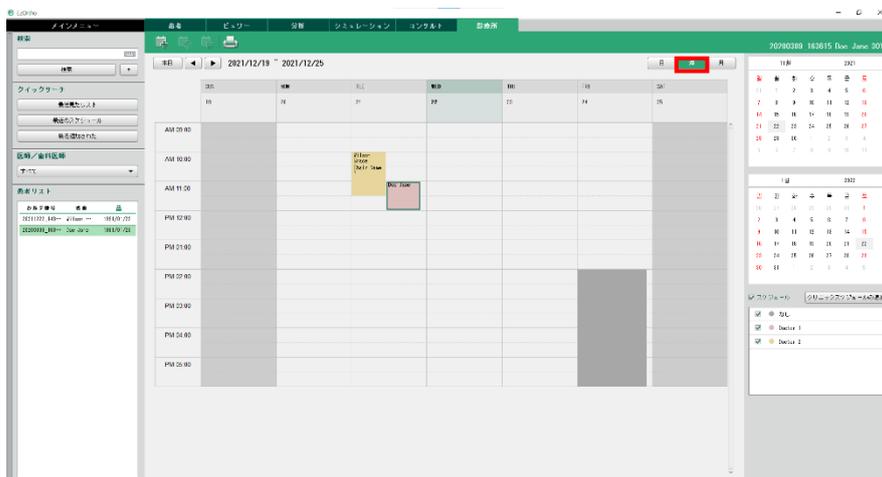


- A セクション: スケジュールの追加/修正/削除/印刷機能を提供するツールバーです。
- B セクション: 患者タブと同一のコントロールパネルです。
- C セクション: 診療予約及びスケジュールを確認することができるカレンダーが表示されます。
- D セクション: 前月または次月のカレンダーを表示し、スケジュールの表示/非表示を設定することができます。

2. スケジュールの確認

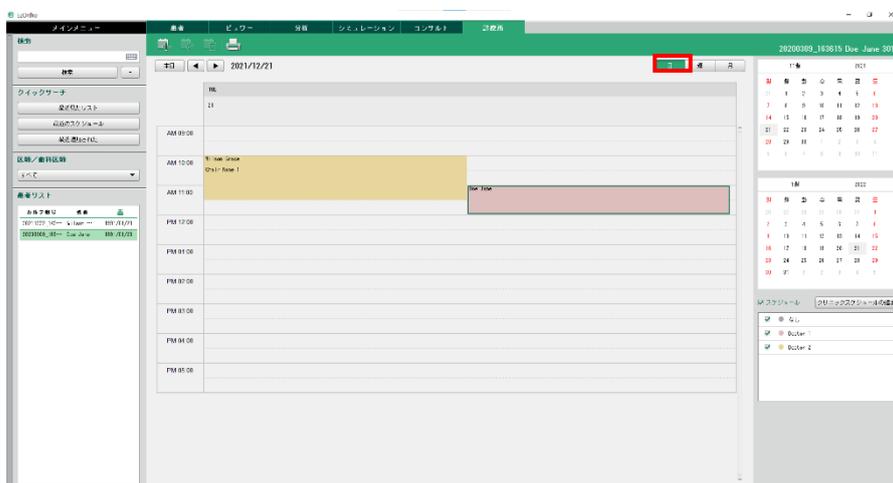
2.1 週間スケジュール

診療所タブのウィンドウは、『週間スケジュール』に基本設定されています。



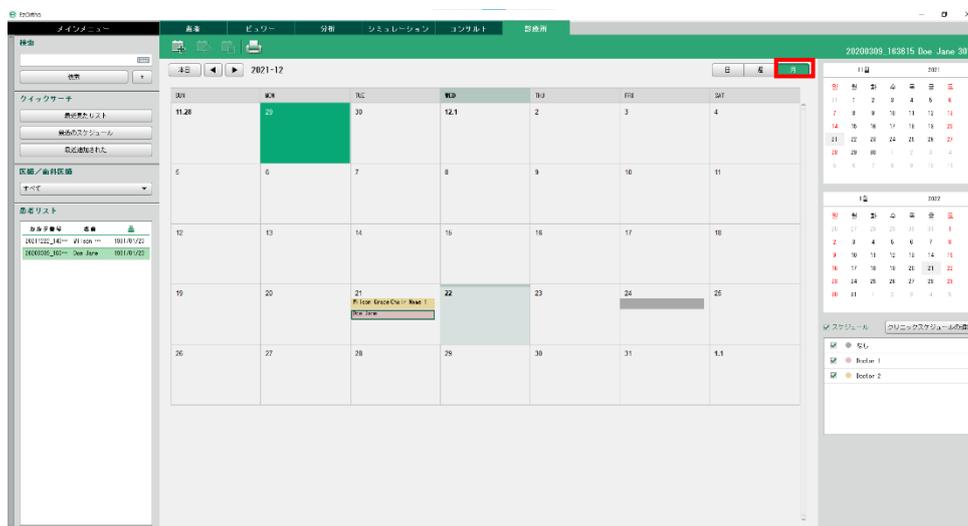
2.2 日間スケジュール

『Day』ボタンをクリックし、該当日のスケジュールを確認することができます。



2.3 月間スケジュール

『Month』ボタンをクリックし、該当月のスケジュールを確認することができます。



月間スケジュールでは、営業日と非営業日の両方を確認できます。

3. スケジュールの追加

特定の患者の診療スケジュールを追加したり、クリニックまたは医師のスケジュールを追加したりできます。

3.1 診療予約の追加

1. コントロールパネルにある患者リストから患者を選択し、カレンダーで追加するスケジュールの時間を設定します。

- スケジュールの 1 マスの時間の単位は 30 分間です。



TUE	WED
11	12
Doe Jane	

- 長い時間を指定する場合、希望の時間の範囲をマウスでドラッグして選択することができます。



TUE	WED
11	12
Doe Jane	

2. ツールバーにあるスケジュールの追加[]アイコンをクリックします。
3. スケジュールの追加ウィンドウが表示されたら各項目を設定し、必要に応じてコメントを入力した後『OK』ボタンをクリックしスケジュールを追加します。

スケジュールの追加 ×

医師/歯科医師	なし
患者名	Jane Doe
開始時刻	2021/12/22  PM 12:00 ▲ ▼
終了時刻	PM 01:00 ▲ ▼
チェア	なし
説明	<div style="border: 1px solid gray; height: 40px; width: 100%;"></div>

OK キャンセル

3.2 クリニックスケジュールの追加

1. スケジュールグループ上部の『クリニックスケジュールの追加』ボタンをクリックします。



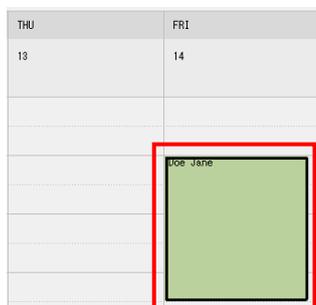
2. スケジュールの追加ウィンドウが表示されたら各項目を設定し、必要に応じてコメントを入力した後『OK』ボタンをクリックしスケジュールを追加します。



繰り返し周期と期間を指定すると、同じスケジュールを繰り返し追加できます。

4. スケジュールの編集

1. カレンダーから編集したいスケジュールをクリックします。



2. ツールバーにあるスケジュールの編集[]アイコンをクリックします。
3. スケジュールの編集ウィンドウが表示されたら該当する内容を編集した後『OK』ボタンをクリックし、変更したスケジュールを保存します。

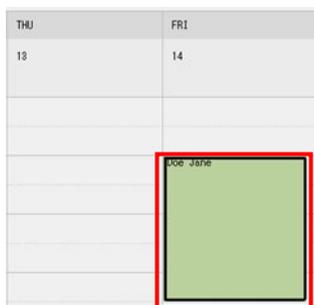
The image shows a dialog box titled 'スケジュールの編集' (Edit Schedule). It contains the following fields and controls:

- 医師/歯科医師 (Doctor/Dentist): なし (None) [dropdown]
- 患者名 (Patient Name): Doe Jane [text input]
- 開始時刻 (Start Time): 2021/12/23 [calendar icon] AM 11:30 [time spinner]
- 終了時刻 (End Time): PM 01:00 [time spinner]
- チェア (Chair): なし (None) [dropdown]
- 説明 (Description): [empty text area]

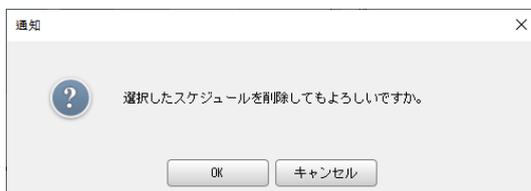
At the bottom of the dialog box are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

5. スケジュールの削除

1. 削除するスケジュールをクリックします。



2. ツールバーにあるスケジュールの削除『』アイコンをクリックします。
3. 削除の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、該当するスケジュールを削除します。



6. ツールの説明

6.1 主要ツール

アイコン	名称	機能の説明
	スケジュールの追加	カレンダーに新しいスケジュールを追加
	スケジュールの編集	選択したスケジュールの編集
	スケジュールの削除	選択したスケジュールの削除
	印刷	カレンダーを印刷

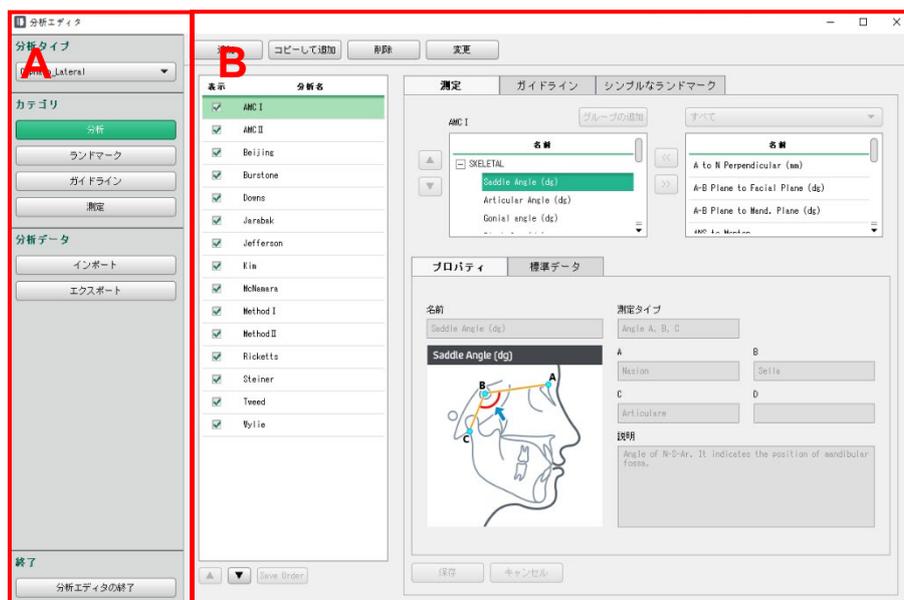
Chapter 9. 分析エディタ

1. 分析エディタウィンドウの構成.....	191
2. 分析エディタの実行.....	192
3. 分析方法の管理.....	193
4. ランドマークの管理.....	198
5. ガイドラインの管理.....	200
6. 測定タイプの管理.....	202

1. 分析エディタウィンドウの構成

分析エディタでは、分析タブから使用する分析、ランドマーク、ガイドライン、測定に対する追加/編集/削除を行うことができます。

1.1 ワークスペース



- A セクション: カテゴリの選択や、分析データのインポート/エクスポートを設定することができるコントロールパネルです。
- B セクション: 各カテゴリに該当する項目の追加/編集/削除を行うことができるエリアです。

2. 分析エディタの実行

1. 『メインメニュー』から『分析エディタ』を選択します。



3. 分析方法の管理

3.1 分析方法の追加

1. 追加する分析方法を選択します。

分析タイプ
Cephalo_Lateral

2. カテゴリから『分析』ボタンを選択します。

カテゴリ
分析
ランドマーク
ガイドライン
測定

3. 『追加』ボタンをクリックします。

追加

4. 名前を入力した後『OK』ボタンをクリックし、新たな分析方法を追加します。

分析タイプ
Cephalo_Lateral

カテゴリ
分析
ランドマーク
ガイドライン
測定

分析データ
インポート
エクスポート

表示 分析名
 AMO I
 AMO II
 Bojins
 Burotone
 Downs
 Jarebak
 Jefferson
 Kia
 McRears
 Method I
 Method II
 Ricketts
 Steiner
 Tneed
 Bylie
 Sample

終了
分析エディタの終了

追加 コピーして追加 削除

分析の追加
分析の追加
OK Cancel

▲ ▼ Done Order

5. 分析方法リストの下にある『上』 / 『下』ボタンを使って分析方法の位置を調整できます。

3.2 分析方法をコピーして追加

1. 追加する分析方法を選択します。



2. カテゴリから『分析』ボタンを選択します。



3. コピーする分析方法を選択し、『コピーして追加』ボタンをクリックします。



4. 分析方法名を入力して『OK』ボタンをクリックし、コピーした分析方法を追加します。



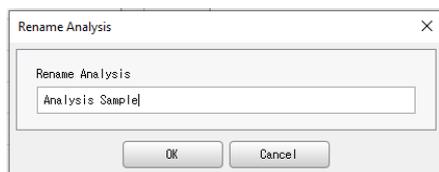
3.3 分析方法名の変更

1. 分析方法のリストから、ユーザーが追加した分析方法を右クリックし、『名前変更』をクリックします。



EzOrtho から基本提供される分析方法名を変更することはできません。

2. 変更する名前を入力して『OK』ボタンをクリックし、変更内容を適用します。



3.4 分析方法の変更

1. カテゴリから『分析』ボタンを選択します。

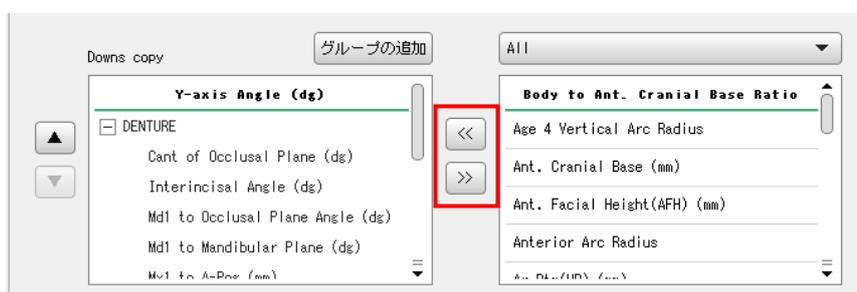


2. 編集する分析方法とタブを選択した後『変更』ボタンをクリックします。

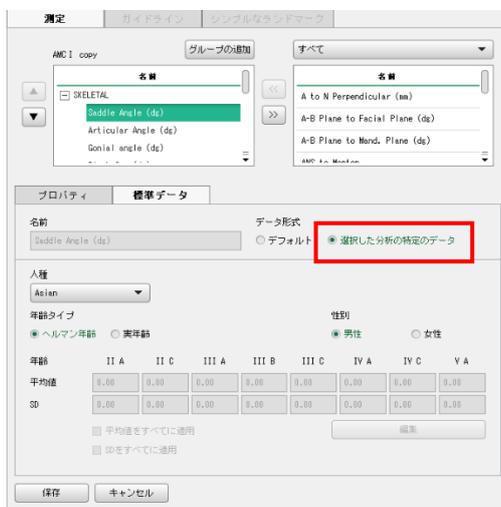


EzOrtho から基本提供される分析方法を編集することはできません。

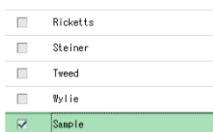
3. 矢印ボタンを使って、測定またはガイドラインリストにある項目を追加/削除することができます。



4. 各項目のデータの値を変更したい場合、『測定』タブから項目を選択した後『標準データ』タブで『選択した分析の特定のデータ』のボタンをチェックし、変更する値を入力します。



5. 分析項目のチェックボックスは、ユーザーが選択/選択解除することができます。チェックボックスで選択された項目のみ、分析方法を選択する際に、分析タブ及びシミュレーションタブに表示されます。



6. 編集する測定、ガイドライン、またはシンプルランドマークのタブを設定します。
7. 『保存』ボタンをクリックし、変更内容を適用します。

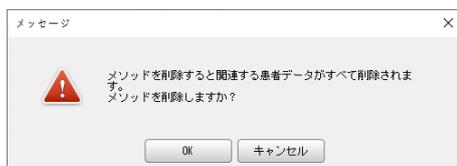
3.5 分析方法の削除

1. ユーザーが追加した分析方法を選択し、『削除』ボタンをクリックします。



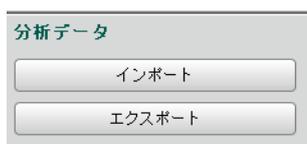
EzOrtho から基本提供される分析方法名を変更することはできません。

2. 削除の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックします。

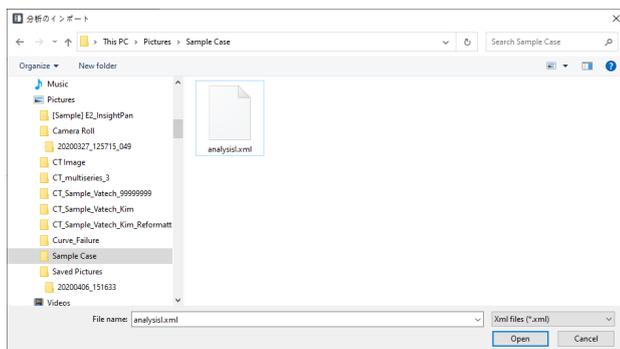


3.6 分析データのインポート

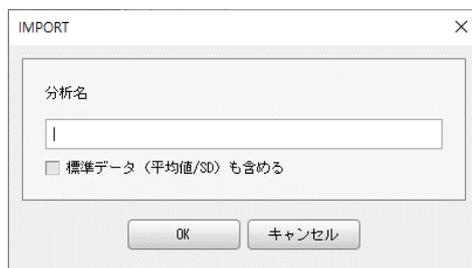
1. 『インポート』ボタンをクリックします。



2. オープンウィンドウが表示されます。



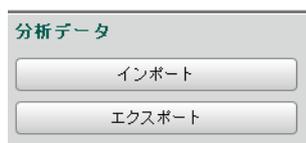
3. インポートするファイルを選択し、『Open』ボタンをクリックします。
4. 分析名を指定し、『OK』ボタンをクリックします。



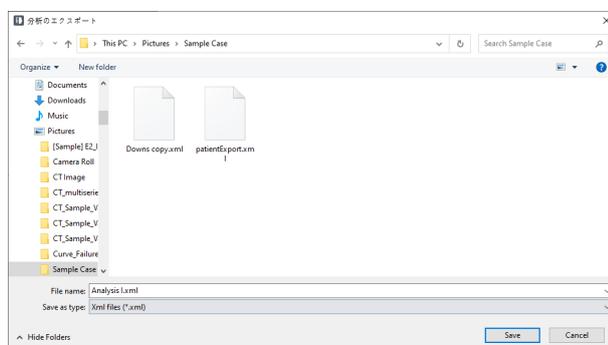
5. 『標準データ(平均値/SD)も含める』を選択すると、標準データを一緒にインポートします。
6. インポートした分析方法がリストに追加されます。

3.7 分析データのエクスポート

1. エクスポートする分析データをリストから選択します。
2. 『エクスポート』ボタンをクリックします。



3. 『名前をつけて保存』ウィンドウが表示されます。



4. ファイルのエクスポートディレクトリを設定します。
5. ファイル名と形式を指定し『保存』ボタンをクリックすると、分析方法が保存されます。

4. ランドマークの管理

4.1 ランドマークの追加

1. カテゴリから『ランドマーク』ボタンを選択します。



2. 『追加』ボタンをクリックします。



3. ランドマークの『名前』と『省略名』を入力します。

名前	省略名
<input type="text"/>	<input type="text"/>

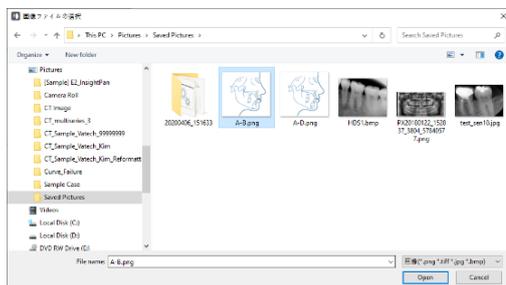
4. プルダウンリストからランドマークタイプを選択します。選択したタイプにより下位項目が発生した場合には、下位項目も選択します。

ランドマークの種類
HardTissue

5. ガイド画像を追加するため、『追加』ボタンをクリックします。



6. 表示されるウィンドウから、使用するガイド画像ファイルを選択し『Open』ボタンをクリックします。



7. 追加するランドマークに関する説明を入力し、下にある『保存』ボタンをクリックしランドマークを保存します。

4.2 ランドマークをコピーして追加

1. カテゴリから『ランドマーク』ボタンをクリックします。
2. コピーするランドマークを選択します。
3. 『コピーして追加』ボタンをクリックし、ランドマークの名前を変更した後『保存』ボタンをクリックし、該当するランドマークをリストに追加します。

コピーして追加

4.3 ランドマークの変更

1. カテゴリから『ランドマーク』ボタンをクリックします。
2. 編集するランドマークを選択します。
3. 『変更』ボタンをクリックします。

変更

4. ランドマーク情報の入力ウィンドウがアクティブ化されます。
5. ランドマークを修正します。
6. 下にある『保存』ボタンをクリックし、変更内容を適用します。

4.4 ランドマークの削除

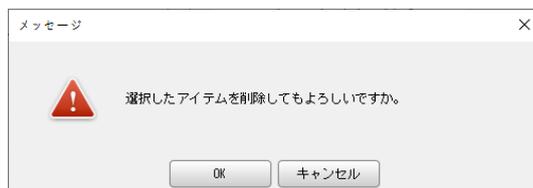
1. カテゴリから『ランドマーク』ボタンをクリックします。
2. 削除するランドマークを選択し、『削除』ボタンをクリックします。

削除



EzOrtho プログラムから提供されるランドマークを削除することはできません。

3. 削除の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、選択したランドマークを削除します。



5. ガイドラインの管理

5.1 ガイドラインの追加

1. カテゴリから『ガイドライン』ボタンをクリックします。



2. 『追加』ボタンをクリックします。



3. ガイドラインの入力ウィンドウがアクティブ化されます。
4. 名前の入力欄に、ガイドライン名を入力します。



5. ガイドラインの線種を選択し、下位項目を設定します。



6. 『追加』ボタンをクリックし、ガイドライン画像を保存します。



7. 追加するガイドラインに関する説明を入力した後『保存』ボタンをクリックし、作成したガイドラインを追加します。

5.2 ガイドラインをコピーして追加

1. カテゴリから『ガイドライン』ボタンをクリックします。
2. コピーするガイドラインを選択します。
3. 『コピーして追加』ボタンをクリックし、ガイドラインの名前を変更した後『保存』ボタンをクリックし、該当するガイドラインをリストに追加します。

コピーして追加

5.3 ガイドラインの変更

1. カテゴリから『ガイドライン』ボタンをクリックします。
2. 編集するガイドラインを選択し、『変更』ボタンをクリックします。

変更

3. ガイドライン情報の入力ウィンドウに変更内容を入力した後『保存』ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

5.4 ガイドラインの削除

1. カテゴリから『ガイドライン』ボタンをクリックします。
2. 削除するガイドラインを選択し、『削除』ボタンをクリックします。

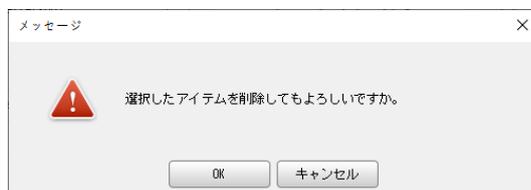
削除



NOTE

EzOrtho プログラムから提供されるガイドラインを削除することはできません。

3. 削除の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、選択したガイドラインを削除します。



6. 測定タイプの管理

6.1 測定タイプの追加

1. カテゴリグループから『測定』ボタンをクリックします。



2. 『追加』ボタンをクリックします。



3. 測定タイプの入力欄がアクティブ化します。
4. 追加する測定タイプ名を入力します。

名前

5. 測定タイプを選択し下位項目を設定します。

測定タイプ

Point to Line II

A Neston B Sella

C Porion D

6. 『追加』ボタンをクリックし、ガイドライン画像を保存します。



7. 測定タイプについての説明を入力します。
8. 標準データを修正後、下にある『保存』ボタンをクリックし測定タイプを追加します。



標準データの編集に関する詳しい内容は、下記の『6.3. 測定タイプの変更』をご参照ください。

6.2 測定タイプをコピーして追加

1. カテゴリグループから『測定』ボタンをクリックします。
2. コピーする測定タイプを設定します。
3. 『コピーして追加』ボタンをクリックし測定タイプを変更した後『保存』ボタンをクリックし、該当する測定タイプをリストに追加します。

コピーして追加

6.3 測定タイプの変更

1. カテゴリグループから『測定』ボタンをクリックします。
2. 編集する測定タイプを設定します。
3. 『変更』ボタンをクリックします。

変更

4. 変更したい内容を修正します。

5. 標準データを修正します。

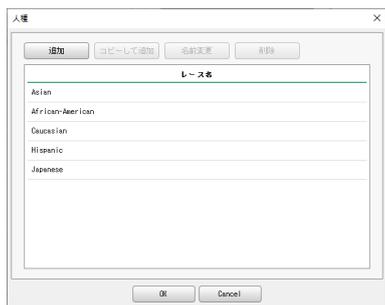
年齢	II A	II C	III A	III B	III C	IV A	IV C	V A
平均値	1.00	1.00	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
SD	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70



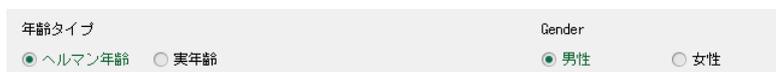
『平均値をすべてに適用』または『SDをすべてに適用』にチェックを入れると、入力した値を全入力フィールドに同一に適用できます。

6. 新たな人種の追加や、ユーザーが追加した人種を編集/削除する場合には『人種設定』のボタンをクリックします。

7. 人種ウィンドウが表示されます。



8. 人種を追加/コピーして追加/名前変更/削除した後、『保存』ボタンをクリックし、分析エディタウィンドウに戻ります。
9. 人種プルダウンリストから人種を設定します。
10. 年齢タイプと性別を選択し、標準データを確認します。



11. 必要に応じて、平均値とSD値を修正します。

Age	II A	II C	III A	III B	III C	IV A	IV C	V A
Mean	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
SD	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

12. 下にある『保存』ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

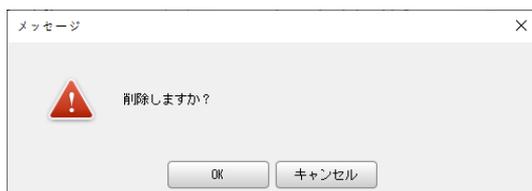
6.4 測定タイプの削除

1. カテゴリグループから『測定』ボタンを選択します。
2. 削除する測定タイプを選択します。
3. 『削除』ボタンをクリックします。



EzOrtho プログラムから提供される測定タイプを削除することはできません。

4. 削除の確認ウィンドウが表示されたら『OK』ボタンをクリックし、選択した項目を削除します。



製品情報

製品名	歯科画像分析ソフトウェア
モデル名	EzOrtho
バージョン	1.3
Serial No.	製品に記載
製造企業名	(株)Ewoosoft
アドレス	京畿道華城市三聖1路2キル13、Vatechネットワークス棟8階801号
製造許可番号	製認 20-4020号
製造番号	製品に記載
製造年月	製品に記載
包装単位	1 Set
本製品は医療モダリティです。	

著作権© 2019 (株)Ewoosoft

EzOrtho ソフトウェアに含まれている全てのソフトウェアプログラム・資料ファイル・データ・マニュアル・その他文書の内容などは、著作権法と大韓民国コンピュータプログラム保護法により保護されています。

EzOrtho

バージョン : 1.3